



R4 年度(2022) 研究授業指導案集

目 次

1. 第1学年	国語科 「すきなきょうかはなあに」	P2
2. 第2学年	生活科 「町たんけん2 –グループで出かけよう–」	P15
3. 第3学年	総合的な学習の時間 「天満の祭り、天神祭り」	P32
4. 第4学年	国語科 「学校についてしうかいすることを考えよう」	P49
5. 第4学年	総合的な学習の時間 「住みよい町、滝川(1) ～みんなで考えるユニバーサルデザイン～」	P59
6. 第5学年	総合的な学習の時間「滝川の温故知新！ ～新たな魅力！再発見！～」	P75
5. 第6学年	国語科 「インターネットの議論を考えよう」	P92
6. 第6学年	総合的な学習の時間 「白浜へ GO！」	P102



大阪市立滝川小学校

第1学年 国語科學習指導案

指導者 西川 良子

三畠 江梨

- 日 時 令和4年9月27日（火）第4時間目（11:40～12:25）A組
第5時間目（13:50～14:35）B組

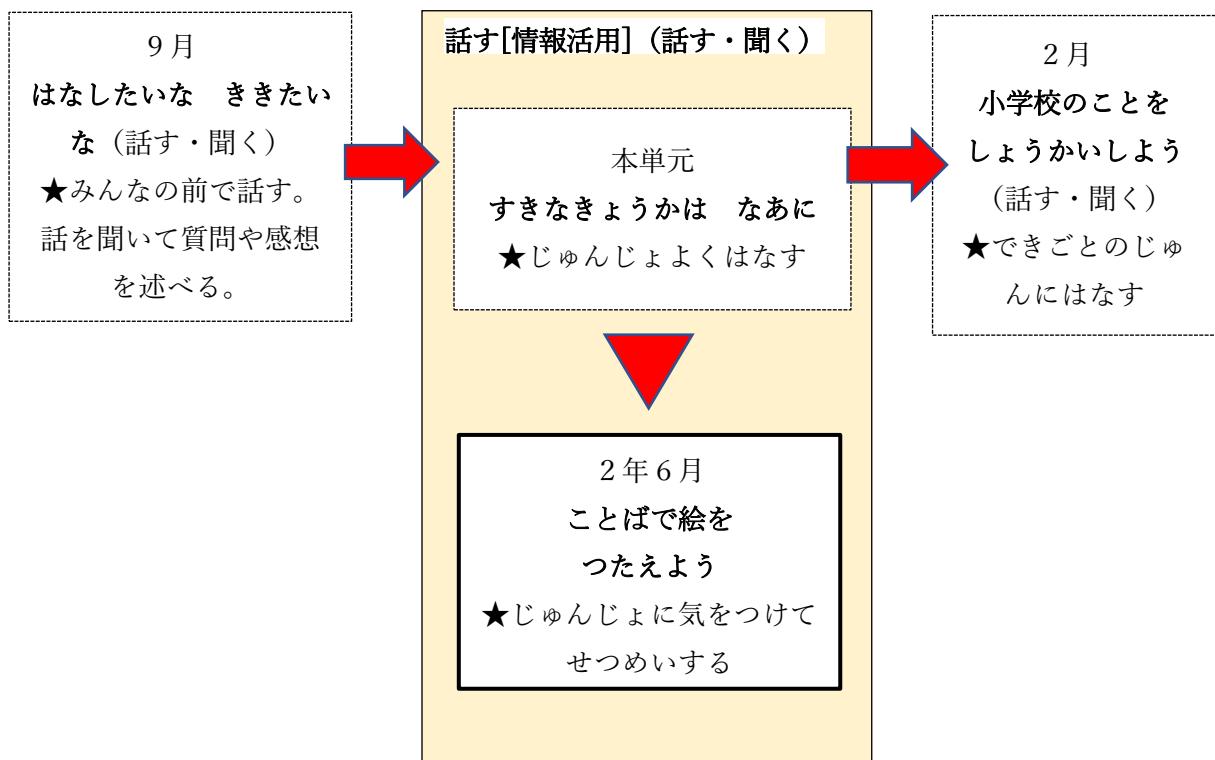
- 学年・組 第1学年A組（在籍30名）・B組（在籍30名）

- 単元名 すきな きょうかは なあに（東京書籍 1年）

- 単元目標

相手に伝わるように、話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどを工夫して話すことができる。

- 単元間の関連



本単元は、「話すこと・聞くこと」領域の「話す（情報活用）」系統に位置付けられる。これまでに児童は、9月「はなしたいな ききたいな」において、簡単な話をみんなの前で話したり、友だちの話を聞いて感想や質問を述べたりすることを経験している。聞き手に届ける声の大きさや姿勢等、気をつけたことを想起させ、活用させたい。

なお、本単元の学習は、同学年同系統の2月「小学校のことをしようかいしよう」において、小学校で体験したことについて紹介する順序を考えて話す学習をする際に活用でき

る。前後の単元とのつながりや同領域、同系統の学習内容を押さえたうえで学習に取り組ませたい。

6. 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none">・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付いている。(1) ア・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2) ア	<ul style="list-style-type: none">◎「話すこと・聞くこと」において、相手につたわるように、話す事柄の順序を考えている。A(1) イ<ul style="list-style-type: none">・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。A(1) ウ・「書くこと」において、語と語との継ぎ方に注意している。B(1) ウ	<ul style="list-style-type: none">・これまでの学習や経験で気付いたことやできるようになったことを生かして見通しをもち、積極的に、相手に伝わるように、話す事柄の順序を考え、みんなの前で説明しようとしている。

7. 付けたい言葉の力と単元でそれにふさわしい言語活動

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における【思考力、判断力、表現力等】の「A 話すこと・聞くこと」(1) イ 「相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。」である。

児童はこれまで、相手との距離によって必要な声の大きさを考えたり、大事なことを落とさないように集中して聞き、グループの人に正しく伝えたりすることを学習している。しかし、伝えたい内容が明確になるように、自分で言葉を選んだり、順序に気を付けて話したりすることについては十分ではない。

そこで本単元の「言葉の力」は、「じゅんじょよくはなす」と設定している。自分の好きな教科について隣同士で相談したり、撮影したものを提示しながら紹介したりする場面において、話したいことが複数ある時、「何から話すかを決める」「1つずつ話す」「まとまりを表す言葉を使う」といったことが必要となる。自分が選んだ教科の好きなところを考える時は隣の人とペアになり、対話をする中で詳しく掘り下げ、話す材料を集めいく。その際、思考ツール（ウェビングマップ）を使い、メモに書いたことの中から、自分が一番伝えたいことを決める。まとまりや理由を意識して話す初めての学習であることから、発表の練習の際には、まとまりを表す言葉や理由を表す言葉の使い方を確かめ、メモと組み合わせることで話が完成することを押さえて練習に取り組ませる。発表の際の交流

の場では、友達の感想や話を聞いて感じたことを確かめさせ、まとまりごとに順序良く話すことのよさを捉えさせて、活用への意識を高めるようにしたい。

8. 単元で身に付けたい情報活用スキル

本単元では、以下の情報活用スキルチェック、学習の振り返りの場面に一人一台端末を積極的に活用する。

	情報活用スキル	S (名人級)	A (上級)	B (中級)	C (初級)
整理・分析	整理する (ウェビングマップ)	好きな教科について発想したことを書き足し、友達の意見をもとに新たな視点に気付き、図に表して <u>整理する</u> ことができる。	好きな教科について発想したことを書き足し、友達の意見をもとに <u>新たな視点に</u> 気付き、図に表すことができ	好きな教科について発想したことを書き足し、 <u>書き足したことをもとに自分の考えをまとめる</u> ことができる。	好きな教科について発想したことを書き足すことができる。
情報収集	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認・管理できる。	撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。	対象物との距離・アングル、明るさ等を意識して撮影できる。	安全や故障(落下・水没)に気を付けて、写真を撮ることができる。
表現・発信	報告する	視聴者と双方に向にコミュニケーションを取りながら発表できる。	話す順序に気を付けながら、身振り手振りを入れるなど、気持ちを込めて発表できる。	話す順序に気を付けながら、身振り手振りを入れて伝えることができる。	メモに書かれたことを読み上げながら発表することができる。

9. 指導にあたって

本単元は、自分の好きな教科2つを、みんなの前で話して紹介するという言語活動である。教科を挙げるだけでなく、理由も話すことで、その教科のどんなところが好きなのかを伝えることができる。ここでは、理由を明らかにしながら、順序よく話すことを中心に指導して学習活動を進めていきたい。

まず第1時では、いろいろな教科について思い出し、自分の好きな教科について発表する計画を立てる。1年生で学習している教科には何があるか想起させ、簡単に板書していく。次に、それぞれの教科ではどんな活動をしているか、1学期の学習を振り返りながら板書にまとめていき、全体で共有する。児童は、教科について想起していくうち、自分はどの学習が好きか、あるいはそうでないかなどの思いをもつと思われる。そこで本単元のめあてを示し、学習課題をつかむ。

次に、第2時・第3時（本時①）では、みんなの前で話すことを考える。本単元では、好きな教科2つを選び、理由をつけて発表する。そのため、2つの教科それぞれについて、どうしてその教科が好きなのか、また、どちらの教科のことを先に話すのかを考える必要がある。そこで、思考ツールのウェビングマップを用いて、それぞれの教科について思考を広げる活動を行う。教科の名前を中心に書き、その教科にまつわる言葉を、蜘蛛の巣を張り巡らせるように、外側へとつなげていく。その際、教科にまつわる言葉であれば、特に制限は設けず、自由に書き広げていってよいこととする。次に、ある程度書き広げることができたら、隣同士で交流しながら、さらに思考を広げていく。自分の好きな教科について、友達とウェビングマップを見せ合い、自分の考えを伝え、交流する。その際、相手が思いついたことなどを書き足してもよい。そうすることで、自分だけでは思いつかなかつたその教科の好きなところに気付くことができる。交流後、出来上がったウェビングマップを見ながら、話をすることを決める。ウェビングマップ内の該当する箇所を赤丸で囲み、好きな理由を明らかにするとともに、どちらを先に話すか決める。

続いて第4時・第5時では、発表メモを作成し、みんなの前で発表するための発表ノートづくりを行う。相手に伝わりやすい発表をするためには、順序よく話すことや、理由を明らかにしながら話すことに加えて、視覚的な面からの手立ても有効である。そこで、Sky Menuの発表ノート機能を用いて、教科についての写真を撮影し、発表の資料とする。発表ノートを作成する際は、その教科が好きな理由がわかるような場面を撮影する。その際、肖像権にも触れながら、写したいものを撮影すること、人を撮るときは、必ず許可を得ることなどを指導する。

第6時（本時②）では、出来上がったメモと発表ノートを用いて、グループに分かれて発表練習を行う。活動場所を多目的室に移し、生活班で活動する。グループに一台ずつ割り当てられたモニターを用いて、発表ノートのスライドを見せながら、グループの友達の前で発表練習をする。発表メモをもとに、順序・理由を示す言葉を用いて、相手にわかり

やすく話すことを意識して練習できるようにしたい。グループで練習に取り組むことで、友達の発表を聞いたり、友達からのアドバイスをもらったりしながら、より良い発表になるよう、必要に応じて自分の話し方を修正することができるようとする。また、メモだけでは話すことが難しい児童への手立てとして、話型カードを用いる。話したいことを話型カードに書き出し、読みながら話すことができるよう支援する。

最後に、第7・8時では、全体での交流を行う。前時の練習を活かし、一人ずつ前に出て資料を大型ディスプレイに映し出しながら発表する。発表を始める前には、これまで行ってきた話し方、聞き方のポイントに加え、相手の発表に対し、受け入れる言葉や質問などを積極的に取り入れながら自分の感じたことを発表できるように確かめてから活動させたい。

第9時では学習のまとめとして、相手に伝わりやすい話し方について振り返る。まとまりを意識した話し方や、順序・理由を示す言葉を用いたり、視覚的なツールを用いたりすることによって、簡潔に・わかりやすく相手に話すことができることを確認し、これから学習活動に活かしていくこうとする意識を高める。

10. 学習計画（全9時間）

	時	主な学習活動	評価基準	ICT 活用 <u>情報活用 スキル※</u>
つかむ	1	<p>① 好きな教科について発表する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな教科について思い出し、自分の好きな教科について発表するという学習課題をつかむ。 教科書をもとに、単元全体の見通しを立てる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・IWB
取り組む	2 ・ 3 (本時①)	<p>② 友だちとのやり取りを通して、みんなの前で話すことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールのウェビングマップを活用し、ペアで交流しながら、好きな教科とその理由を明確にする。 ・話をつなぐ言葉や仕草を使いながら友達の話を聞くよう意識する。 	<p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手につたわるように、話す事柄の順序を考えていく。A(1)イ</p>	<p>※情報の整理・分析（整理する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SkyMenu（発表ノート）ウェビングマップ

		<p>例：○うけとめることば ○うけとめるしぐさ ○しつもん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の話やウェビングマップをもとに、話すことを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> • Google classroom (Google フォーム)
4	③ 話すことをメモにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらを先に話すか、番号をつける。 ・短い言葉で書く ・わけをはなす言葉を使う。 「～からです。」 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したこと伝える働きがあることに気付いている。(1)ア ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、語と語との継ぎ方に注意している。B(1)ウ
5	④ タブレット端末で好きな教科に関する写真を撮影し、発表ノートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことがより分かりやすくなるよう、撮影する対象を考える。 ・人を写すときは、肖像権に気をつけながら、必ず許可を取ってから撮影するようにする。 	<p>※情報収集 (写真を撮る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ機能 ・SkyMenu (発表ノート)

	6 (本時②)	<p>⑤ みんなの前で話すことを確かめて、話す練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活班でグループを作り、発表練習をする。 ・友だちの発表を聞き、グループ内で交流しながら、より良い発表となるよう、必要に応じて話すことを修正する。 	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 <p>A(1)ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールライフノート <p>※表現・発信 (報告する)</p>
振り返る	7 ・ 8	<p>⑥ 練習を生かして、順序に気を付けながらみんなの前で話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の際、友達の話を聞いて感じたことを共有したり、質問したりする時間を設ける。 	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 <p>A(1)ウ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や経験で気づいたことやできるようになったことを生かして見通しをもち、積極的に、相手に伝わるよう、話す事柄の順序を考え、みんなの前で説明しようとしている。 	<p>※表現・発信 (報告する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SkyMenu (発表ノート) ・スクールライフノート
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習を振り返り、今後の学習活動で活用することへの意識を持つ。 		

11-I 本時の学習（3/9）

(1) 本時の目標

友達とのやりとりを通して、みんなの前で話すことを考えることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準等
1. 本時のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 本時の情報活用スキルチェックを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> IWB PowerPoint (自作)
ともだちと ききあって、みんなのまえではなすことを かんがえよう。		
2. 思考ツールを使い、自分の好きな教科について発想したことを書き足していく。	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ2つの教科のうち、2つめの教科について、材料集めをすることを伝える。 各教科ですることを書けたら、さらに自分の思いを書き足し、赤、緑、青の気持ちカードを使って、それぞれの取り組みが好きか、普通か、苦手かを張り付けて表すように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> SkyMenu (発表ノート) ウェビングマップ
3. 好きな教科について隣同士で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 話型を示して話すようにする。 赤を選んだところに特に着目し、隣同士で聞き合う中で、その教科が好きな理由について確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint (自作)
4. みんなの前で話す好きな教科を決める。	<ul style="list-style-type: none"> 友達とのやりとりの中で話した理由を想起させ、特に好きなものを1つ選ぶように伝える。 	<p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手につたわるように、話す事柄の順序を考えている。</p> <p>A(1)イ</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ウェビングマップ上に、好きな理由を手書きでメモに書く。 ・その教科が好きな内容を一つえらんで赤いペンで囲む。 		<p>※情報の整理・分析（整理する）</p>
<p>5．本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ2つの教科のうち、どちらを先に話すのか、順序に気をつけて発表メモを作っていくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom (Google フォーム)

12. 板書計画

九月二十七日

すきなきようかは なあに
ともだちと ききあつて
みんなのまえではなすこととかんがえよう。

① 2つめのすきなきようかを きめる。
うえびんぐまっぷをつかつて
そのきようかで したことを かく。
③ いろわけする。

すき (赤)

ふつう (緑)

にがて (青)

④ となりのともだちと ききあう。
すきなりゅうを ひとつ きめる。
⑤ すきなりゅうを ひとつ きめる。

IWB (大型ディスプレイ)

1

2

3

○ほなしをしたるしくつなく 「じとばのむかか」	○うけたまひあつたまる。 「いね。 なるほど。」	○なんだね。 「うりかえしてだしかる。」
○うけたまひあつたまる。 えがお しつもんする	・さきなきよつかは　なじ? ・どうじ　○○がさきなるの?	・うけたまひあつたまる。 えがお しつもんする
○うけたまひあつたまる。 あいてをめる	それが　にじほんすき? これが　にじほんすき?	○うけたまひあつたまる。 あいてをめる
④みんなのまえではなす。	ちゅうきゅう すきなきよつかと そのりゆうをつなげて まるでかこむことができる。	じょうきゅう ともだちとはなしたこと ともに、「すきなきようかと それりゆうをつなげて まるでかこむことができる。
③れんしゅうする。	がくしゅううけいかく ①すきなきようかについて かんがえる。	がくしゅううけいかく ②はなすこと、はなすじゆ んじよをきめる。
⑤まとめる。	②はなすこと、はなすじゆ んじよをきめる。	④みんなのまえではなす。

11-II 本時の学習（6/9）

(3) 本時の目標

グループでの発表練習を通して自分の発表を振り返り、よりよい発表の仕方を考えることができる。

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準等
1. 本時のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 本時の情報活用スキルチェックを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> みんなのまえで はっぴょうするために、グループではっぴょうを ききあって よりよくしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> IWB PowerPoint (自作)
2. グループに分かれて発表練習をする。 • 2つ選んだ好きな教科と、その理由について、順序の気を付けながら話す。 • 聞き手は、友達の話し方の良いところを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> 発表練習の際に気を付けることを確認してから活動できるようにする。 話し方について気を付けることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> はなしかたの ポイント <ol style="list-style-type: none"> その場にあった声の大きさで (声のものさし 3) みんなのほうを見て ひとつずつはっきりとはなす </div> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手側は、発表者の話し方ポイントのチェックをするように伝える。また、次のことを考えながら聞くように助言する。 <p>どうしてすきなのか。 ②どんな じゅんじょで はなしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SkyMenu 発表ノート 発表チェックシート 小型ディスプレイ (各グループに1台) <p>【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。A(1)ウ</p> <p>※表現・発信 (報告する)</p>

<p>3. 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちからもらったチェックシートをもとに、全体発表の際に自分が頑張りたいことをスクールライフノートに記録する。 	<p>・全体で振り返りを行い、次時の活動意欲を喚起できるようにする。</p>	<p>・スクールライフノート</p>
--	--	--------------------

12. 板書計画

<p>○ともだちははっぴょうの よかつたところ ・みんなのほうを みながら はなしていた。 ・みぶり・てぶりができていた。</p>	<p>きくときにはんがえること ①どうして すきなのか。 ②どんなんじゅんじよではなしているか。 ③ひとつずつはつきりと はなす。</p>	<p>はなしかたの ポイント (きょうは 3のこえ) ①そなばに あわせた こえのおおきさで ②みんなのほうを みて ③ひとつずつはつきりと はなす。 「一つめは～」「二つめは～」</p>
---	---	--

九月二十七日

すきなきょうかは なあに
みんなのまえで はっぴょうするために、グル
ープではっぴょうを ききあつてよりよくしよう。
○ともだちははっぴょうをきいて アドバイス
をしてあげる。
(◎・○・△をつける)

大型ディスプレイ

1

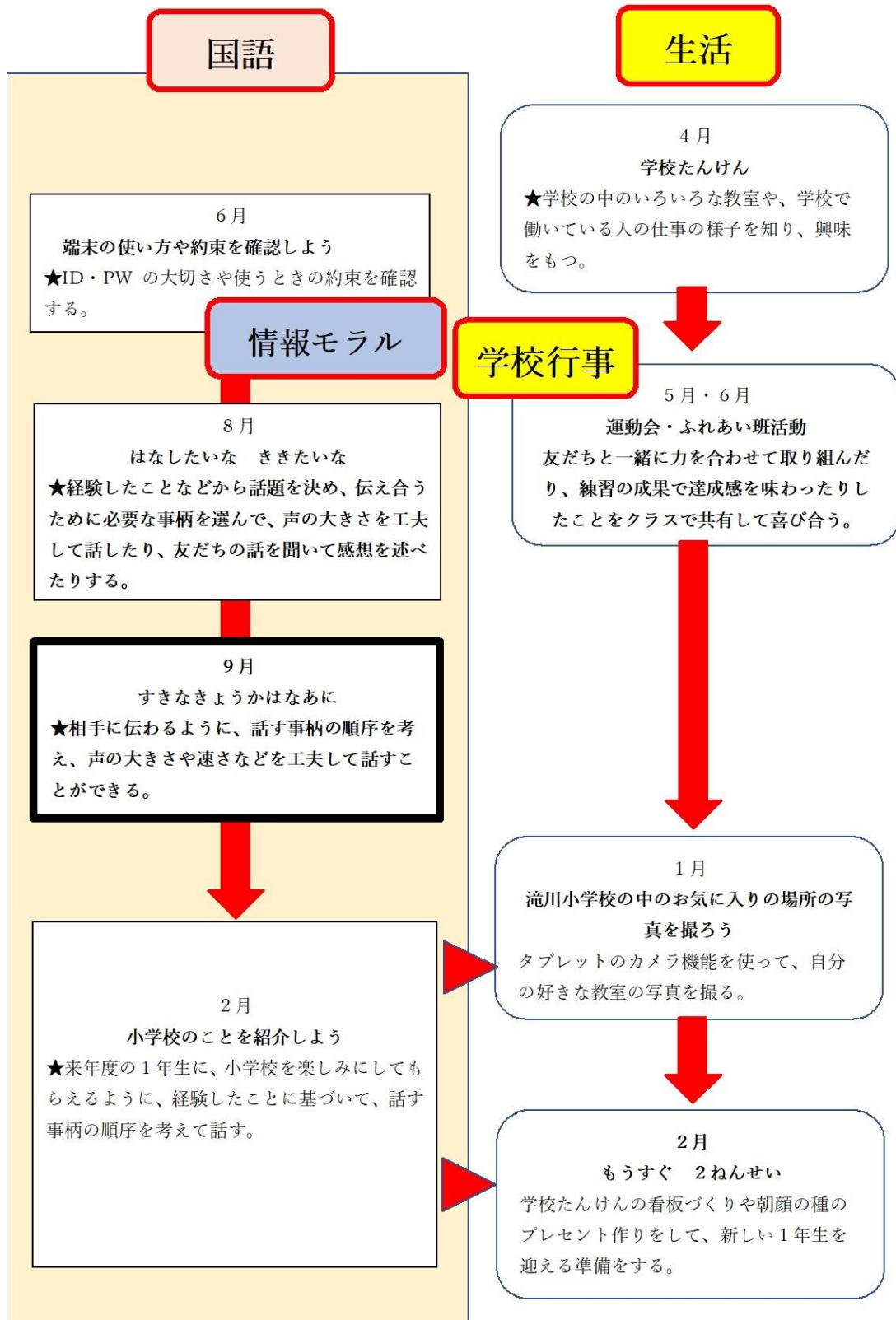
<p>⑤まとめる。 ④みんなのまえではなす。 ③れんしゅうする。</p>	<p>がくしゅうけいかく ①すきなこと、はなすじゅ んじょをきめる。 ②はなすこと、はなすじゅ んじょをきめる。</p>
--	--

2

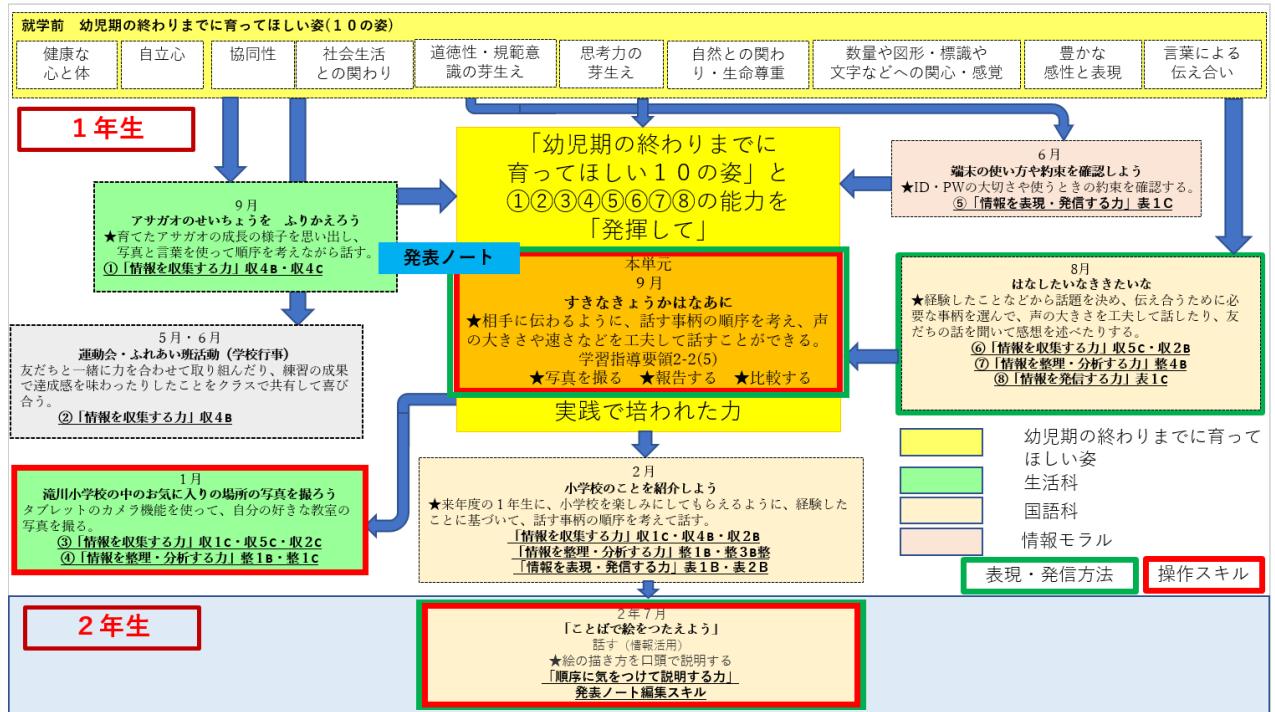
<p>じょうきゅう じょうほうかつよう スキルチェック</p>	<p>メモに かかれたことをよみながら はっぴょうすることができる。</p>
-------------------------------------	--

※ 1年 生活科「たきがわ小 だーいすき！」との関連

1年「たきがわ小 だーいすき！」



13. 情報活用能力の育成と発揮



第2学年 生活科学習指導案

指導者 北山 千紗
畠中 詩苑

1. 日 時 令和4年11月18日（金） 第4時間目（11:40～12:25） （多目的室）
第5時間目（13:50～14:35） （2年A組）

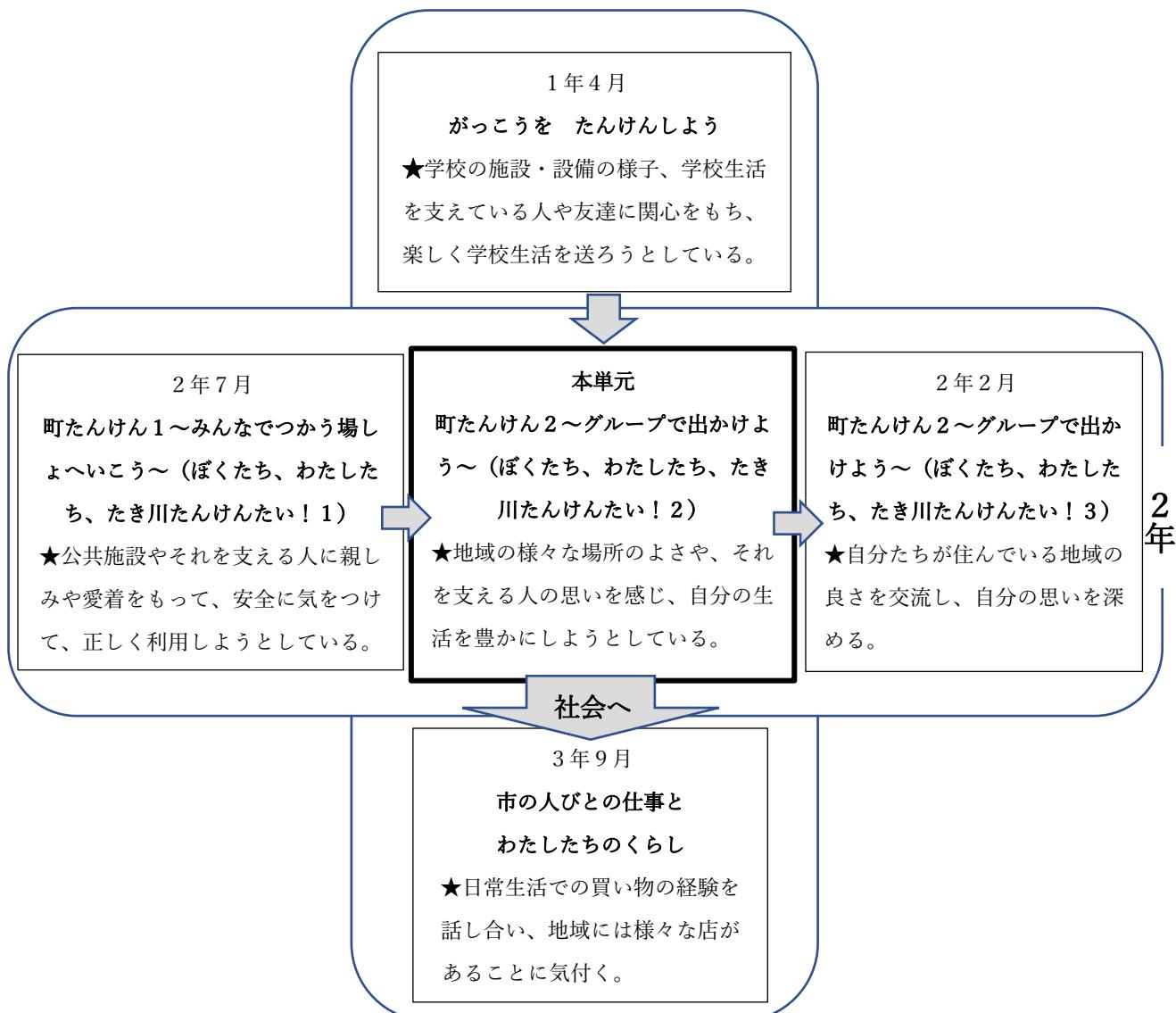
2. 学年・組 第2学年A組（在籍 31名）
第2学年B組（在籍 30名）

3. 単元名 町たんけん2～グループで出かけよう～（日本文教出版 2年下）

4. 単元目標

興味・関心のある地域の様々な場所の人・もの・ことについて見学したり、インタビューをしたり、体験したりして探検することを通して、地域にある様々な魅力的なものやこと、それを支える人の営みや思いに気付き、親しみや愛着をもち、すすんで適切に関わりながら生活していくこうとする。

5. 単元間の関連



これまでに児童は、「町たんけん1～みんなでつかう場しょへ行こう～」の学習において、公共施設（図書館）の見学を経験している。みんなが使う場所のよさやそれを支える人の思いについて考える活動を行った。

本单元では、自分たちの住む地域にある商店について調べ、働く人の思いや、地域にはすてきなところがたくさんあるということに気付くようにし、地域の様々な場所のよさやそれを支える人の思いを感じ、適切に関わりながら、自分の生活を豊かにしていこうとする態度を養いたい。また、「町たんけん」の全ての活動を通して、自分たちの住む地域への愛着を深めることができるようにしたい。

6. 本单元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・地域には様々な場所があり、それぞれに意味や役割があること、また、多様な人々が生活していることに気付いている。・地域の様々な場所で働く人は、その場所を利用する人のことを考えて様々なことをしていることに気付いている。・地域の場所や人と関わると豊かに生活できることがわかっている。	<ul style="list-style-type: none">・見つけたことを友だちと交流し、各場所のよさや働く人の思いをとらえたり、どの場所にも共通する点を考えたりしている。・地域と関わる中で見つけたことを振り返りながら、伝える相手や内容、方法を考えて表現している。	<ul style="list-style-type: none">・地域の様々な場所のよさやそれを支える人の思いを感じ、適切に関わりながら、自分の生活を豊かにしていこうとしている。

7. 単元で身に付けたい情報活用スキル

	情報活用スキル	S (名人級)	A (上級)	B (中級)	C (初級)
収集	インタビューをする	回答した内容を理解して、更に質問を展開できる。	礼節をわきまえて、挨拶やお礼をのべることができる。	相手の返答を聞いてメモができる。	聞きたいことを相手に問い合わせることができる。
	メモをとる	相手の言葉を取捨選択し、要約して記述できる。	相手の言葉や掲示物等から必要な情報を抜き出して記述できる。	相手の言葉をそのまま書き取ったり、掲示物等をそのまま写したりすることができる。	日時・場所・相手等の基本的な情報を記述できる。
	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認・管理できる。	撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。	対象物との距離、アングル、明るさ等を意識して撮影できる。	安全や故障（落下・水没等）に気をつけて、撮影できる。
整理・分析	分類・整理する	根拠を明確にし、順序立てて整理することができる。	順序を考えて情報を整理することができます。	情報を内容ごとに分類することができます。	必要な情報を選択することができる。
編集	スライド形式	スライド全体をとらえて、文章の量を調整できる。	画像や文字の大きさを調整できる。	画像が見やすくなるように、記号等を用いてスライドを作成できる。	文字や画像を貼り付けたスライドを作成できる。
表現・発信	プレゼンテーション	聞いている人とコミュニケーションをとりながら、発表することができる。	身ぶり手ぶりを入れながら、発表することができる。	聞いている人に目線を配りながら、発表することができる。	原稿に書かれたことを読み上げながら発表することができる。

8. 指導にあたって

本単元では、興味・関心のある地域の様々な場所の人・もの・ことについて見学したり、インタビューしたり、体験したりするなど、探検することを通して、地域にある様々な魅力的なものやこと、それを支える人の営みや思いに気付き、親しみや愛着をもち、進んで適切に関わりながら生活していこうとする意識を育むことをねらいとしている。

本学年の児童は、コロナ禍で入学し、様々な活動が制限されながら学校生活を過ごし、2年生に進級した。生活科「町たんけん1～みんなでつかう場所へ行こう～」（7月）では、身近な公共施設を見学したり、施設の人の話を聞いたり、体験したりしながら探検する活動を行った。その中で、身の回りには、みんなで使うものや場所があること、それらを支える人がいることや思いに気付き、ルールやマナーを守って利用することの大切さを学んだ。また、事前学習では、写真を撮る際の情報モラルについても学習した。

国語科「たからものをしようかいしよう」の学習では、自分の宝物について「はじめ」「中」「おわり」の構成に注意して文章を組み立て、学習参観で保護者に発表した。その際、自分の考えを伝えることに対して消極的な児童も少なからずいるため、本単元のプレゼンテーション前には繰り返し練習する場を設け、自分の考え方や思いを伝える力を身に付けるようにしたい。

本単元の指導にあたって、以下のような手立てで学習を進める。

① 導入

自分たちの住む地域には、どのような商店があるかを交流することにより、普段の生活の中で、様々な商店を利用していることを想起させる。しかし、商店で販売されている商品の工程や、働く人の営みや思いなど、詳しくは知らないと考えられる。それらを踏まえ、滝川の地域の探検隊として、実際に商店に行き、見学をしたり、インタビューをしたり、体験したりしたことをグループで協力して発表するという見通しを持つようとする。

② 一人一台端末の活用

一人一台端末を使って、発表に必要な資料として写真を撮ったり、発表にむけてスライドを作成したりする。見ている人がわかりやすいスライドを作成するには、どのような工夫が必要かを考える活動を取り入れる。また、グループ間で発表を伝え合うことで、他のグループのよいところを見つけることにより、情報活用スキルチェックやスクールライフノートで発表内容を改善できるようにしたい。

③ 国語科と連携したカリキュラム

国語科「こんなことをしているよ」（5月）では、経験したことをわかりやすく伝えるために、簡単な構成を考えて、経験したことを伝える文章を書く学習を行った。「外国の小学校について聞く」（5月）では、自分が聞きたいことを落とさないように話を聞く学習を行った。これまでの国語科の学習で育成した、商店でインタビューしたことについて「聞く」スキル、商店で聞いたことや活動を踏まえて自分が思ったことを「書く」スキルを発揮できるようにしたい。

※単元の流れ

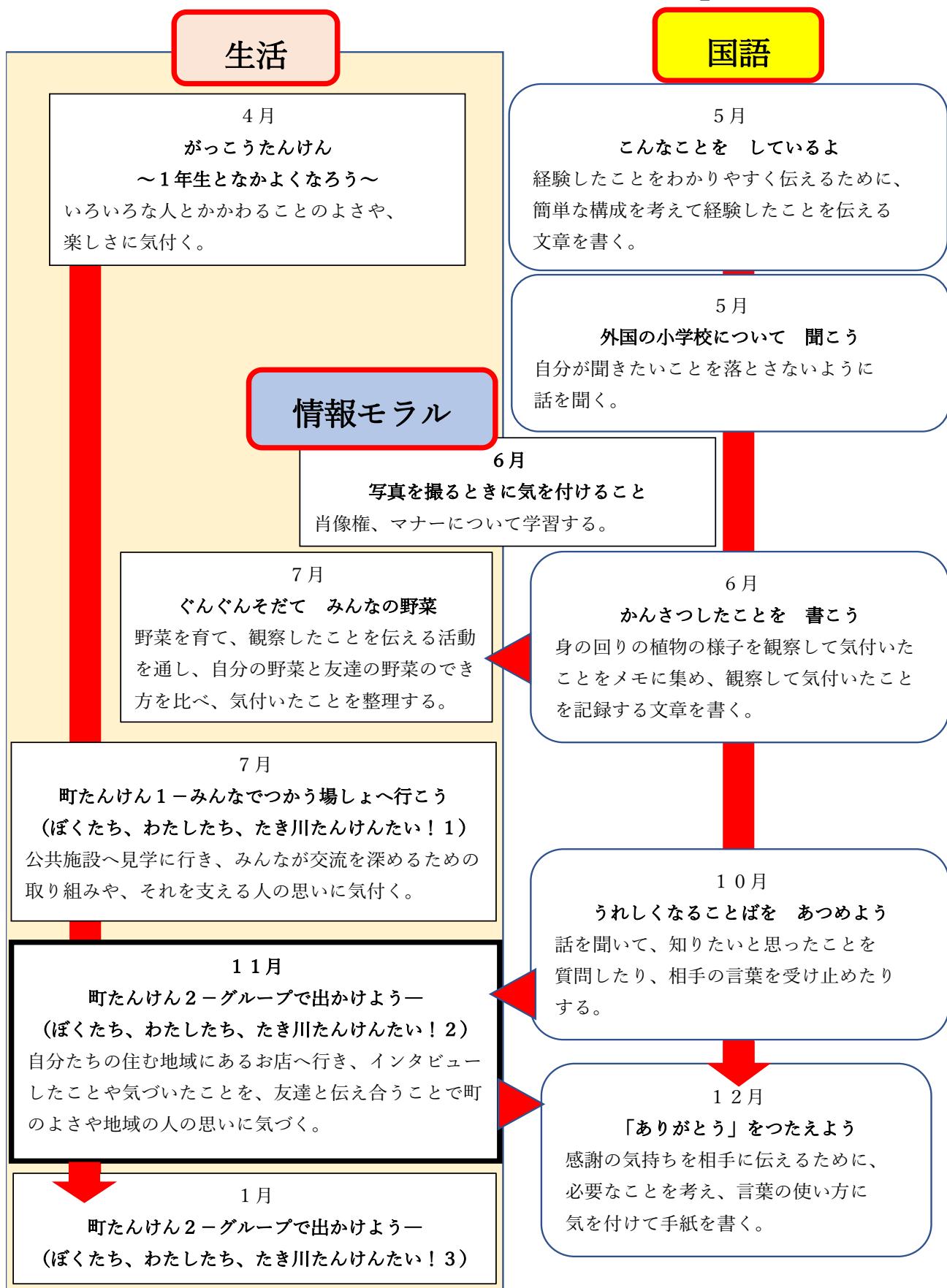
第一次では、自分たちの住む地域の商店について見学したいことや知りたいことに対する課題を設定できるようにする。本単元では、6つのグループに分かれて協働学習を行う。それぞれのグループが詳しく調べたことをまとめて発表し合うことを伝え、目的意識や見通しをもって一連の活動に取り組むことができるようになたい。

第二次では、グループごとに商店で知りたいことを考え、実際に商店へ行き、見学やインタビューをしたり、一人一台端末を使って写真を撮ったりして、情報収集にあたる。

第三次では、調べたことをまとめ、クラス内や隣のクラスに伝えるために発表ノートを活用してプレゼンテーションを行う場を設ける。商店のよいところについて調べたことをわかりやすく伝えるために、見せ方や話し方の工夫についてグループで話し合う。まとめていく中で、もっと知りたいと思ったことや、相手グループから出た質問などを再び商店の方へ尋ねて解決できるようにしたい。学級内の発表の際は、それぞれの商店のよいところについて、児童が感じたこと、気付いたことを出し合い、「すてきマップ」を作る。店の工夫は誰のために考えられたものなのか、店の人の思いなど、グループの発表を聞いて気付いたことを学級全体で出し合うことによって、様々な視点から見た「すてき」を共有することができる。また、それぞれの学級で作成した「すてきマップ」を互いに見合うことで、重なりや違いに気付くことができるようになたい。

第四次では、これまで学んだことや、協働的な活動で分かったことやできるようになったことを振り返り、さらに知りたいことについて伝え合う。本単元の学習を通して、地域の商店の良さやそれを支える人の思いを感じ、適切に関わりながら地域に親しみや愛着を持ち、自分の生活を豊かにしていこうとする心情を育てることで、「ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい！3」の学習へとつなげたい。

2年「ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい！」



9. 学習計画（全17時間）

単元名	時	主な学習活動	評価規準	ICT 活用 <u>情報活用スキル※</u>
第一次 みんなで 町へ 出かけよう	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	<p>町で図書館に行ったことを振り返ったり、自分たちが住む地域の商店について知っていることを交流したりして、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町たんけん1」でどのような学習を行い、どのようなことが分かったのか想起する。 ・自分が住む地域にどのような商店があるか交流する。 ・グループに分かれ、商店について知りたいことを話し合い、お店の人にインタビューする内容を考える。 ・最終的に調べたことをまとめ、他のグループに発表するという目的意識を持つ。 ・町に行くときのルールやマナーについて考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・Microsoft PowerPoint (自作教材) ・スクールライフノート
第二次 グループで たんけんしよう	5 ・ 6 ・ 7	<p>グループごとに探検に行き、働いている人にインタビューをしたり、商店を見学したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えた質問をもとに、働いている人にインタビューをし、わかったことをメモする。 ・見学する中で、発表に必要な写真を撮る。 ・インタビューや、見学したことを振り返り、自分の考えをワークシートにまとめる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には様々な場所があり、それぞれに意味や役割があること、また、多様な人々が生活していることに気付いている。 	<p>※情報収集 (インタビューをする) (メモをとる) (写真を撮る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラアプリ ・スクールライフノート

第三次 町の すてきを クラスで 話そう	8	探検を通して調べたこと、見たもの、働いている人の思いについて話し合う。 ・商店について調べ、わかったことをグループで交流し、整理する。		※情報整理・分析 (分類・整理)
	9	・整理したことをもとにして、グループでスライドにまとめ、発表の原稿を考える。	【知・技】 ・地域の様々な場所で働く人は、その場所を利用する人のことを考えて様々なことをしていることに気付いている。	・ SkyMenu (発表ノート)
	10			※情報編集 (スライド形式)
	11	・商店のよいところについてまとめたスライドを自分たちで見直し、見せ方や伝え方を工夫し、発表の練習をする。		
	12	・2グループごとに分かれ、発表に内容を交流し、感想を伝え合う。		・ SkyMenu (発表ノート)
	13	・友達の意見をもとに、発表内容を改善する。	【思・判・表】 ・見つけたことを友だちと交流し、各場所のよさや働く人の思いをとらえたり、どの場所にも共通する点を考えたりしている。	※情報表現・発信 (プレゼンテーション) ・ SkyMenu (発表ノート) ・ Google フォーム
	14	・全体でプレゼンテーションを行い、それぞれの商店のよいところや、そこで働く人の思いについて交流する。	・地域と関わる中で見つけたことを振り返りながら、伝える相手や内容、方法を考えて表現している。	・ SkyMenu (発表ノート) ・ Google フォーム
	15			
	16	・それぞれの学級で作成した「すてきマップ」を互いに見合い、重なりや違いについて交流する。		

第四次 つながる 町の すてき	17 今までの活動を振り返り、地域の様々な場所の良さやそれを支える人の思いを感じ、自分の生活を豊かにしていこうとする。	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の場所や人と関わることで豊かに生活できることがわかっている。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な場所のよさやそれを支える人の思いを感じ、適切に関わりながら、自分の生活を豊かにしていこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールライフノート
--------------------------	---	---	---

10. - I 本時の学習（13／17）

(1) 本時の目標

滝川の町の商店のすてきを伝えることができるよう、グループ間で意見を交流し、よりよい発表にするためにどうすればよいかについて考えることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準等
1. 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元の学習の中での位置付けを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> IWB PowerPoint（自作）
<p style="text-align: center;">たき川の町のおみせのすてきをつたえるために、はっぴょうを よりよくしよう！</p>		
<p>2. 2グループ間で、滝川の町のおみせについて発表し合う。</p> <p>〈発表する人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の商店のすてきが伝わるように発表をする。 発表後、アドバイスをもとによりよくするところについて考える。 <p>〈聞く人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> お店のすてきなところや、お店の人の思いが伝わったかについて、よいところやアドバイスを伝える。 <p>3. 本時の学習を振り返り、次々の活動を確認する。</p> <p>・情報活用スキルチェックをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報活用スキルを確認する。 端末の操作について、グループ内でフォローし合うようにする。 ワークシートを活用するように声かけをする。 町の商店のすてきが伝わるよう、お店の人にもう一度インタビューしたいことがあれば、先生を通して聞くことができることを伝える。 友達の発表をもとに、よいところを自分のグループに生かせるようにする。 友達のアドバイスや他のグループの発表を聞いて、自分のグループの発表をよりよくする視点をもつことができたか確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表ノート <p>※情報表現・発信 (プレゼンテーション)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と関わる中で見つけたことを振り返りながら、伝える相手や内容、方法を考えて表現している。 <p>Google フォーム</p>

(3) 板書計画

11/18 ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい！2

⑥たき川のおみせの すてきをつたえるために、はっぴょうを よりよくしよう！

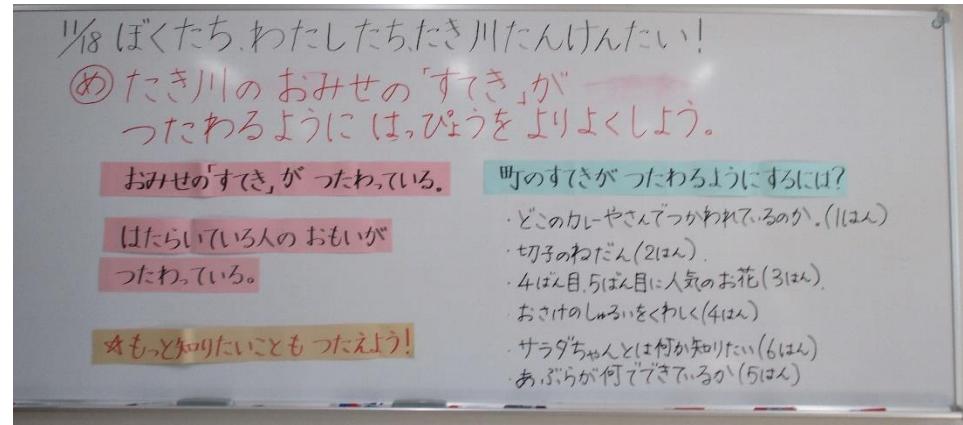
おみせの「すてき」がつたわっている。

町のおみせのすてきがつたわるようにするには？

はたらいている人の思いが つたわっている。

- ・はたらいている人のくふうしていることに
ついて、くわしくつたえる。
- ・気になったことをもう一ど おみせにインタビュー
して ○○について くわしくせつめいする。

★もっと知りたいことも つたえよう！



(4) ワークシート

ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい!2^o

〈はっぴょうチェックシート〉^o

2年 組名前()^o

はじめ。 スライド1. スライド2.

スライド3. スライド4.

友だちははっぴょうを見て、チェックしましょう。^o

★ おみせの「すてき」がつたわっている。 ^o	◎ • ○ • △ ^o
★ おみせの人の思いが つたわっている。 ^o	◎ • ○ • △ ^o

メモ。

自分たちははっぴょうをふりかえって、チェックしましょう。^o

★ おみせの「すてき」がつたわっている。 ^o	◎ • ○ • △ ^o
★ おみせの人の思いが つたわっている。 ^o	◎ • ○ • △ ^o

つたえてもらったことを もとに、よりよくするところを 考えましょう。^o

(5)情報活用スキルチェック

じょうほう活ようスキルチェック
あてはまるところに、一つチェックを入れましょう。

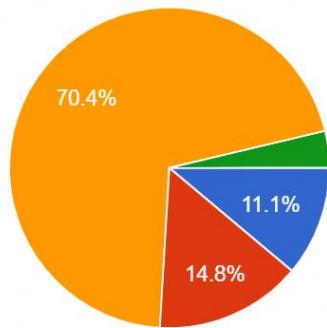
⋮ ラジオボタン

○ 聞いている人のコミュニケーションをとりながらはっぴょうすることができる。
○ みぶり手ぶりを入れながら、はっぴょうすることができる。
○ 聞いている人を見ながら、はっぴょうすることができる。
○ げんごうを読みながら、はっぴょうすることができる。

じょうほう活用スキルチェック

□ コピー

27 件の回答



- 聞いている人とコミュニケーションをとりながらはっぴょうすることができる。
- みぶり手ぶりを入れながらはっぴょうすることができる。
- 聞いている人を見ながらはっぴょうすることができる。
- メモに書かれたことを読みながらはっぴょうすることができる。

(6)学習計画

町たんけん2－グループで出かけよう— ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい！2

- ① 町たんけんの けいかくを たてよう！
- ② グループで たんけん しよう！
- ③ しらべたことを まとめよう！
- ④ みんなに つたえる じゅんびを しよう！
- ⑤ 町のすてきを はっぴょう しよう！
- ⑥ 学習を ふりかえろう！

10. - II 本時の学習（15／17）

(1) 本時の目標

滝川の町の商店のすてきを伝えることができるよう、クラスで交流し、よりよい発表にするためにどうすればよいかについて考えることができる。

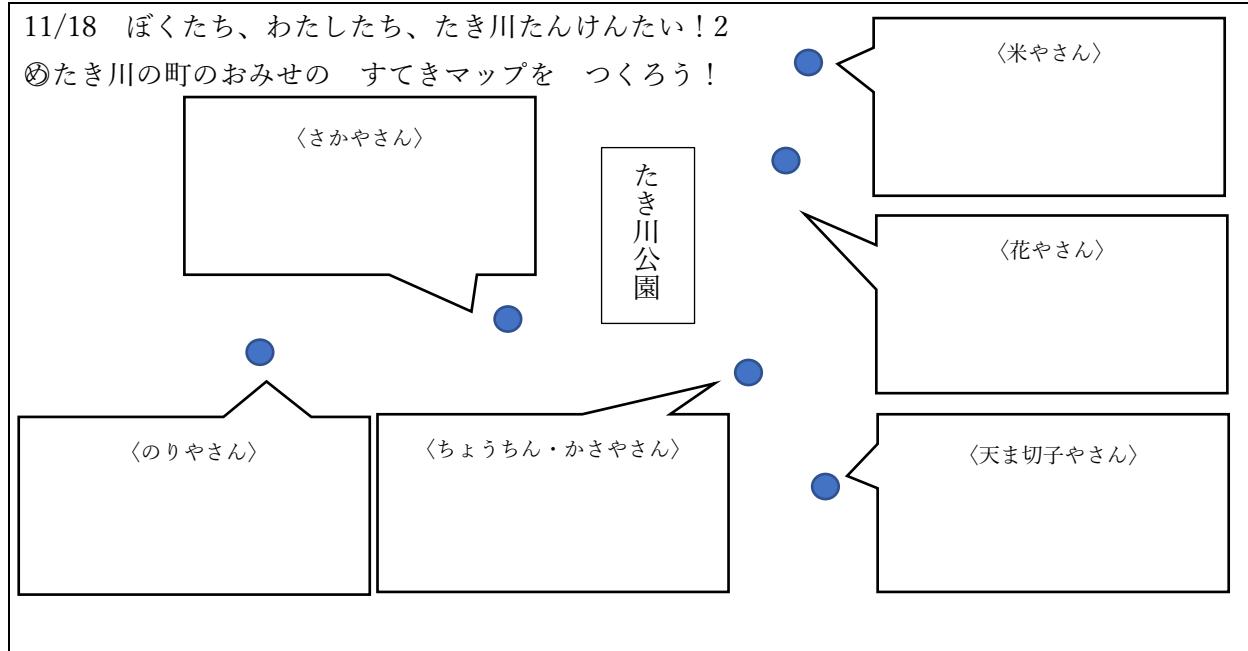
(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準等
1. 本時の学習課題を確認する。	・前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元の学習の中での位置付けを確認する。	・IWB ・PowerPoint（自作）
たき川の町のおみせの すてきマップを つくろう！		
2. 発表をする。 〈発表する人〉 ・町の商店のすてきが伝わるように発表をする。 〈聞く人〉 ①発表を聞いて、それぞれの商店の「すてきなところ」をワークシートに書く。 ②すてきなところを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用スキルを確認する。 ・これまでの発表の練習を生かすようする。 ・他のグループの発表を聞いて、それぞれの商店についてわかったことやすてきなところについて共有できるようする。 ・指導者は、児童が発表した商店の「すてきなところ」をマップに書いて可視化できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノート <p>※情報表現・発信 (プレゼンテーション)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わる中で見つけたことを振り返りながら、伝える相手や内容、方法を考え表現している。
3. 本時の学習を振り返り、次々の活動を確認する。 ・ワークシートに振り返りを書く。 ・情報活用スキルチェックをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・滝川の町の商店のすてきなところについて振り返ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google フォーム

(3) 板書計画

11/18 ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい！2

④たき川の町のおみせの すてきマップを つくろう！



(4) ワークシート

ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい!2。

2年 組名前()

★それぞれのグループのはっぴょうを聞いて、おみせの「すてきなところ」を書きましょう。

◎学習をふりかえろう。

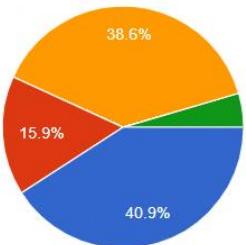
[Large empty box for reflection]

(5) 情報活用スキルチェック

じょうほう活ようスキルチェック

あてはまるところに、一つチェックを入れましょう。

じょうほう活ようスキルチェック	ラジオボタン
<input type="radio"/> 聞いている人のコミュニケーションをとりながらはっぴょうすることができる。	×
<input type="radio"/> みぶり手ぶりを入れながら、はっぴょうすることができる。	×
<input type="radio"/> 聞いている人を見ながら、はっぴょうすることができる。	×
<input type="radio"/> げんこうを読みながら、はっぴょうすることができる。	×



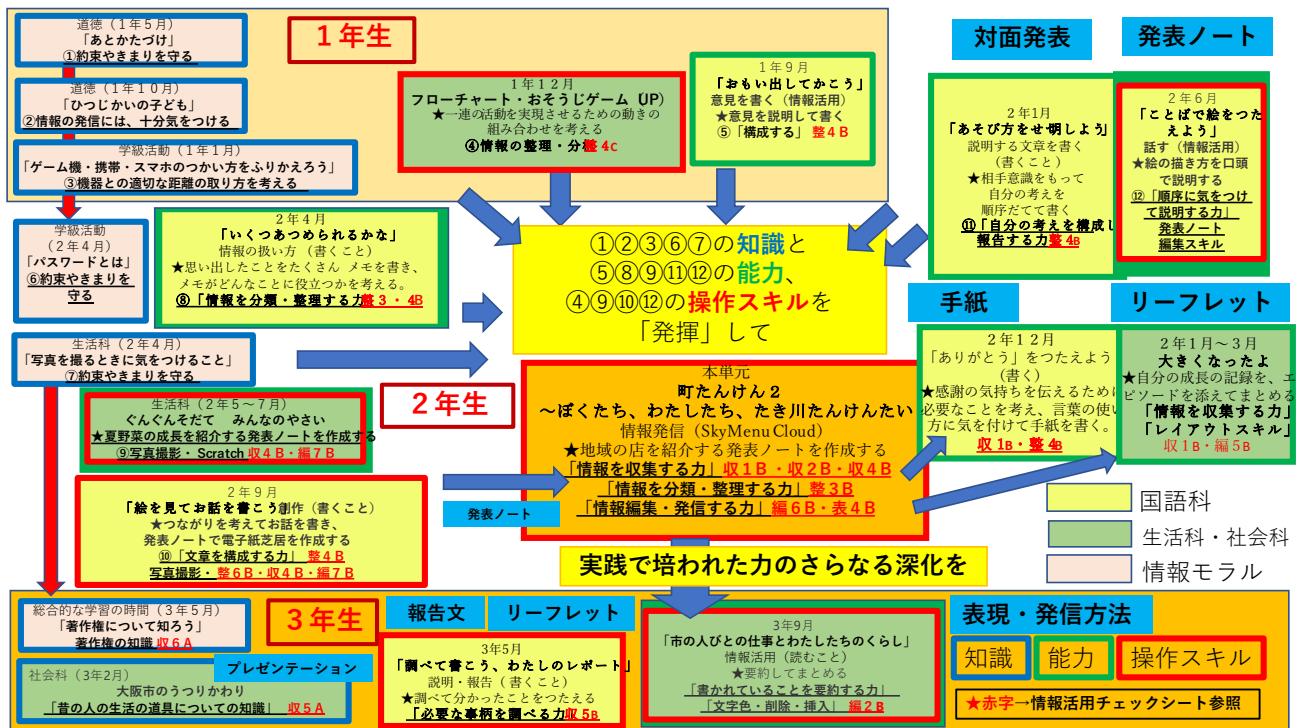
- 聞いている人のコミュニケーションをとりながらはっぴょうすることができる。
- みぶり手ぶりを入れながら、はっぴょうすることができる。
- 聞いている人を見ながら、はっぴょうすることができる。
- げんこうを読みながら、はっぴょうすることができる。

(6) 学習計画

町たんけん2－グループで出かけよう－ ぼくたち、わたしたち、たき川たんけんたい！2

- ① 町たんけんの けいかくを たてよう！
- ② グループで たんけん しよう！
- ③ しらべたことを まとめよう！
- ④ みんなに つたえる じゅんびを しよう！
- ⑤ 町のすてきを はっぴょう しよう！
- ⑥ 学習を ふりかえろう！

11. 情報活用能力の育成と発揮



第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 藤原 愛

平松 康亘

1. 日 時 令和4年10月7日（金）第4時間目(11:40～12:25)
第5時間目(13:50～14:35)

2. 学年・組 第3学年A組（在籍 33名）
第3学年B組（在籍 34名）

3. 単元名 天満のまつり、天神祭

4. 単元目標

- ・地域に伝わる祭りを調べ、地域の人々の思いや願いを知る活動を通して、地域で受け継がれてきた文化に関心をもち、伝えようとしている。【発信力】
 - ・地域の祭りについて疑問に思ったことや、祭りにかかわる人々の思いについて、情報を集めている。【調査力】
 - ・地域の祭りについて疑問に思ったことや、祭りにかかわる人々の思いなどから、地域社会の一員としての関わり方を考え、情報をを集め選んでいる。【組み合わせる力】
- ◎地域の祭りや祭りにかかわる人々の思いや願いについて、友達の考えを聞き、自分の考えと比べ、他者に質問したり感想を伝えたりして、自分の考えを見直そうとしている。【協働力】

5. 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・天神祭について、情報を的確に用い、相手が納得できるように伝えるための価値あるアイデアを生み出している。【発信力】	・天神祭について、課題にあった情報をを集めている。【調査力】 ・自分の課題を知らせるための情報を精査し、必要な情報を組み合わせて使っている。【組み合わせる力】	・同じ課題の友だちと情報を共有し、価値あるアイデアを生み出そうとしている。【創造力】 ・課題を解決するために、友達や他者（外部の専門家等）の意見を進んで取り入れようとしている。【協働力】

6. 単元で身に付けたい情報活用スキル

	情報活用スキル	S（名人級）	A（上級）	B（中級）	C（初級）
収集	インターネットで調べる	引用するサイトが信用できるものか判断するとともに、ほかのサイトの情報と比較して情報の正しさを判断することができる。	引用するサイトの出所元を意識し、必要な情報を選択することができる。	キーワードを入れて検索した結果から必要な情報を選択することができます。	ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力することができる。
	図書室・資料室などで調べる	求めている情報に加えて、図書室・資料室にどのような書籍・辞典・資料を揃えるべきかを提案することができる。	必要な情報を転記・ファイリングすることができる。	図書分類に従って、効率的に資料を探すことができる。	ほしい資料がありそうな場所を探すことができる。
	インタビューする	礼節をわきまえ、アポイントやお礼を伝えることができる。	返答された内容を理解して、さらに質問を展開することができる。	相手の返答を聞いてメモを取ることができます。	聞きたいことを相手に問い合わせることができます。
	メモを取る	言葉を取捨選択し、要約して記述することができる。主要なキーワードを列挙することができる。	相手の言葉や文章などから、必要な情報を抜き出して記述することができる。	相手の言葉や文章をそのまま書き留めたり書き写したりすることができます。	日時・場所・人物などの基本的な情報を記述することができる。

整理・分析	分類・整理する	根拠を明確にし、順序立てて整理することができる。	順序を考えて情報を探して情報を整理することができる。	情報を内容ごとに分類することができる。	必要な情報を選択することができる。
	構成する	伝える相手に応じて、伝えたいことを組み立てることができる。	「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを適した順序で組み立てることができる。	「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを組み立てることができる。	伝えたいことを構成することができる。
編集	スライド形式	サウンド・映像等を貼り付けたり、ハイパーリンクを利用したりしたスライドを作成できる。	スライドレイアウトを選択し、文字・画像・図形表・グラフ等を意図した箇所に自由に配置したスライドを作成できる。	スライドレイアウトを選択し、文字・画像・図形等を配置したスライドを作成できる。	文字や画像を貼り付けたスライドを作成できる。
表現・発信	プレゼンテーション	視聴者と双方向にコミュニケーションを取りながら発表できる。	視聴者の視線・表情・しぐさ等に反応しながら発表できる。	聞き手のほうを向いたり、身ぶり手ぶりを入れたりして、気持ちをこめて伝えることができる。	スライドや原稿に書かれたことを読み上げながら発表することができる。

7. 指導にあたって

本单元は、自分たちが住む地域を「天神祭」という観点からさぐり、昔から続く文化や伝統行事がどういったものであるのか、またそれに関わる方々はどのような思いで取り組んでいるのかを知り、これから地域を担う一員として積極的にかかわっていこうとする意識を育むことをねらいとしている。

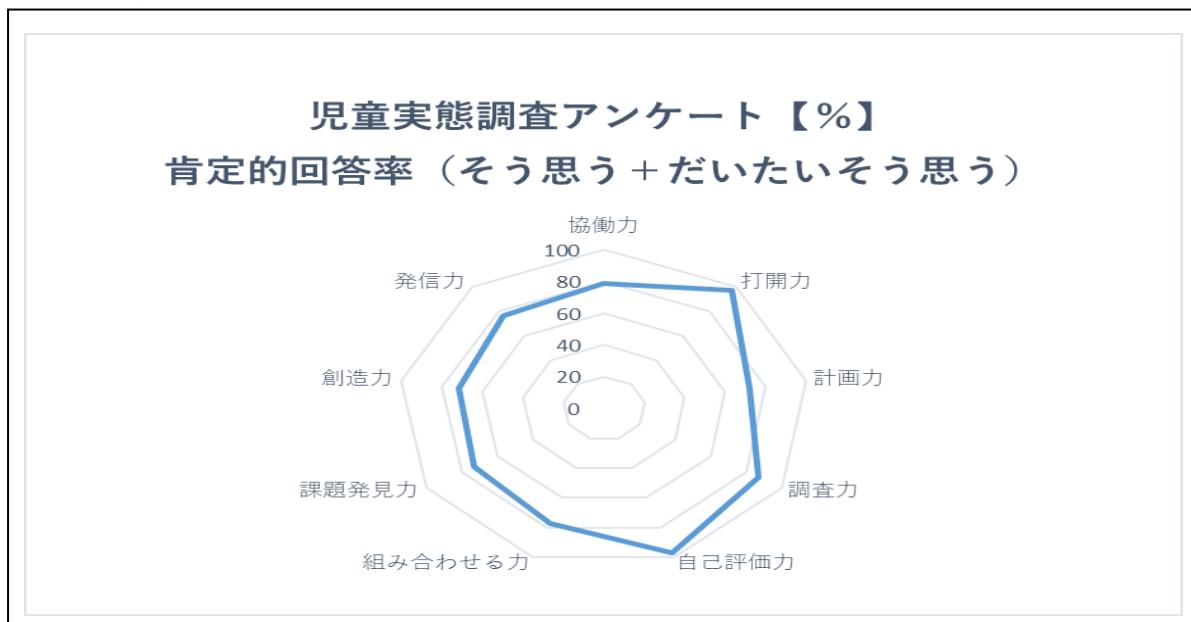
本学年の児童は、コロナ禍に入学し、入学以来他者と触れあう活動機会の多くを制限されながら学校生活を送り、3年生に進級した。新しく始まった社会科の学習の中で、5月に「校区たんけん」を行った。教師先導の一斉見学であったものの、住み慣れたまちの様子を見学する中で大阪天満宮にも足を延ばし、外観の見学を行った。その中で児童は、「大きな神社だな」「古い建物だな」といった感想を交流した。総合的な学習の時間の始まりとして、総合的な学習の時間とは何をする時間なのかを学習した後、今後の調べ学習に備え、著作権についての学習を行った。その後の、「私のレポート～かくれんぼする 生き物たち～」(6月)の学習では、各自が学校図書館や一人一台端末を用いた調べ学習を行い、書く内容を決め、自分が選んだ擬態する生物についてのレポートを作成した。この活動を通して児童は、総合的な学習の時間は自分たちの学びを生かして、自分たちで進めていく学習であるということを実感することができた。しかし、まだその活動は個人内の調べ学習であり、「協働的な学び」となっているとまではいえない【協働力】。

また、図書資料や端末を活用して調べることは好きだが、グラフや地図、写真や長い説明の文章を見比べて自分が必要とする情報を集めたり、選んだりする力はまだ身についているとは言えない【調査力】。

さらに、生活科や理科、国語科で獲得した知識と、調べたい課題について集めた情報とが関連していることに気付かず、情報を十分に生かすことができない児童も多くみられた【組み合わせる力】。

自分の考えと友達の考え方を比べ、似た意見を持っている友達同士でよりよい発表を生み出す力をつけたい【創造力】。また、手に入れた情報をもとに、自分の考えについて説得力をもって発信する力をつけていきたい【発信力】。

※児童の意識調査



1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまり思わない 4：思わない (%)

つけたい力	質問	1	2	3	4
自分から動く力	友だちと協力して学習している。	41	38	13	6
	問題にあきらめずに最後まで取り組んでいる。	56	41	3	0
	次のことを見通して学習に取り組んでいる。	31	41	28	0
学習したことを見通す力	調べたいことを色々な方法で調べようとしている。	52	35	3	0
	学習したことで自分ができたこと、できなかつたことが分かっている。	69	28	3	0
	学習したことを自分の生活や次の学習にいかそうとしている。	32	45	10	13
最後まで考え続ける力	学習の中で、「ふしぎたな」「なぜ」を見つけようとしている。	69	24	7	0
	理由をはっきりさせて自分の考えをもっている。	27	45	20	7
	相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。	38	38	24	0

指導にあたって、以下のような手立てで学習を進める。

① 導入

大きなテーマは「天神祭」であることをはじめに伝える。天神祭といえば思い当たることを考えさせ交流すると、今年3年ぶりに復活した天神祭での「子ども神輿」に参加した児童や「獅子舞」に頭を噛んでもらった児童の経験談はすぐに出ると思われる。それだけ自分たちにとって身近な、地域に根付いた祭りであることに気付かせる。

「天神祭」そのものの不思議について調べ、グループでまとめて「参観で発表会をする」いう大きな見通しを持つ。

② 外部講師招聘

本来はフィールドワークに出かけ実際の大阪天満宮を見学したかったところだが、今年度は感染症第7波の影響が続いているため、「天神祭」に関係する外部講師を招きたい。

天神祭りの提灯づくりを担うK氏は、3年生の児童の保護者もある。提灯づくりを通して祭りを支える者の思いや願いを聞かせていただく。

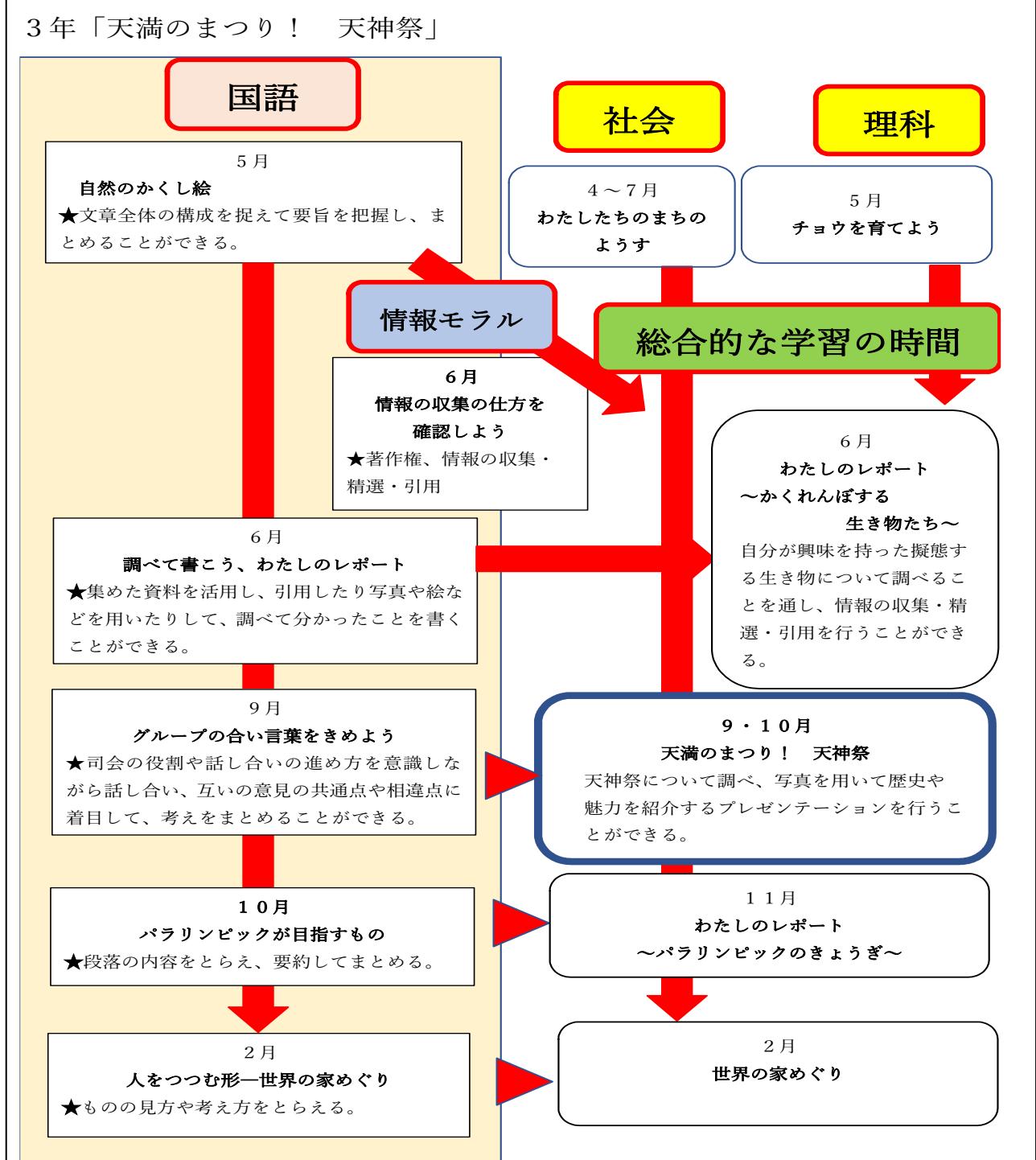
大阪天満宮に務めるM氏とGoogle Meetを通して繋がり、バーチャル見学会や質疑応答の機会をもつ。その後も児童の関心や疑問を解決する学習場面において、必要に応じてゲストティーチャーとして来校していただくよう依頼する。児童が次の課題を発見した際により的確に情報の収集にあたることができると考える。また質問をする際の話型に繰り返し触れることを通し、他者とのかかわりの中から自分の成長を実感することができるものと考える。

③ 一人一台端末の活用

一人一台端末を使って、根拠となる資料の扱い方や意見を整理する学習をたびたび取り入れる。必要な情報を選び、相手に伝わりやすくするための資料として使う活動を取り入れる。何がよい資料となるのかを自分自身やペアの友達の考えを聞いて経験をグループでの協働学習に生かしていくことができると言える。

④ 国語科・社会科と連携したカリキュラム

国語科では、6月「調べて書こう、わたしのレポート」では、集めた資料を活用し、引用したり、写真や絵などを用いたりしてレポートにまとめる学習を行った。また、9月「グループの合言葉をきめよう」では、司会の進行に沿って話し合い、グループでお互いの意見の共通点や相違点を整理し、グループの意見をまとめることを学習した。本単元でプレゼンテーションを作成するに当たっては、社会科で学習した「わたしたちのまちのようす」との関連を意識し、学習の内容が常に身近にあり活用し続けることができるよう学習を展開する。また、1学期に学習した国語科「グループの合い言葉をきめよう」の「話す・聞く」のスキルや、情報モラル「情報の収集の仕方」を想起させたい。



※単元の流れ

第一次「つかむ」段階ではこれまでの天神祭に対するイメージを想起したり、映像資料を視聴したり、今年の子ども神輿や獅子舞に関わった児童の体験を聞いたりしたりすることから、もっと天神祭について体験したいことや知りたいことといった課題を設定できるようにする。身近な体験を交流・共有する場面において、天神祭のもつ様々な側面を多面的にとらえさせたい。また、10月半ばに行われる学習参観において、地域の人や保護者にプレゼンテーションの発表会を行うことを伝える。目的意識や見通しをもって一連の活動に取り組むことができるようにならねたい。また、振り返りを積み重ねることで、活動の中での他者との関わりや自身の気づきの変化を捉え、主体的な学習となるよう進めていきたい。

第二次「さぐる」段階では、交流したことをもとに、自ら設定した課題を解決していくための見通しをもち、情報収集にあたる。図書資料、一人一台端末、地域の人材へのインタビューなど多様な方法を活用する中で、自分に合った課題解決の方法を選択する力を身につけさせたい。また、ゲストティーチャーから天神祭に関わる人々がどんな思いや願いで祭に関わっているのか情報を収集することができるようになる。ゲストティーチャーに取材した情報をもとに、友達と整理・分析をして人々の思いや願い、取り組みについて明らかにする。

第三次「深める」段階では、第二次で見出した天神祭のよさを伝えるために、プレゼンテーションを行うという課題を設定する。児童の興味・関心をもとにグループ編成を行い、見せ方・話し方を工夫する中で友だちとの関わりが増し、つながりが深まっていくと考えられる。それぞれの子どもたちの思いに沿った発表となるよう、発表の場の設定を工夫したい。また、天神祭のよさを伝えた後には、協働的な活動で分かったことを振り返らせて、次時への見通しと追求課題をもつことができるようにならねたい。

第四次「生かす」段階では、学習への有用感をもたせ、これまで学んだことや地域の人の思いや願いから、今後の自分の生き方や地域との関わり方について考えさせていく。これまでのプロセスを振り返る中で、達成感や一体感、高揚感を交流し、できるようになったことやわかったこと、もっとやってみたいことを伝え合う。この活動を通して、地域の一員としての自覚を高め、地域のためにできることを考えていこうとする子どもを育てたいと考える。

8. 学習計画（全12時間）

単元名	時	主な学習活動	評価規準	ICT 活用 <u>情報活用</u> スキル※
第一次 「天神祭」って、どんな祭り？（つかむ）	1 2	<p>これまでの総合的な学習の時間振り返ったり、天神祭について知っていることを交流したりして、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間で学習したことを想起し、これまでの自分の天神祭における経験やイメージを交流する。 ・映像資料を視聴し、知っていることを確かめたり、気づいたことをメモしたりする。 ・気づいたことを交流し、次の活動へつなげる。 ・最終的に、調べてまとめたことを、保護者や地域の方々を招いた学習参観の場でプレゼンテーション発表を行うことを知らせる。 	<p>【調査力】 地域の行事をさまざまな側面から想起し、新たな一面を知ることができる。</p> <p>【協働力・発信力】 得た情報を友達と整理・分類して伝え合うことができる。</p> <p>【課題発見力】 身近な行事に関心をもち、次への課題を見つけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IWB ・ Microsoft PowerPoint (自作教材) ・ Google classroom (Jam board) ※情報整理・分析 (情報の分類・整理) ・ Google フォーム ・ スクールライフノート

第二次 「天神祭」のひみつ 大発見！（さぐる） (+3)	3 4 5 6 7	天神祭の由来や神事の概略について、資料や端末を用いて調べたり、ゲストティーチャーのお話を聞いたりする。	<p>【調査力・組み合わせる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分に合った調べ方で天神祭についての情報を的確に収集することができている。 天神祭に関わる人々の願いや思いが伝わるようにまとめことができている。 <p>【協働力・発信力】</p> <p>自分のわかったことを紹介したり、友だちのわかったことや疑問を聞いたりして、情報の収集の仕方を考えたり、工夫しながら調べて気付いたことを自分なりに表現したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> IWB Microsoft PowerPoint (自作教材) Sky Menu (発表ノート) <p>※情報収集 (インターネットで調べる) (図書資料で調べる) (インタビューを行う) (メモを取る)</p> <p>※情報整理・分析 (情報の分類・整理)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google フォーム
		・調べたい内容からカテゴリごとにグループになり、調べ学習を行い、わかったことや疑問に思ったことなどを交流する。		
		・交流したことを生かして、さらに調べる。		
		・気づいたことを交流し、次の活動につなげる。		
		・調べていく中で新しく出てきた調べたいことを、さらに調べる。		

第三次 伝えよう、「天神祭」 (深める)	8 ～ ・	<p>天神祭について、グループでスライドをつくり、プレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天神祭りについて調べて分かったことをグループでスライドにまとめる。 	<p>【組み合わせる力】 個に応じたスキルを発揮し、グループで協働して原稿やスライドをまとめることができている。</p> <p>【協働力】 グループで協働して原稿やスライドをまとめ、協働して取り組むことのよさに気づいている。</p> <p>【発信力】 ・資料を駆使し、大人も納得させるように伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Sky Menu (発表ノート) <p>※情報整理・分析 (構成する)</p> <p>※情報編集 (スライド形式)</p> <p>※情報発信・表現 (プレゼンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google フォーム
	9 本時II ・	<p>天神祭について、グループで協力・分担して調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の練習をしたり、原稿やスライドを推敲したりする。 	<p>【協働力】 グループで協働して原稿やスライドをまとめ、協働して取り組むことのよさに気づいている。</p>	※情報整理・分析 (構成する)
	10 ・	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことを表現し、交流する。 	<p>【発信力】 ・資料を駆使し、大人も納得させるように伝えることができる。</p>	※情報編集 (スライド形式)
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々を招待し、天神祭についてのプレゼンテーションを行う。 		※情報発信・表現 (プレゼンテーション)
	第四次 学んだことを伝え合おう (生かす)	今までの活動を通して気付いたことを振り返り、これから自分の生活に生かそうとする。	<p>【組み合わせる力】 学習を通して分かったことをこれからの自分の生活に生かしていくこうとすることができます。</p> <p>【発信力】 今までの活動を振り返り、単元を通して気付いたことを自分自身と関連付けて考えて、表現している。</p> <p>【協働力】 地域の人や友だちなど身近な人々と関わることの楽しさが分かり、進んで交流している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Google フォーム
				<ul style="list-style-type: none"> スクール ライフノート

9. - I 本時の学習（6/12）

(5) 本時の目標

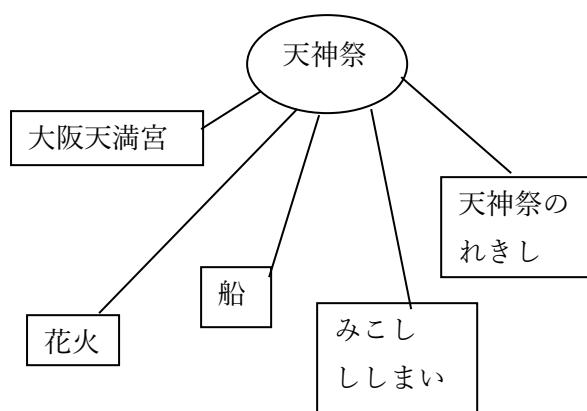
発表ノートを使って作成した各自のノートを整理して、グループの発表内容と役割分担を決めることができる。

(6) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準等
1. 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元の学習の中での位置付けを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> IWB PowerPoint (自作)
グループで、発表の内ようとやくわりを決めよう。		
2. 3・4人グループでメンバーのメモを確認し合う。 ① 同じ部分や異なる部分を確認する。 ② 異なる部分は協力して調べなおすようにする。 ③ 伝えたい情報の項目を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> 端末の操作について、小グループ内でフォローし合うようにする。 メンバー同士で見合い、「重なり」や「ちがい」について話し合うようにする。 「ちがい」を見つけた際には、正しい情報に修正するように助言する。 天神祭に関わる人々の願いや思いが、聞き手に伝わるようにまとめることができているかを確認するようにする。 各自のスキルを考慮した役割配分になるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> Sky Menu (発表ノート) <p>※情報収集 (インターネットで調べる) (図書資料で調べる) (メモを取る)</p> <p>※情報整理・分析 (情報の分類・整理)</p>
3. 誰がどの部分のスライドや発表原稿を作成するのか話し合う。 4. グループごとに決まった役割を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の役割を自覚することができるようする。 さらに調べたい課題が見つかったグループにおいては、だれが・どのように調べるのかを確認するよう助言する。 協働して学習することの難しさや良さに気づいた児童の発言を取り上げ価値づけ、次時の活動を確認する。 	<p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> よい発表になるよう粘り強く考察し、協働的な態度で取り組んでいる。 Google フォーム
5. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 情報活用スキルチェックを行うようにする。 	

(7) 板書計画

10/7 ⑥ グループで、発表の内ようとやくわりを決めよう。



今日の活動

- ① グループで発表ノートを見合う。
- ② 内ようとやくわりをかくにんする。
*同じことを調べているのに、
ちがうせつ明がされていたら・・・？
- ③ 調べ直す。
- ④ やくわりを決める。

*児童から出た関心を基にグループの設定を行う。

9. - II 本時の学習（9/12）

(1) 本時の目標

発表ノートを使って作成した発表資料について、地域の人がもっとよくわかる発表になるようグループ間で伝え合うことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準等
1. 本時の学習課題を確認する。	・前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元の学習の中での位置付けを確認する。	・IWB ・PowerPoint (自作)
地いきの人がもっとよくわかる発表になるよう、気づいたことを伝え合おう！		
2. 3～4人グループで自分たちの発表を確認し合う。 ① プレゼンテーションをお互いに発表し合う。 ② 発表し合うときの観点をもとに、文章や資料の「よいところ」「アドバイス」をメモする。 ③ グループ同士で「よいところ」「アドバイス」を交流する。	・端末の操作について、小グループ内でフォローし合うようにする。 ・情報活用スキルチェックを意識して発表できるようにする。 ・発表をし合うときの観点を示し、相互評価することを確認する。 ・評価の観点を明記したワークシートを活用できるようにする。 ・友達の発表の評価に困っている児童には、制作した児童に工夫した点を質問することにより、その点を評価できるようにする。 ・グループ同士で発表し合った後、「よいところ」と「アドバイス」について交流する場を設ける。	・発表ノート ※情報発信・表現 (プレゼンテーション)
3. 「アドバイス」を参考にして、よりブラッシュアップできるように手直しする箇所を考える。	・友達のアドバイスをもとに、天神祭に対する思いや願いなどが伝わるようにブラッシュアップできるようにする。	 ※情報整理・分析 (構成する) ※情報編集 (スライド形式)

		【主】
<p>4. もう一度発表し合い、天神祭りの良さやそれに関わる人の思い・願いを伝えているか確認する。</p> <p>5. 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表のよいところを見つけることができたか、友達の意見を参考に自分のグループの発表をよりよくする視点をもつことができたかについて確認できるようにする。 資料を活用し、地域の人が納得できるように伝えることができているかを助言する。 次時の活動を確認する。 情報活用スキルチェックを行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい発表になるよう粘り強く考察している。 Google フォーム

(3) 板書計画

10/7 ⑥ 地いきの人がもっとよくわかる発表になるよう、
気づいたことを伝え合おう！

「わかりやすい」って？

- 文字
- 写真
- 言葉の意味
- 思いやねがいつたわる

《ポイント》

①祭りの意味やよさが伝わっている。

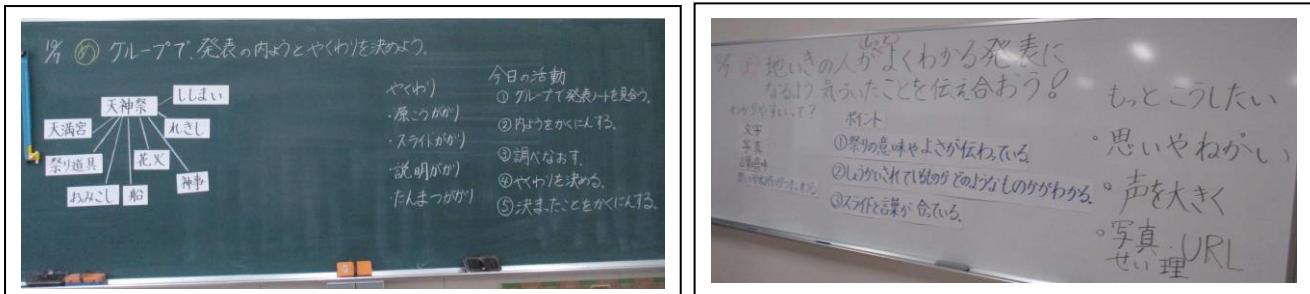
②しょうかいされているものが どのようなものかがわかる。

③スライドと言葉があっている。

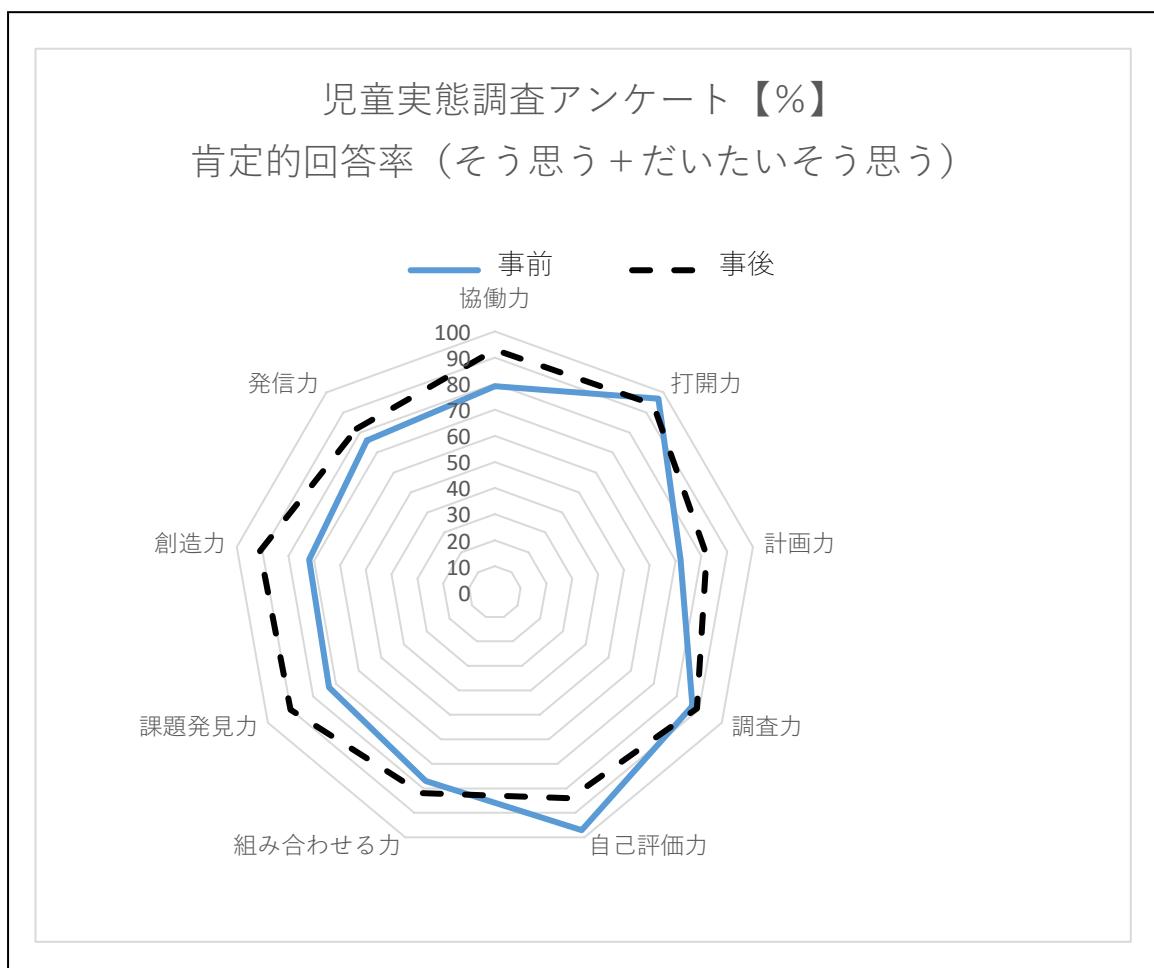
こうしたい！

- せつ明のじゅん番をかえたい。
- 写真の 見てほしいところにやじるしを入れたい。
- くわしくする言葉を書き足したい。
- 身ぶり手ぶりをいれて気持ちがもっと伝わりやすい言い方をしたい。

10. 授業を終えて



※児童の意識調査

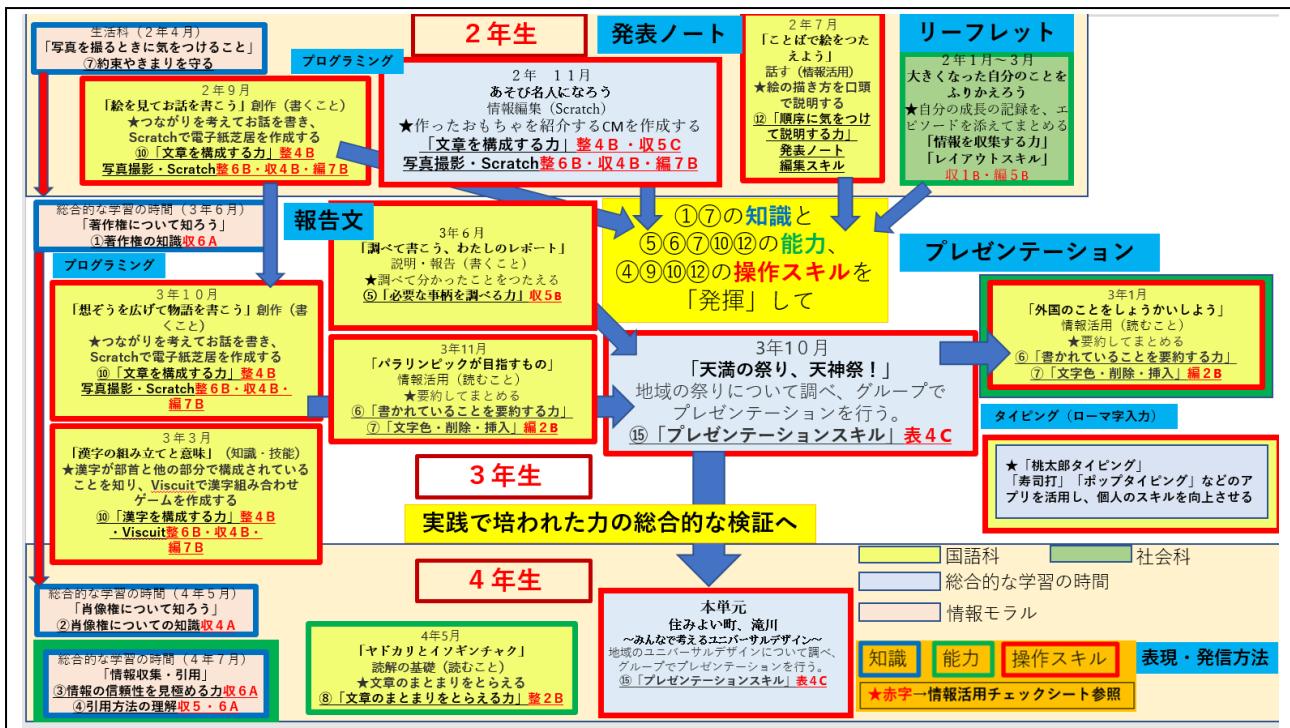


1: そう思う 2: だいたいそう思う 3: あまり思わない 4: 思わない (%)

つけたい力	質問	1	2	3	4
自分から動く力	友だちと協力して学習している。	67 (△26)	26 (▼12)	6 (▼7)	0 (▼6)
	問題にあきらめずに最後まで取り組んでいる。	80 (△24)	14 (▼21)	6 (△3)	0 (0)
	次のことを見通して学習に取り組んでいる。	35 (△4)	47 (△6)	12 (▼26)	12 (△12)
学習したことを上手く使う力	調べたいことを色々な方法で調べようとしている。	40 (▼12)	49 (△14)	11 (△8)	0 (0)
	学習したことで自分ができたこと、できなかったことが分かっている。	61 (▼8)	23 (▼5)	14 (△11)	0 (0)
	学習したことを自分の生活や次の学習にいかそうとしている。	47 (△15)	35 (▼10)	17 (△7)	0 (▼13)
最後まで考え続ける力	学習の中で、「ふしぎたな」「なぜ」を見つけようとしている。	61 (▼8)	29 (△5)	6 (▼1)	3 (△3)
	理由をはっきりさせて自分の考えをもっている。	50 (△13)	41 (▼4)	6 (▼14)	3 (▼4)
	相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。	44 (△6)	38 (0)	18 (▼6)	0 (0)

11. 情報活用能力の育成と発揮

これまでに育成されてきた本単元で必要な情報活用能力は、以下のものである。



第4学年 国語科指導案

指導者 稲垣 昭弘

1. 日 時 令和4年9月14日（水）第5時間目（13:25～14:10）

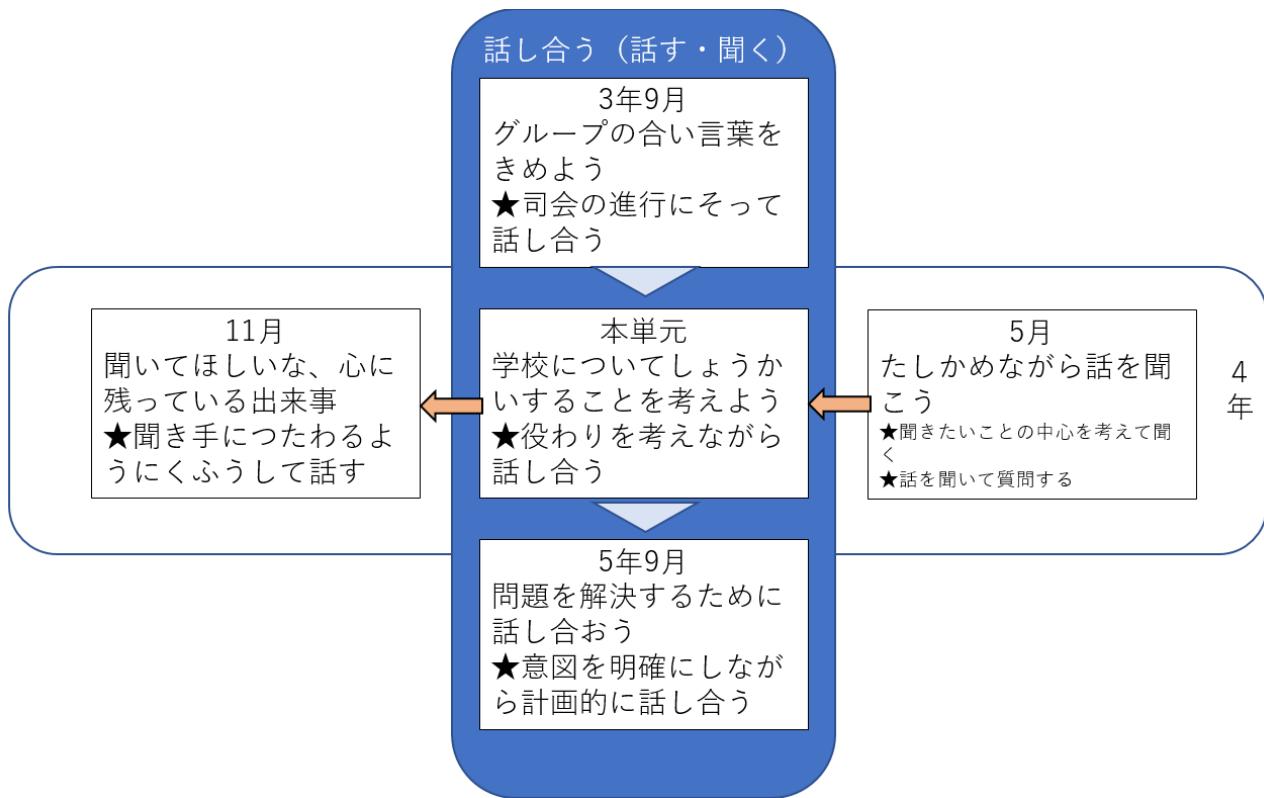
2. 学年・組 第4学年A組（在籍23名）

3. 単元名 学校についてしゃかいすることを考えよう（東京書籍 4年）

4. 単元目標

話し合いの目的を理解して、司会者・提案者・参加者などの役割を果たしながら話し合い、結論をまとめることができる。

5. 単元間の関連



本単元は、「話すこと聞くこと」において「話し合う」の系統に位置付けられる。三年の同系統の単元では、司会の役割や話し合いの進め方を意識しながら話し合い、考えをまとめることで学習してきた。

本単元で扱われている全体の場による話し合いは、国語科にとどまらず他教科や特別活動、総合的な学習の時間においても、非常に関連が深い学習活動である。児童の学校生活や日常生活に関する身近な話題を議題として取り上げることが話し合いのよさや、本単元でねらう役割分担の重要性を実感することにつながる。児童が「目的意識」を持ちながら、意欲的に話し合いを進めることができるような場の設定を意識して行いたい。

6. 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
・相手を見て話したり聞いたりするなど、参加者全体に伝わっているかを注意しながら話している。(1)イ	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A(1)オ	・これまで学習したことや話した経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、進んで話し合いの目的を理解して役わりを果たしながら、学級全体で話し合おうとしている。

7. 付けたい言葉の力と単元でそれにふさわしい言語活動

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における【思考力・表現力・判断力等】の「A 話すこと・聞くこと」(1)オ「目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。」である。

本単元では、教科書 P114,115 の「石川さんのクラスの話し合い」を参考にし、話し合いではうまくいかなかつたことや難しかつたことを出し合うことで、「多人数で話し合う場合の話し合いの進め方や役割分担」へと、児童の問題意識を向けるようにする。そして「役割を考えながら話し合う」という「言葉の力」を常に自覚しながら学習を進めることができるようにしたい。

また、話し合いでは、「学校を一年生に紹介する」という具体的な議題のもと、話し合いを進めていく。話し合いの人数が増えてくると出てくる意見も多種多様となる。そこで、「議題を共有した後に、テーマごとに少人数での話し合いを行い、その後多人数で話し合う。」というように効率よく議題の解決が図れるような流れとなっている。テーマを複数決めることで、学級全体の話し合いを繰り返し行うことができ、様々な役割を経験することができる。

8. 単元で身に付けたい情報活用スキル

本単元では、以下の情報活用スキルチェック、学習の振り返りの場面に一人一台端末を積極的に活用する。

	情報活用スキル	S（名人級）	A（上級）	B（中級）	C（初級）
整理・分析	整理する	他者の意見と比較して、根拠を明確にし、ランキングして整理することができる。	他者の意見と比較して、提案する内容を整理することができる。	提案する内容を仲間分けして可視化することができる。	提案する内容を表すことができる。

表現・発信	グループディスカッション	役割を考えながら、グループの合意形成を図り、より良い考えをまとめることができること。	役割を考えながら、自分や他者の意見を取り入れて、提案をまとめてことにつなげことができること。	役割を考えながら、他者の意見に対して、自分の意見を言うことができる。	役割を考えながら、課題（テーマ）に沿って自分の意見を表すことができる。
-------	--------------	--	--	------------------------------------	-------------------------------------

9. 指導にあたって

本単元では、少人数で話し合う場から多人数で話し合う場へと話し合いの場を広げることで、司会者、発表者、参加者など、話し合いにおける様々な役割についての認識を深め、話題に沿って話し合う力を持つことを意識している。どの役割においても話し合いの目的や必要性、目指す到達点を自覚しながら、話し合いを進めることができることが大切である。そのために必要なのが、学習指導要領における〔知識及び技能〕の(1)イ「相手を見て話したり聞いたりすること。」である。これまでの学習ではグループごとの話し合いであったため、ほかの児童との距離が近く、日常生活と同じような話し方でも聞き手に自分の意見を伝えることができた。しかし本単元では学級で話し合うため、多くの聞き手に向けて話さなければならない。その際に、今まで以上に聞き手に自分の話が伝わっているかどうかを確かめながら話すことが重要になってくる。これまでの既習事項を生かしながら、多人数で話し合うことができるようにならたい。

まず、学級全体の話し合いの特徴をつかむために、本単元の話し合いの例から、少人数での話し合いと多人数での話し合いの違いを問いかける。たくさんの人の意見をまとめていくための方法として、「場所、人、行事」などのテーマを絞って話し合うことや、グループからの提案を全体の場に反映させていく、という学習の流れも最初に意識させておくことが大切であると考える。

また、話し合いの内容を充実させるためには、提案する側が紹介したい理由をしっかりと持っていることが大切である。そこで本時では、テーマに合わせて紹介したいと思う事柄となるべく多く書き出し、その一つ一つに紹介したい理由を考えるようにする。その際に、同時編集が可能な Google Jamboard を活用することで、友だちの意見を参考にしながら自分の意見を考えることができるようになる。その後、提案したい「滝川小学校のよいところ」とその理由について異なるテーマ別グループと意見交流することで、提案する内容をよりよくできるようにしたい。

次に、教科書の例を参考にしながら、議題や目的を確かめる。「1年生に滝川小学校のよいところを伝える」という目的を設定すれば、その目的からはずれないように話し合いを進めることができるということを、すべての役割の児童に意識させたい。各グループでの提案がまとったら、クラス全体の話し合いを行う。教科書 P117~120 の「石川さんのクラスの話し合い」を参考に、「①議題を確かめる→②提案する→③提案について質問する→④話し合う→⑤話し合いをまとめる」という話し合いの流れを確かめる。この手順を踏まえて話し合いができるようにしたい。

そして、1回目の学級全体での話し合いが終わったら、その内容を振り返り、改善すべき点を出し合う。「目的に沿った話し合いができたかどうか」という点に加えて、本単元のねらいである「役割を考えながら話し合う」という言葉の力に立ち返り、自分の役割について振り返るようにしたい。これらの振り返りを踏まえて、2回目は違うテーマについて学級全体で話し合う。司会者、書記などの役割はできるだけ違う人が行うことで、多くの児童が様々な役割を経験できるようにしたい。

単元の終わりに、再度これまでの話し合いを振り返ることが、学びを深め、「言葉の力」を自覚することにつながる。まずは、個人の役割について、よかった点や気づいた点を出し合い整理してみることで、もう一度それぞれの役割がうまくいくためのポイントを共有するようにしたい。

この時期の児童は、自我の発達に伴い、物事を自分たちの意思で決めたいという気持ちが強くなっている。また、自分と異なる考えを受け止めることができるようにもなってきていている。「自分たちで話し合いにより問題を解決する」という合意形成の過程を、他教科や特別活動、総合的な学習の時間など、様々な場において生かしていくことが学びの深まりにつながる。

10. 学習計画

	時	主な学習活動	評価規準	ICT 活用 情報活用スキル
つかむ 取り組む	1	<p>①これまでの学習を振り返り、単元の見通しを立てる。</p> <p>・「1年生に滝川小学校のことをもっと知つてもらうために、滝川小学校のことを紹介する」という目的で話し合いを行うことを知る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft PowerPoint ・ デジタル教科書 ・ スクールライフノート ・ IWB
	2	<p>②一人一人が考えた「滝川小学校のよいところ」をもとにして、学級全体で話し合うテーマをしぼる。</p> <p>・ワークシートに「滝川小学校のよいところ」について、一人一人がウェビングマップに書き出す。 →「場所」「行事」「教科」などのテーマを見つける。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft PowerPoint ・ デジタル教科書 ・ スクールライフノート ・ IWB
	3 本時	<p>③テーマ別グループで「滝川小学校のよいところ」について話し合う。(本時)</p> <p>・一人一人の意見をもとにテーマ別グループで話し合い、提案する内容をまとめ。(Jamboard を活用する。)</p> <p>・ほかのテーマ別グループと提案内容について話し合い、アドバイスをし合う。</p> <p>「私たちが紹介したい場所の一つ目は、図書館です。その理由はいろいろな本があって、知らないことを知ることのできる場所だからです。」</p> <p>「二つ目は、理科室です。その理由は、</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。</p> <p>A(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft PowerPoint デジタル教科書 ・ Google classroom (Jamboard) (Google フォーム) ※情報の整理・分析（整理する）

4	<p>理科室にしかない道具を使っていろいろな実験ができるからです。」</p> <p>④ 話し合いの役割を確認し、それぞれの役割に対する理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の「石川さんのクラスの話し合い」を役割読みしたり、資料映像②を視聴したりすることで、役割についての理解を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> Microsoft PowerPoint デジタル教科書 スクールライフノート <p>IWB</p>
5	<p>⑤ 1年生に紹介したい「滝川小学校のよいところ」を決めるために一つ目のテーマについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生に学校のよいところについて紹介するために話し合うという議題について確認する。 紹介したいところと、その理由について話し合う。 話し合いの内容について振り返る。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手を見て話したり、聞いたりするなど、参加者全体に伝わっているかを注意しながら話している。(1)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A(1)オ 	<ul style="list-style-type: none"> スクールライフノート Google classroom (Google フォーム) <p>※表現・発信（グループディスカッション）</p>
6	<p>⑥ 前回の話し合いの振り返りを生かして、違うテーマについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回の話し合いを振り返り、それぞれの役割についてよかったですところや難しかったところを出し合い、さらに良くするには、どうしたらよいかを話し合う。 前回とテーマを変えて話し合う。 今回の話し合いについて振り返る。 	<p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで学習したことや話し合った経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、進んで話し合いの目的を理解して役割を果たしながら、学級全体で話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> Google classroom (Google フォーム) スクールライフノート <p>※表現・発信（グループディスカッション）</p>
振り返る	<p>⑦ 役割を意識した話し合いについての学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の学習を振り返り、身についた「言葉の力」を確かめる。 		<ul style="list-style-type: none"> Google classroom (Google フォーム) スクールライフノート

※本単元で活用する情報活用スキルチェック

情報活用スキル（じょうほうかつよう） スキルチェック「整理する」（整理・分析）

✉ e7989038@oskedu.jp（共有なし）アカウントを切り替える



情報活用スキル（じょうほうかつよう）スキルチェック「整理する」（整理・分析）

- 友だちの意見と自分の意見をくらべて、理由をはっきりさせて、提案したい順番に整理することができる。。
- 友だちの意見と自分の意見をくらべて、提案したい内容を整理することができる。
- 提案する内容を、わかりやすく仲間分けしながら表すことができる。
- 提案する内容を表すことができる。

送信

フォームをクリア

4B② 情報活用（じょうほうかつよう） スキルチェック「グループディスカッション」（表現・発信）

当てはまるところに一つチェックを入れましょう。

✉ e7989038@oskedu.jp（共有なし）アカウントを切り替える



*必須

4 A情報活用「グループディスカッション」（表現・発信）*

- グループの一人一人がなっとうしながら、よりよい考えをまとめることができる。
- 自分やほかの人の意見を取り入れて、提案（ていあん）をまとめようとすることができる。
- ほかの人の意見に対して、自分の考えを言うことができる。
- 議題にそって自分の意見を言うことができる。

送信

フォームをクリア

11. 本時の学習（3／7）

(1) 本時の目標

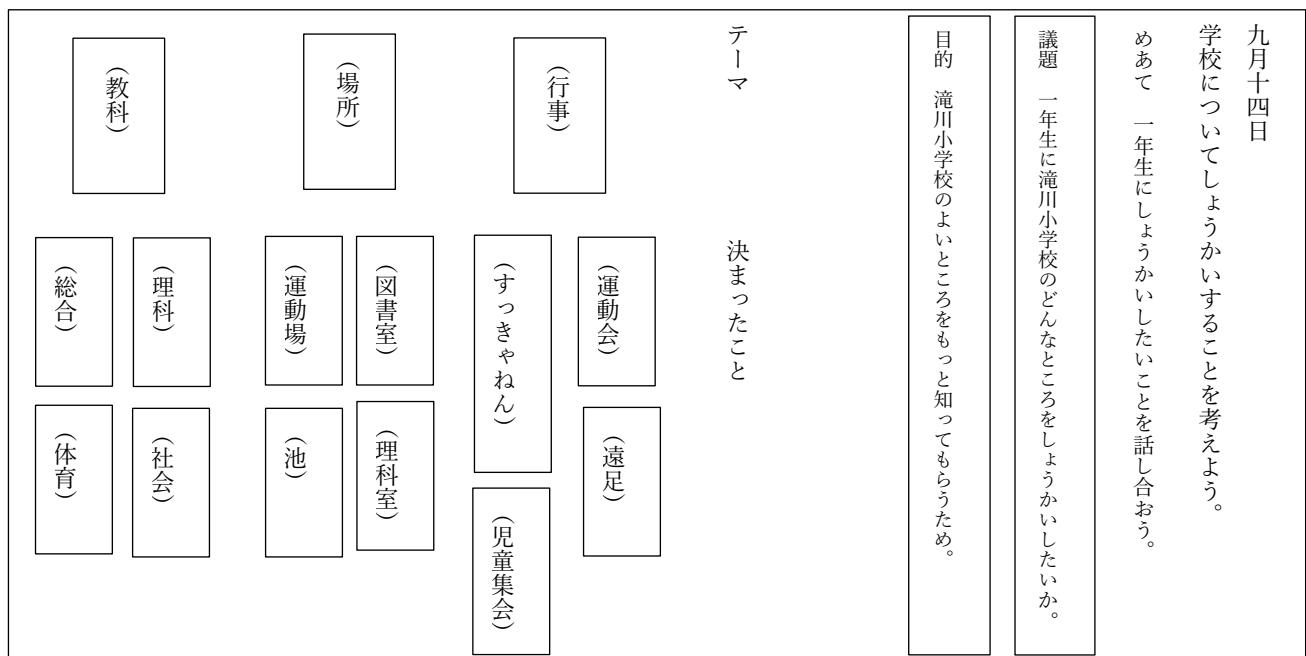
議題と目的を確かめ、一年生に紹介したいことをテーマ別のグループで話し合うことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準等
1. 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を確認する。 ・議題、目的、決定したテーマを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・Microsoft PowerPoint (自作)
1年生にしょうかいしたいことを話し合おう。		
2. 一人一人が紹介したい滝川小学校のよいところを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の情報活用スキルチェックを確認する。 ・テーマ別グループごとに、スライドを配付する。 ・Jamboard を活用し、テーマ別グループごとに、考えを付箋に表すようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom (Jamboard)
3. テーマ別グループごとに、よいところを交流し、2つ選ぶ。 ・提案する内容を整理し、理由などを入れて話す。 ・「1年生に紹介すること」ということを意識して選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「1年生に紹介すること」ということを意識して2つ選ぶようとする。 ・提案内容を比較して、似ているところはまとめるように助言する。 ・司会を中心に小グループでスムーズに話し合いが進むようとする。 	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1) <p>※情報の整理・分析(整理する)</p>
4. 話し合って決めた1年生に紹介したいことについて異なるテーマ別グループと話し合う。 (話す人) ・役割を決めて発表する。 ・グループで選んだ紹介したいところとその理由について話す。 ・アドバイスをワークシートに記入する。 (聞く人) ・1年生に伝わりやすいか考えて聞く。 ・アドバイスする。	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介したいところを発表するときは、スライドを使い、分かりやすく話すようする。(話型を確認する。) 	

5. 学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 友達のアドバイスを次時の話し合いに生かすように助言する。 情報活用スキルチェックを行うようにする。 振り返りをスクールライフノートに書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> Google classroom (Google フォーム) <p>※情報の整理・分析(整理する)</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールライフノート
--------------------------	--	--

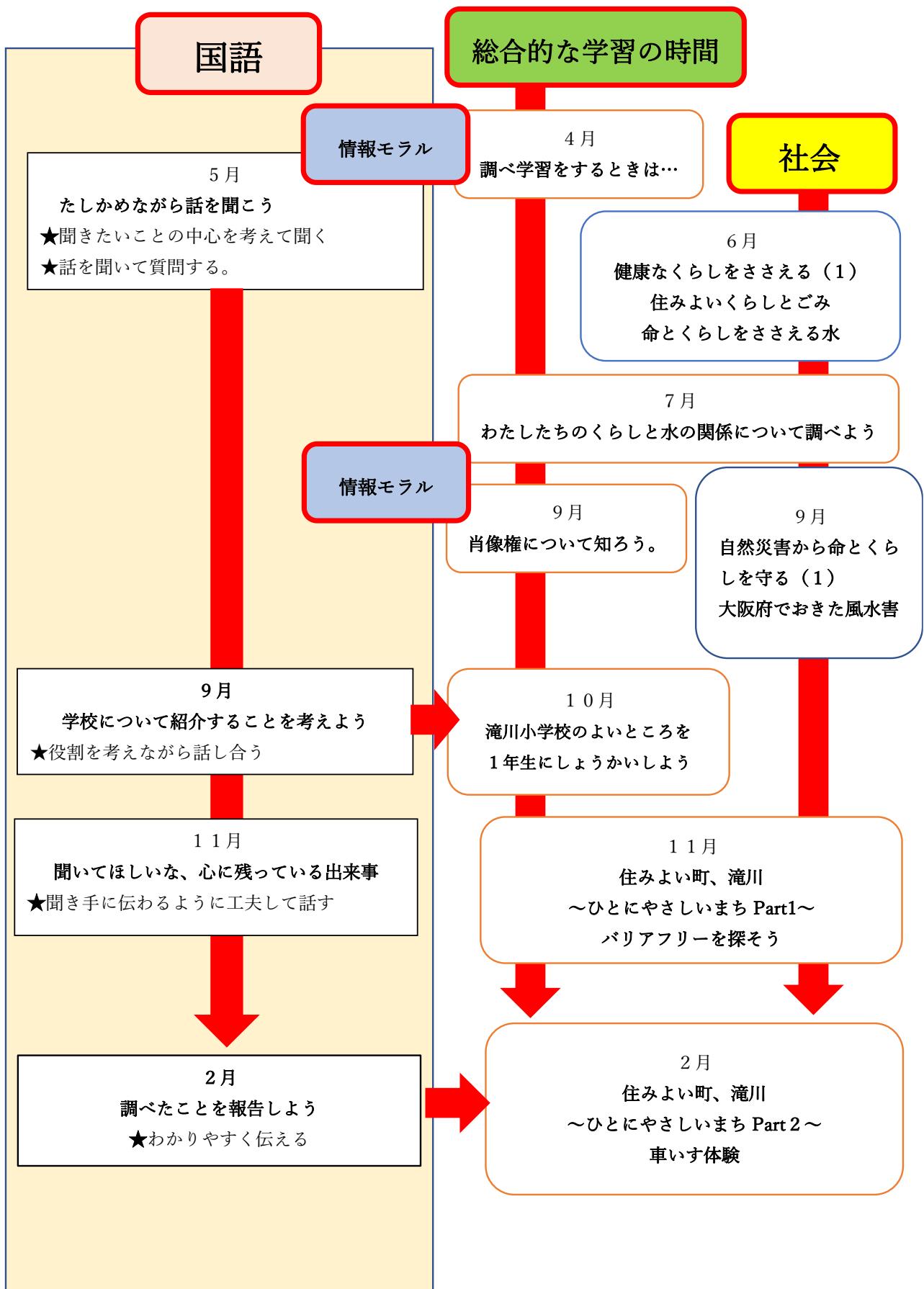
板書計画



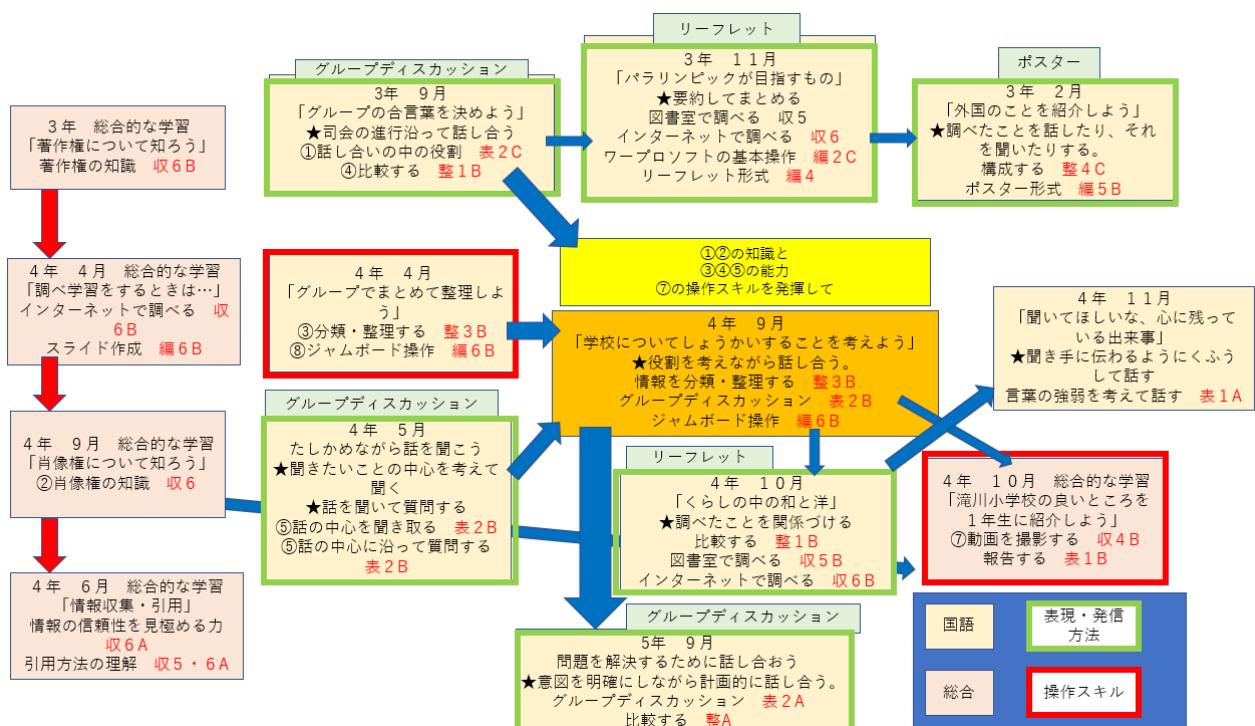
IWB (大型ディスプレイ)

④決まったことを発表	③ほかのテーマのグループと交流。 ・一年生に伝わりやすいか、アドバイスする。	②グループで、二つ選ぶ。 (しようかいしたいところ二つ) それぞれのよいところ二つ	①一人一人でよいところをかく。	話し合いの流れ	聞き方	話し方
				<p>・一年生になつたつもりで聞く。 ・わからないことは質問する。 ・アドバイスする。 「うしらいいと思います。」</p>	<p>「○○グループは、二つのことをしようかいしたいと思います。」 「一つ目は～です。」「えらんだ理由の一つ目は～だからです。」「理由の二つ目は～だからです。」 「二つ目は～です。」「えらんだ理由の二つ目は～だからです。」「理由の二つ目は～だからです。」</p>	<p>「○○グループは、二つのことをしようかいしたいと思います。」 「一つ目は～です。」「えらんだ理由の一つ目は～だからです。」「理由の二つ目は～だからです。」</p>

4年 総合的な学習の時間「住みよい町、滝川」との関連



12. 情報活用活用能力の育成と発揮



第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 大阪市立滝川小学校 藤原彩奈

1. 日時：令和4年11月2日（水） 第5時間目（13：25～14：10）

2. 学年・組 第4学年B組（在籍 23名）

3. 単元名 「住みよい町、滝川（1）～みんなで考えるユニバーサルデザイン～」

4. 単元目標

・それぞれの立場の人の実情や思いを知り、グループによる調査活動を通して、誰にでも優しく住みよい町について自分の考えを持ち、伝えようとしている。【発信力】

・それぞれの立場に立ち疑問に思ったことや、社会に参加するためにどのような取り組みが必要なのか情報を集めている。【調査力】

◎それぞれの立場に立ち、疑問に思ったことや、誰もが安心した生活を送るために必要な改善方法を考え、その根拠となる情報を選び、集めている。【組み合わせる力】

・より良い暮らしを送るためにどんな方法・取り組みができるのか、友達の考えを聞き、自分の考えと比べ、他者に質問し感想を伝えたりして、自分の考えを見直そうとしている。【協働力】

5. 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・誰もが住みよい町の問題を解決するために、自分ができることや、社会がすべきことを考え、相手が納得できるように情報を整理・分類し伝えている。【発信力】	・それぞれの立場から見つけた良いところ・問題点を伝えるために必要な情報をを集めている。【調査力】 ・それぞれの立場に立って気付いた問題や課題を知らせるために、情報を精査し、必要な情報を組み合わせて使っている。【組み合わせる力】	・同じ課題の友だちと情報を共有し、価値あるアイデアを生み出そうとしている。【創造力】 ・課題を解決するために、友達の意見を進んで取り入れようとしている。【協働力】

6. 単元で身に着けたい情報活用スキル

	情報活用スキル	S (名人級)	A(上級)	B (中級)	C (初級)
収集	インターネットで調べる	引用するサイトの信頼性を見極めるとともに、ほかのサイトの情報と比較して判断することができる。	引用するサイトの出所元を意識し、その信頼性を見極めることができる。	キーワードを入れて検索した結果から必要な情報を選択することができます。	ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力することができる。
	図書室・資料室などで調べる	求めている情報に加えて、図書室にどのような書籍・辞典・資料を揃えるべきか提案することができる。	必要な情報を転記・ファイリングすることができる。	図書分類に従って、効率的に資料を探すことができる。	ほしい資料がありそうな場所をさがすことができる。
	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認・管理できる。	撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。	対象との距離、アングル、明るさ等を意識して撮影できる。	安全や故障（落下・水没等）に気をつけて写真を撮ることができる。
	分類・整理する	根拠を明確にし、順序立てて整理することができる。	順序を考えて情報を整理することができます。	情報を内容ごとに分類することができます。	必要な情報を選択することができる。
整理・分析	構成する	伝える相手に応じて、伝えたいことを組み立てることができる。	「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを適した順序で組み立てることができる。	「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを組み立てることができる。	伝えたいことを構成することができる。
	スライド形式	サウンド・映像等を張り付けたりし、スライドを作成できる。	スライドレイアウトを選択し、文字・画像・図形・表・グラフ等を意図した箇所に自由に配置したスライドを作成できる。	スライドレイアウトを選択し、文字・画像・図形等を配置したスライドを作成できる。	文字や画像を張り付けたスライドを作成できる。

編集	プレゼンテーション	視聴者と双方向にコミュニケーションを取りながら発表できる。	視聴者の視線・表情・しぐさ等に反応しながら発表できる。	視聴者の方を見ながら、身ぶり手ぶりを入れたりして、気持ちをこめて伝えることができる。	スライドや原稿に書かれたことを読み上げながら発表することができる。
----	-----------	-------------------------------	-----------------------------	--	-----------------------------------

7. 指導にあたって

本単元は、自分たちが住んでいる滝川の地域を「より良い町」という誰もが快適に利用できるという「ユニバーサルデザイン」の観点から地域の人にやさしい所や改善が必要な所について、それぞれの立場（高齢の方・外国の方・障がいのある方・妊婦の方など）に立って見て考え、地域の一員としての自覚を育むことをねらいとしている。

本学級の児童は、1年生の年度末からコロナ禍のため他者や地域と触れ合う機会が制限され、校外学習で行う調査活動や調べ学習を経験せず、4年生まで進級してきた。したがって、調べたいことを関わりのある人にインタビューして聞き取ったり、見学や探検活動などの体験活動を通して調査を行ったりした経験が少ない。校外で情報収集をする活動としては、4年生で社会見学に行った柴島浄水場が初めての場である。

このような児童の実態をふまえ、4年生では総合的な学習の時間を中心に、自分が調べたテーマの内容についてスライドにまとめ、学級全体で共有する活動を機会あるごとに実施してきた。しかし、考えをまとめる場面では、調べたことを並べるだけで、新しい情報と比較したり、自分の考えに友達の考えを付け加えたりして、まとめることのできる児童はまだ多くはない。自分が知りたい情報について端末を活用して調べる力は身についているが、複数のサイトと見比べ、本当に正しい情報なのか照らし合わせて情報を集める力はまだ身についているとは言えない【調査力】。また、今まで獲得してきた知識と、調べたい課題について集めた情報とが関連していることに気付かず、情報を十分に生かすことができていない児童も少なくない【組み合わせる力】。聞き手を意識し、視覚的・聴覚的にも相手の納得を得ることができるよう、情報を的確に分類・整理し伝える力を身につけていきたい【発信力】。

事前に行った児童実態調査アンケートでは、計画力が低い傾向が見受けられる。得た情報や調べたことを分かりやすくまとめ伝えるためには、どのように活動を進めてより良い内容にしていくのかを考える必要がある。そこで、導入でまず「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」の定義や具体的な取り組みを学級全体で共有したい。また、学級に在籍している外国にルーツがある児童から日本に来た時に困ったことを聞くことで、身近な問題であることを意識させたい。その後、「より良い町」についてどの立場から調べたいのか一人ひとり考えることで、学習への興味関心を持たせたい。そして、フィールドワークを伴った体験活動を取り入れた全活動の見通しをもたせ、学習に取り組むことができるようとする【計画力】。

国語科「学校のよいところをしょうかいしよう」の学習で、「1年生に滝川小学校をもっと知つてもらう」という活動を行った。しかし、グループワークになると自分の考えを発表したいという気持ちから、自分の意見を押し通そうとする児童も見られ、各自の意見をグループで精査し共によりよくしていこうという意識が薄い傾向も見受けられた。【協働力】。

聞き手に分かりやすい発表のためには、他人と自分の意見を比較し、類似点や相違点を見つけ、友達と協力し精査する必要がある。相手を納得させるには明確な根拠が必要であることや、キーワードを絞りブラッシュアップする力をつけたい。【創造力】。

指導にあたって、以下のような手立てで学習を進める。

① 導入

「住みよい町」とは何か児童にそれぞれに考えさせ全体で交流を行った後、大きなテーマは「ユニバーサルデザイン」であることを伝える。自分たちを取り巻く社会には、障がいのある方だけでなく外国の方や高齢者、妊婦の方など様々な人が生活していることに気付かせたい。ユニバーサルデザインにはバリアフリーも含まれることや、滝川の地域を「住みよい町」にするためには「ユニバーサルデザイン」と「バ

リアフリー」の双方が必要不可欠であることを押さえたい。

「住みよい町」を実現させるには「自分たちができるを考える」ことも大切であるという大きな見通しを持つことで、見学・体験を伴った活動ができると考える。

② フィールドワーク

それぞれの立場の方の困りごとをより身近に感じ理解するために、実際に滝川小学校の校内と自分が暮らしている滝川の町を見て回り、調査活動を行う。その際に、実際に見て思ったことや感じたことだけでなく、発見した良い所や改善が必要な所を写真に撮り、根拠のある資料として活用する。充実した活動にするために、事前にそれぞれの立場のグループに分かれ、日常生活場面における困りごとは何かを想起する。事前に疑問点や問題点を考えることで、フィールドワークを行う際「どこが良い所なのか」「どこに改善が必要なのか」といった視点がより明確となり、細かな情報収集ができると考えられる。また視点を明確にすることによって、それが課題に沿って集めた情報や考えが、聞き手に納得を得られる的確な情報に繋がると考える。

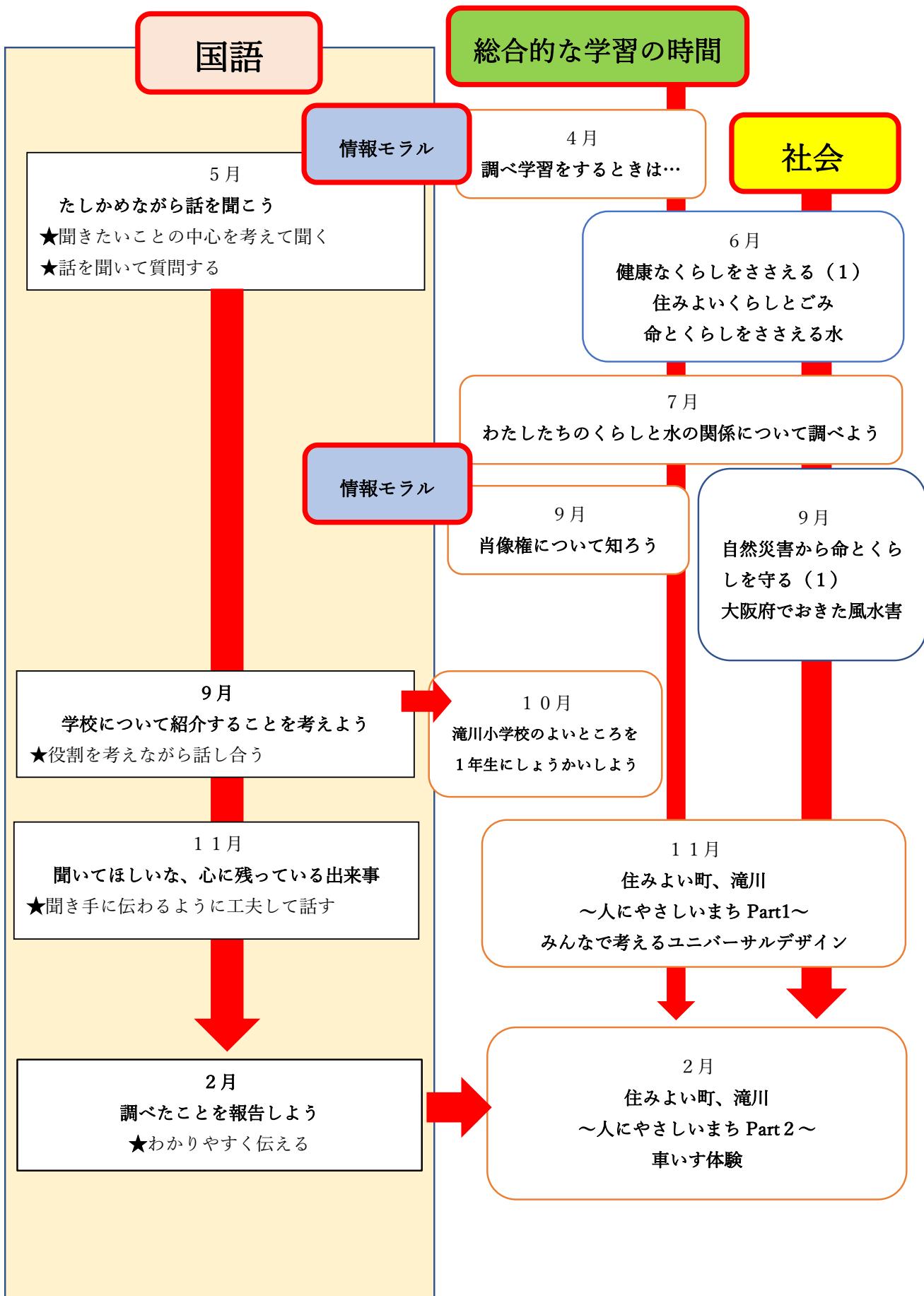
③ 一人一台端末の活用

一人一台端末を使って、根拠となる資料を収集したり、考えを整理したりする活動を取り入れる。必要となる情報を選び、イラストや写真を用いて、相手に伝わりやすくスライドにまとめる活動も取り入れる。常に相手意識を持たせながら、自分の考えや友だちの考えを交流し合って活動を進めることで、自分の考えを発信する資料として、何が適切なのかについてより明確になると考える。

④国語科・社会科と連携したカリキュラム

9月国語科「学校についてしようかいすることを考えよう」で獲得した「役割分担を行い、話し合う力」を発揮できるようにする。また、総合的な学習の時間「滝川小学校のよいところを1年生にしようかいしよう」で身に付けた情報活用スキルを生かして、友達と考えを共有しながらプレゼンテーション作成を進めていく。プレゼンテーション作成にあたっては、社会科で学習した「住みよいくらしとごみ」「命とくらしを支える水」「大阪府でおきた風水害」との関連を意識し、問題が改善され、今の生活に至っていることを想起させながら学習を進めていくことで、発表する内容が身近にあることに気付くようにしたい。

4年 総合的な学習の時間「住みよい町、滝川」との関連



※単元の流れ

第一次「つかむ」段階では、住みやすい町に対するイメージを想起したり、バリアフリー・ユニバーサルデザインの意味について提示し、学習の大きな見通しを持たせたい。その後、それぞれの立場に立って調べる活動を通して「住みよい町、滝川」について、調べてみたい課題を児童が設定できるようにする。

住みよい町や調べてみたい課題について考えるツールとしてウェビングマップを活用し、思考を広げる学習を行う。自分たちの住む町を場面設定することで、自分たちが地域の一員として社会に参加していることを捉え、自分たちにできることは何かを考え、地域をより理解することに繋がると思われる。

また、調べ・経験した内容をスライドにまとめ、校長先生（校内）と地域の人（校外）にプレゼンテーションすることを伝え、目的意識や見通しをもち、活動に意欲的に取り組むことができるようにならう。そして、毎時間スクールライフノートに振り返りを行い、友だちとの関わりを通して自分自身の気付きの変化をとらえ、主体的な学習になるよう進めていきたい。

第二次「さぐる」段階では児童の興味・関心を基にグループ編成を行い、それぞれの立場（外国の方、障がいのある方、高齢者、妊婦の方など）に立ち役割分担をして情報収集にあたる。

フィールドワークを行う前に体験的な情報収集を行う。それぞれの立場を体験し感じた不安や気付きをグループや学級で共有し、次の活動へつなげたい。また図書資料や一人一台端末などを用いた問題解決方法で、問題や課題を知るために信頼性のある情報であるか判断する力を身につけさせたい。

フィールドワークでは、実際の自分たちの通う滝川小学校と住む滝川の町を歩いて回り、どこにどのような人にやさしい所や改善が必要な所があるのか情報を収集することができるようになる。そして、集めた情報を整理・分析しながら友達と話し合いを行い、根拠を明確にして校長先生に提案する場を設けるようになる。

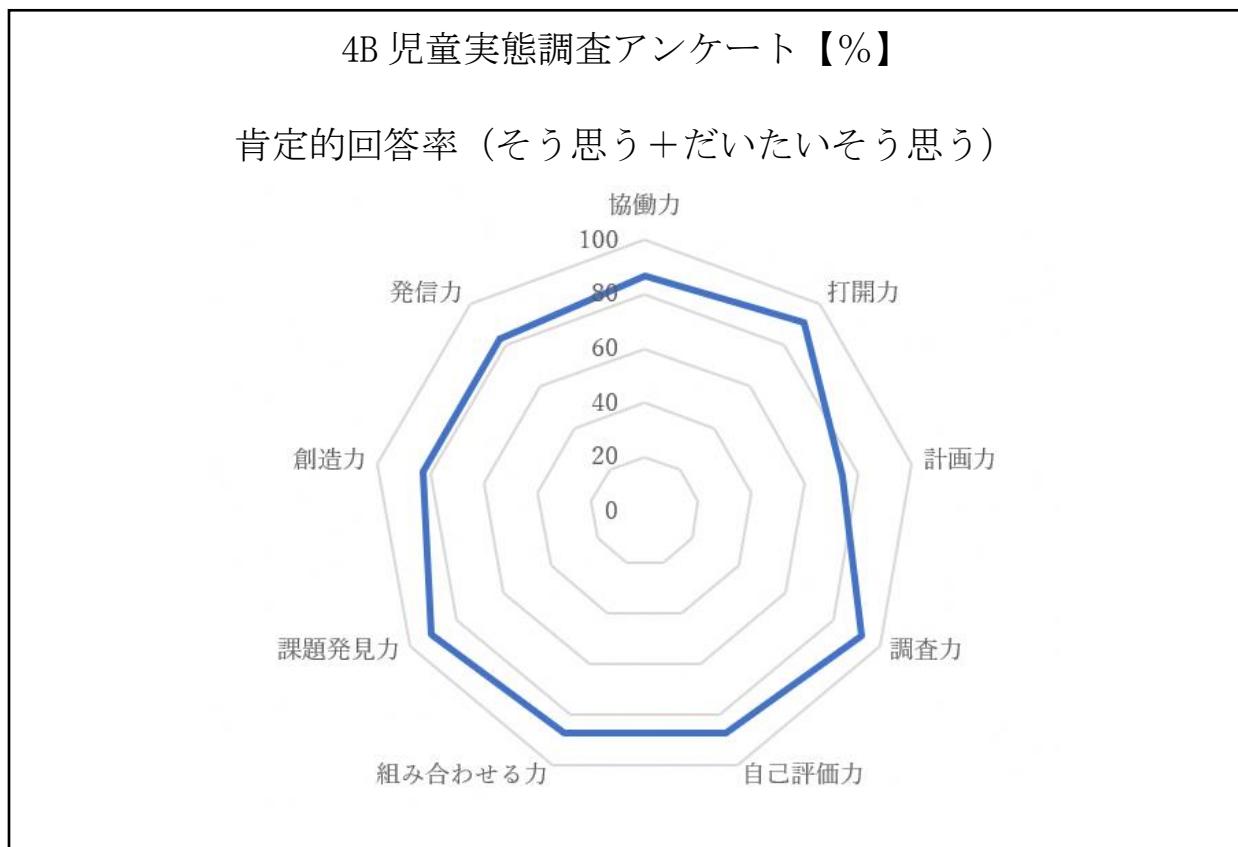
第三次「深める」段階では、フィールドワークから得た情報や感想を共有することの必要性についても考えることができるよう、グループ活動を取り入れる。そして、滝川小学校内にある「人にやさしい所」と「改善が必要な所」についてのスライドを作成し、それを提示しながら校長先生に提案する。スライドを作成する際には、これまでに学習してきた肖像権についても想起させたい。

また、発表内容については、聞き手に分かりやすく伝えることを意識して考えるようになる。その上で発表練習をグループで行ったり、アドバイスし合ったりして、ブラッシュアップし、自分の考えを表現・発信する力を身に付けさせたい。

「住みやすい町、滝川」の良さや問題を伝えるために、これまでの活動を生かして地域の人にプレゼンテーション交流を行うという課題を設定する。発表内容を精選するにあたっては、これまでに友達からもらったアドバイスを取り入れながら発表することを確かめたい。その後、グループで役割を分担し、内容、資料の活用方法、見せ方・話し方などを工夫しながら活動を進めていく。友達同士の関わりが増えることで多様な意見にふれ、より精選された内容のスライドになると想われる。またプレゼンテーションでは、ただ原稿を読み上げるだけのものにならないよう、相手を見ながら反応を見て間をとったり、言葉を補ったりするなど自分なりの発表の工夫を入れるよう伝え、表現・発信する力を身に付けさせたい。それぞれのグループの発表後には、協働的な活動で分かったこと、全グループの発表を聞いて気付いたことや、改めて考えたことについて振り返らせ、次時への見通しと追及課題をもつことができるようにならう。

第四次「活かす」段階では、学習への有用感をもたせ、これまでに学習したことを基に、自分たちが住む滝川の地域の良さや課題、今後の自分たちの生き方や地域との関わり方、自分たちにできることについてさらに思考を広げ、意識を高めたい。

8. 児童の意識調査



1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまり思わない 4：思わない (%)

つけたい力	質問	1	2	3	4
自分から動く力	友だちと協力して学習している。	39	48	9	4
	問題にあきらめずに最後までとり組んでいる。	52	39	9	4
	次のことを見通して学習に取り組んでいる。	26	48	22	9
学習したことを上手く使う力	調べたいことを色々な方法で調べようとしている。	35	57	13	0
	学習したことで自分ができたこと、できなかったことが分かっている。	52	35	13	0
	学習したことを自分の生活や次の学習にいかそうとしている。	39	48	9	9
最後まで考え続ける力	学習の中で、「ふしぎだな」「なぜ」を見つけようとしている。	48	43	9	9
	理由をはっきりさせて自分の考えを持っている。	48	35	13	4
	相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。	35	48	17	0

9. 学習計画（全 11 時間）

単元名	時	主な学習活動 ▼指導上の留意点・支援	評価規準	ICT 活用・準備物 情報活用スキル
第一次「住みよい町」つて？（つかむ）	1	<p>自分たちが住んでいる滝川の地域を中心いて良いところや、困ったことを共有し、「誰もが住みよい町」について考え学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが住みよい町」について自分の持つイメージをウェビングマップを活用して交流する。 ・バリアフリーとユニバーサルデザインとの意味や違いについて確認する。 ・全ての人にとって住みやすい町を実現するにはどうすればいいのか、知っていることや、関心を持ったことについて気づいたことを友達と交流する。 <p>▼調べてまとめたことを校長先生や地域の人にプレゼンテーションすることを知らせる。</p>	<p>【調査力】 ・「誰もが住みよい町」をさまざまな側面から想起し、関心をもつことができる。</p> <p>【協働力・発信力】 ・得た情報を整理・分類して友達と伝え合うことができる。</p> <p>【問題発見力】 ・滝川小学校や地域の良い所や問題に関心を持ち、次の課題を見つけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・Microsoft PowerPoint（自作教材） ・ワークシート ・Google フォーム ・スクールライフノート

第二次 それぞれの立場に立って（きぐる）	2	<p>それぞれの立場から生活上の問題点について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたい内容からグループになり、体験学習を行う。体験を通して疑問に思ったことや不安に思ったことを友達と交流する。 <p>▼交流したことを生かし、さらに疑問を深める。</p>	<p>【調査力・協働力】</p> <p>・友達と役割分担をして、自分に合った調べ方でそれぞれの立場からユニバーサルデザインについての情報を的確に収集することができている。</p> <p>【計画力】</p> <p>それぞれの立場から課題を解決するためにどのような手順で調べるか考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・Microsoft PowerPoint（自作教材） ・スクールライフノート <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末（カメラ） ・ワークシート ・Google フォーム ・スクールライフノート
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内でフィールドワークを行い、人にやさしい所と、改善が必要な所を見つけるにができるようとする。 <p>▼実体験では得られなかつた考え方や情報を集めるようとする。</p> <p>▼それぞれの立場に立って、人にやさしい所や改善が必要な所を考えることができるようとする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末（カメラ） ・ワークシート ・Google フォーム ・スクールライフノート
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を jam ボードで友達と共有し、整理分析する。 ・校長先生に提案したい滝川小学校の人にやさしい所や改善が必要な所をグループ整理する。 	<p>【発信力】</p> <p>それぞれの立場の人にやさしい学校か、気づいたことを自分なりに表現して話し合うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末（カメラ） ・ワークシート ・Google フォーム ・スクールライフノート

第三次 伝えよう 「すべての人に住みよい町、滝川」 ために私たちにできること（深める）	<p>・それぞれの立場から、フィールドワークや資料等を用いて自分たちにできることや社会がるべきことについて考え、プレゼンテーションにまとめる。</p> <p>・根拠となる事柄を整理しながら、グループ内で話し合いを行いスライドにまとめる。</p> <p>▼校内のフィールドワークで得た情報を活用し、まとめことができるようにする。</p> <p>・新たに気付いたことや考えたことを交流し、さらに調べるようにする。</p> <p>・発表の練習をし、原稿やスライドを改稿しブラッシュアップする。</p> <p>▼相手に伝わりやすく、根拠が明確になっているか確認するよう助言する。</p> <p>・校長先生に校内においての人にやさしい所と改善が必要な所のプレゼンテーションを行う。</p> <p>それぞれの立場から、滝川地域のフィールドワークを行い、人にやさしい所と、改善が必要な所を見つけ、資料等を用いて自分たちにできることや社会がるべきことについて考え、プレゼンテーションにまとめる。</p> <p>・地域の方にやさしい所と改善が必要な所のプレゼンテーションを行う。</p> <p>▼地域のフィールドワークで得た情報を活用し、まとめていくことができるようする。</p> <p>▼文字だけになっていないか、写真やイラストの必要性など、資料の選定を工夫し、まとめるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IWB • Microsoft PowerPoint (自作教材) <p>【発信力】 それぞれの立ち場の人にとってやさしい学校であるか、気づいたことを自分なりに表現して話し合うことができる。</p> <p>【組み合わせる力】 個に応じたスキルを発揮し、原稿やスライドをまとめなければならないことができる。</p> <p>【協働力】 グループで役割分担をし、原稿やスライドをまとめ取り組むことのよさに気づいている。</p> <p>【発信力】 資料を駆使し、相手を納得させるように伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft PowerPoint • Google フォーム • スクールライフノート

第四次 学んだことを伝え合おう (生かす)	<p>今までの学習を通して気付いたことを振り返り、これから自分の生活に活かそうとする。</p> <p>12 ・ 13</p>	<p>【組み合わせる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を通してわかったことをこれから自分の生活に生かしていくことができる。 <p>【発信力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの活動を振り返り、単元を通して気付いたことを自分自身と関連付けて考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> Google フォーム スクールライフノート
-----------------------------	--	--	---

10. 本時の学習（4/13）

(1) 本時の目標

それぞれの立場の人にやさしい滝川小学校にするための考えを友達と話し合い、校長先生に提案する内容を考えることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準等
1. 本時の学習課題を確認する。	・前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元学習の中での位置づけを提示する。	・IWB ・PowerPoint（自作教材）
それぞれの立場の人にやさしい滝川小学校にするための考えを出し合い 校長先生に提案する内容を考えよう。		
・目指すスキルを考える。	・本時の情報活用スキルチェックを提示する。	
2. 各グループで自分たちの見つけたことを確認し合う。 ①それぞれが見つけた滝川小学校の人にやさしい所・改善が必要な所の写真を jam ボードに貼り付ける。 ②グループで情報を整理し、共通している部分、異なる部分を確認し精選する。 ③グループで校長先生に提案したいことを整理する。	・jam ボードに発表したいことをまとめ、共有できるようにする。 ・役割分担を意識しながら話し合えるようにする。 ・情報を整理するときには内容がより具体的になるように写真を活用しながら活動できるようにする。	・jam ボード ※情報整理・分析（比較する）
3. グループごとに校長先生に提案したいことを交流する。	・話型を活用し、根拠となる理由を添えて分かりやすく発表できるようにする。 ・それぞれの立場から校長先生に提案したいことを聞き、共通している部分、異なる部分を見つけ、考えを深めるようにする。	【主】 ・よりよい発表になるように試行錯誤し粘り強く考察している。
4. 本時の学習を振り返り、次時の活動を確認する。 ・スキルチェックを行う。 ・スクールライフノートに本時の振り返りを入力する。	・スキルチェックを提示する。 ・違うグループの提案を聞き、思ったことや気付いたことについて交流する場を設ける。	・Google フォーム ・スクールライフノート

板書計画

11/2 誰もが住みよい町、滝川 ~みんなで考える ユニバーサルデザイン~

- (め) それぞれの立場の人にやさしい滝川小学校にするための考えを出し合い、校長先生に提案することを考えよう。

ユニバーサルデザイン

人に
やさしい所

外国の方

妊婦の方や
子ども連れの方

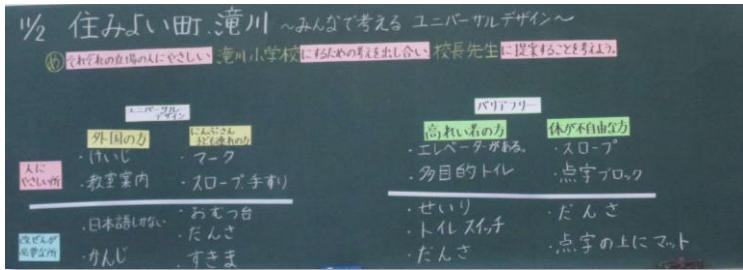
バリアフリー

高齢の方

体が不自由な方

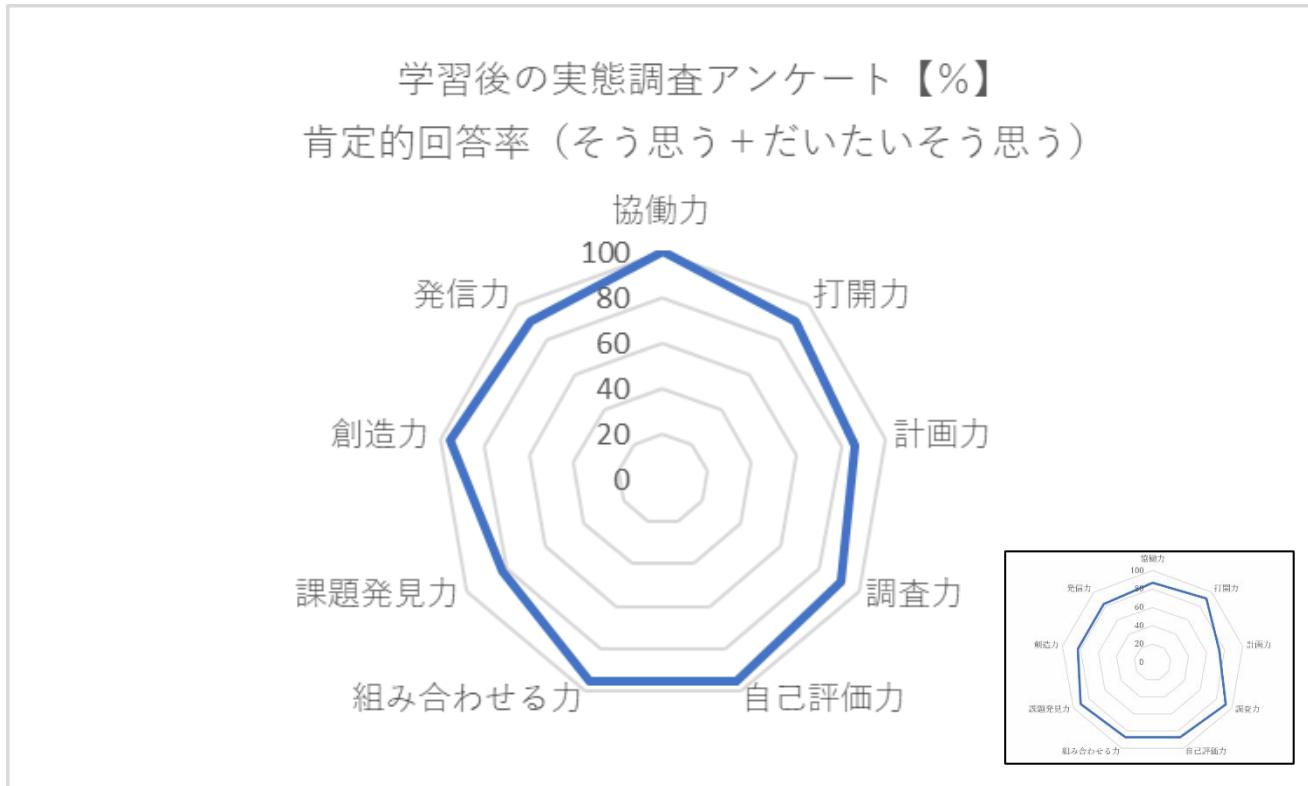
改ぜんが
必要な所

11. 授業を終えて



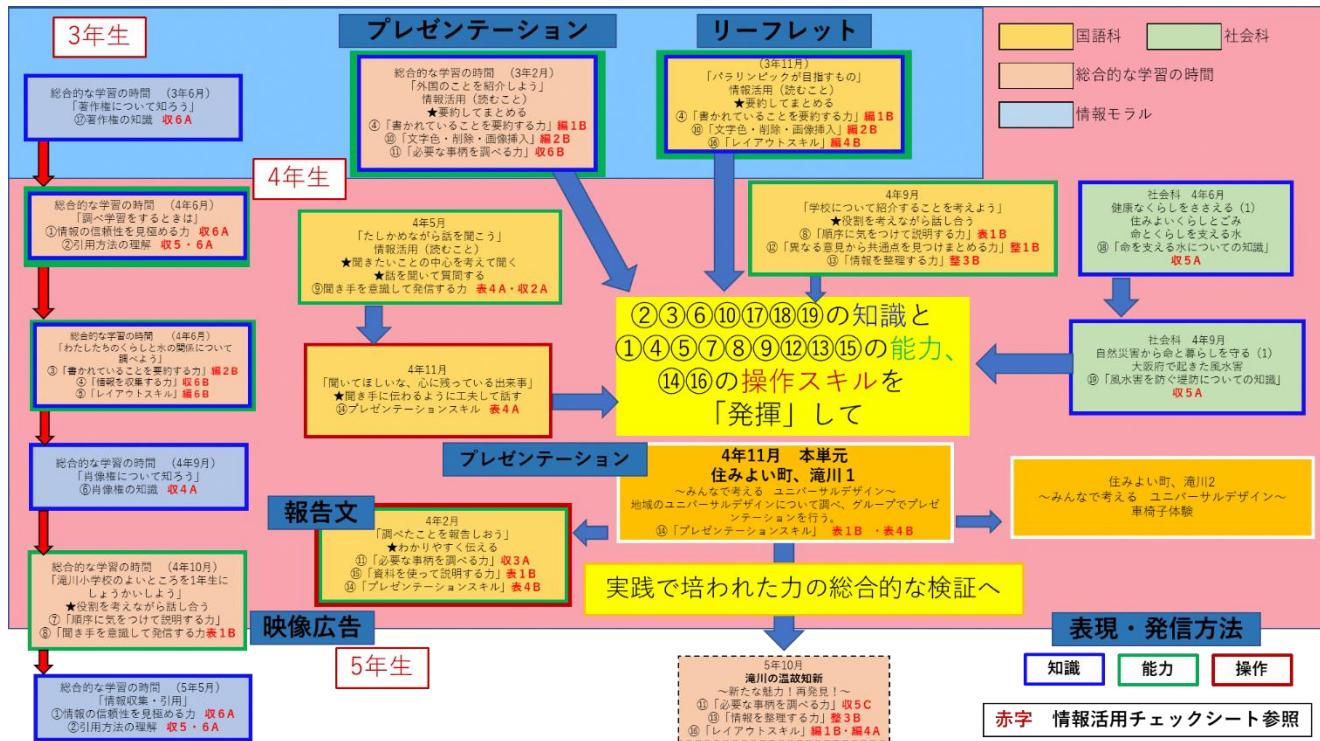
※授業後の児童の意識調査

つけたい力	質問	1	2	3	4	(%)
自分から動く力	友達と協力して学習している。	59	41	0	0	
	問題にあきらめずに最後まで取り組んでいる。	64	27	9	0	
	次のことを見通して学習に取り組んでいる。	32	55	9	5	
学習したことを上手く使う力	調べたいことを色々な方法で調べようとしている。	45	45	5	0	
	学習したことで自分ができたこと、できなかったことが分かっている。	45	50	0	0	
	学習したことを自分の生活や次の学習にいかそうとしている。	45	50	0	0	
最後まで考え続ける力	学習の中で、「ふしぎだな」「なぜ」を見つけようとしている。	36	45	14	0	
	理由をはっきりさせて自分の考えを持っている。	50	45	9	0	
	相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。	41	50	9	0	



12. 情報活用能力の育成と発揮

これまでに育成されてきた本単元で必要な情報活用能力は、以下のものである。



第5学年 総合的な学習の時間 指導案

指導者 橋本 純子

1. 日 時 令和4年11月30日（水）第5時間目（13：25～14：10）

2. 学年・組 第5学年A組（在籍 31名）

3. 単元名 滝川の温故知新！～新たな魅力！再発見！～

4. 単元目標

- ・自分達の学校や住んでいる地域の移り変わりや継承していることについて、調べたり聞いたりすることを通して、学校や地域に誇りを持ち、魅力を伝えようとしている。【発信力】
- ・学校や地域の魅力を伝えるために、昔の様子について必要な情報を集めている。【調査力】
- ・昔の学校や地域の様子について調べたことと、昔の様子について詳しい人に聞いたことを組み合わせて必要な情報をを集め、選んでいる。【組み合わせる力】

◎学校や地域の魅力が最も伝わるように、友達の意見を聞き、自分の考えと比べ、他者に質問したり感想を伝えたりして、自分の考え方を見直そうとしている。【協働力】

5. 本单元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。・自分達の学校や住んでいる地域の昔の様子を知ることから、学校や地域の魅力を再発見して、相手が納得できるように情報を的確に使って伝えている。【発信力】	<ul style="list-style-type: none">・学校や地域の魅力を伝えるために、昔の様子について必要な情報を集めている。【調査力】・学校や地域の昔の様子について自分で調べたことと、昔の様子について詳しい人に聞いた情報を組み合わせて使っている。【組み合わせる力】	<ul style="list-style-type: none">・自分達の学校や地域のことを調べ、そこから今の滝川の魅力を再発見するという学習の見通しをもつことができる。【計画力】・同じ課題の友達と情報を共有し、価値あるアイデアを生み出そうとしている。【創造力】・課題を解決するために、友達や他者（外部の専門家等）の意見を進んで取り入れようとしている。【協働力】・学校や地域の良いところに関心をもち、次の課題を見つけようとしている。【問題発見力】

6. 単元で身に付けたい情報活用スキル

	情報活用スキル	S (名人級)	A (上級)	B (中級)	C (初級)
収集	インタビュー	礼節をわきまえ、アポイントやお礼を述べることができる。	回答した内容を理解して、更に質問を展開できる。	相手の返答を聞いてメモができる。	聞きたいことを相手に問い合わせることができる。
	メモをとる	相手の言葉を取捨選択し、要約して記述できる。主要なキーワードを列挙できる。	相手の言葉や掲示物等から必要な情報を抜き出して記述できる。	相手の言葉をそのまま書き取ったり、掲示物等をそのまま写したりすることができる。	日時・場所・相手等の基本的な情報を記述できる。
	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認・管理できる。	撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。	対象物との距離、アングル、明るさ等を意識して撮影できる。	安全や故障（落下・水没等）に気を付けて、写真を撮ることができる。
	インターネットで調べる	引用するサイトの信頼性を見極めると共に、他のサイトの情報と比較して判断することができる。	引用するサイトの出所先を意識し、その信頼性を見極めることができる。	キーワードを入れて検索結果から必要な情報を選択することができる。	ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力できる。
整理・分析	分類・整理する	集めた情報の根拠を明確にし、順序立てて整理することができる。	順序を考えて情報を探し整理することができます。	情報を内容ごとに仲間分けして分類することができる。	必要な情報を選択することができる。
	構成する	一番伝えたいことを、相手意識をもち思考ツールで根拠を表し選ぶことができる。	一番伝えたいことを、相手意識をもち根拠をもとに選ぶことができる。	一番伝えたいことを、根拠をもとにして選ぶことができる。	一番伝えたいことを、選ぶことができる。

	ワープロソフト 基本操作	必要に応じて、縦書き・横書き、テンプレートなどを選んで活用できる。	中央揃え、右寄せ、タブなどを用いて文書を整頓して作成できる。	文字の大きさ・文字種・色の変更・ルビ、改行、削除・挿入等ができる。	文章を入力していくことができる。
編集	新聞形式 (リーフレット等含む)	主張が読み手に伝わるよう、定められた分量で記事の優先順位や割り付け、見出しを付けることができる。	定められた分量で割り付け、見出しを付けることができる。	活動を振り返り、主張点を明確にすることができる。	活動を振り返り、自らの考えを文章化することができる。
表現・発信	グループディスカッション	グループの同意形成を図りながら、結論を見出すことができる。	自分や他者の意見を取り入れながら、結論へつなげることができる。	他者の意見に対応して、自分の意見を言うことができる。	課題(テーマ)に沿って自分の意見を言うことができる。
	ポスターセッション	視聴者と双方向にコミュニケーションをとりながら発表できる。	視聴者の視線・表情・しぐさ等に反応しながら発表できる。	身ぶり手ぶりを入れたりして、気持ちをこめて伝えることができる。	ポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。

7. 指導にあたって

本単元は、自分たちの学校や住んでいる地域の移り変わりや今も継承していることについて、調べたり聞いたりすることを通して、学校や地域に誇りを持ち、地域の一員としての自覚を育むことをねらいとしている。

本学級の児童は、2年生の町たんけんの学習で、興味・関心のある地域の様々な場所の人・もの・ことについて見学したり、インタビューをしたり、体験したりして探検することを通して、地域にある様々な魅力的なものやこと、それを支える人の営みや思いに気付き、親しみや愛着をもつことができた。しかし、3年生4年生では、コロナ禍の影響により、他者や地域との繋がりが制限され、地域の人と関わる活動や施設への社会見学などを経験せず、5年生まで進級してきた。5年生になり、林間学習の行先である天川村について調べ学習を行い、高い土地で育つ食べ物や、昔から受け継がれている文化などを友達に発表し、自分達が暮らす土地との違いを知ることができた。しかし、図書館資料やインターネットで調べたことをスライドにまとめて発表する活動は行ってきたが、インタビューや取材活動による情報収集の方法が、まだ身に付いていない児童もいる【調査力】。そこで、自分たちで調べたことと、昔の様子について詳しい人にインタビューした情報を組み合わせて使えるようにしていきたい【組み合わせる力】。また、説得の工夫を用いて、昔の小学校や地域の様子を相手が納得できるように、情報や写真を的確に使う

ようにしていきたい【発信力】。

国語科の学習「問題を解決するために話し合おう」では、意図を明確にしながら計画的に話し合い、考え方を広げたりまとめたりする学習を行った。これらの学習において、よりよい考えを見出すために、友達と意見を出し合い、考えを広げる力は身に付いてきている。友達の意見を取り入れたり、それぞれのよいところを組み合わせたりして、課題を解決する力を身に付けるようにしたい【協働力】。また、価値あるアイデアを生み出すために、自分の考えと友達の考えを比較し、共通点や相違点を見出すようにしたい【創造力】。

事前に行った児童実態調査アンケートでは、組み合わせる力と計画力が低い。次のことを見通して学習に取り組んだり、学習したことを自分の生活や次の学習に生かそうとしたりする力を高めるため、導入時には単元を通じた見通しをしっかりと持てるようにし、毎時間の単元の位置づけや次時の学習への繋がりが理解できるようにしたい。

指導にあたって、以下のような手立てで学習を進める。

① 導入

今年度、滝川小学校が創立150周年を迎えることを機に、昔の滝川小学校や地域のことを調べ、地域に住んでいる人たちに新聞記事で伝えるという学習計画を立てる。初めに、自分たちが滝川小学校や地域で自慢に思っている人・もの・ことについて交流するようとする。また、20年前の創立130周年の記念事業の一環で作成された冊子『わたしたちの滝川』を読み、20年前の滝川小学校や滝川地域について知ることで、今とは全く違うものや、今も変わっていないものがあることを知ることにより、自分達が自慢に思っている人・もの・ことが、昔はどんな様子だったのか、興味をもつようとする。

昔の様子についてインターネットで調べ、詳しい人にインタビューすることにより、今の滝川小学校や地域の魅力を再発見したことを新聞記事を書き、その内容を保護者にポスターーションをするという大きな見通しを持って、意欲的に活動に取り組めるようとする。

② 外部講師との連携

新聞記事を書くにあたり、北区役所と連携し、産経新聞の元記者H氏を講師として招く。そして、主に下記のような場面において、外部講師として協力していただく。

- ・読み手に興味をもって読んでもらえる新聞記事の書き方
- ・記事になる内容を聞き出す取材の仕方
- ・写真の選び方
- ・文章の校正
- ・紙面への割付け

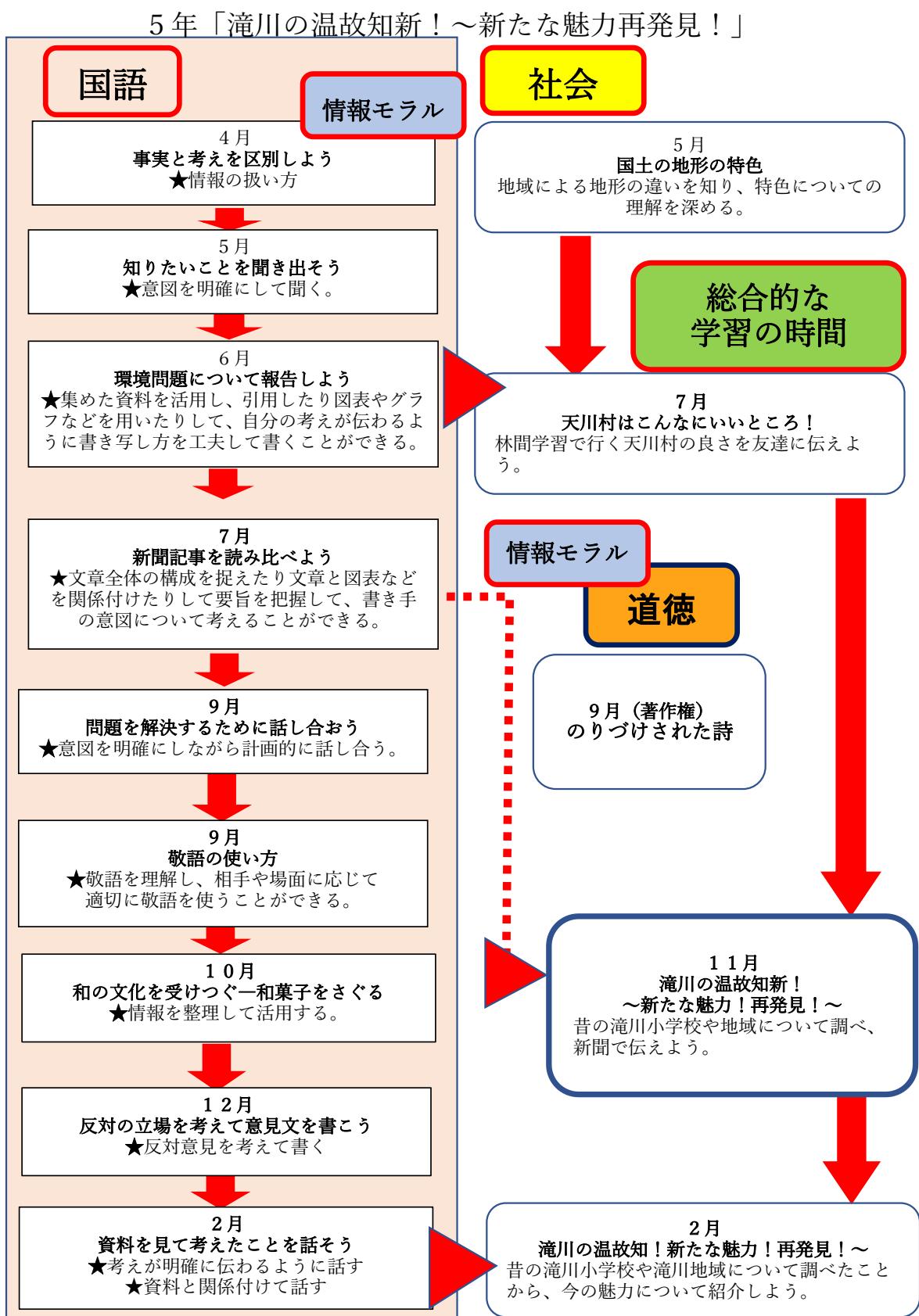
③ 一人一台端末の活用

一人一台端末を使って、根拠となる資料の扱い方や意見を整理する学習をたびたび取り入れる。インターネットを活用して必要な情報を収集したり、友達と考えを共有して整理・分析したり、記事となる文章の編集にも活用する。また、情報活用スキルチェックを活用し、自分が目指すICTスキル活用を明確にし、情報活用能力を高めていきたい。

④ 国語科と連携したカリキュラム

新聞記事を書く活動においては、「新聞記事を読み比べよう」で身に付けた「記事の書き手の意図を読む力」を発揮できると考える。同じ出来事を取り上げた新聞記事でも、書き手の意図によって記事の内容や書き方が変わってくることや、写真などの資料の選び方、見出しの書き方の重要性についても学習した。また、取材のときに必要な「話す・聞く」のスキルについては、「知りたいことを聞き出そう」や「問題を解決するために話し合おう」で身に付けた「意図を明確にして聞く力」や「意図を明確にしながら計画的に話し合う力」を発揮し、相手の話と自分が知りたいことを関連付けて質問することで、効果的な取材ができると考える。

※他教科との関連



※単元の流れ

第一次「つかむ」の段階で、本単元の学習の見通しを持てるようとする。今年度滝川小学校が創立150周年を迎えることを機に、昔の滝川小学校や地域について調べたことを校区に住む人達へ新聞で伝えるという学習課題をつかむ。まず初めに、Jamboardを利用して、滝川地域の中で自分が一番自慢に思っている「人・もの・こと」は何かをクラスで共有する。また、滝川小学校創立130周年時に刊行された記念誌を読んで、普段児童が遊んでいる滝川公園や小学校の建物・行事の中で、20年たった今も変わっていないもの、20年たった今では全く面影のないものについて、友達と話し合うことで、自分達が自慢に思っている「人・もの・こと」の昔の様子についても興味を持てるようとする。

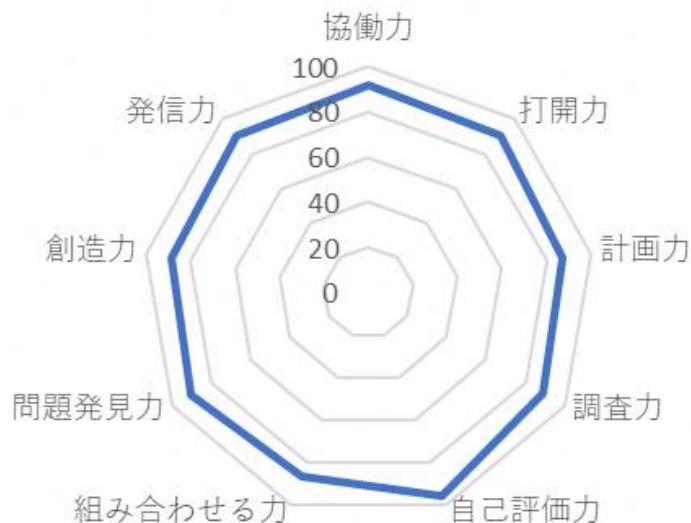
第二次「さぐる」段階では、昔の滝川小学校や地域について調べたいテーマを設定し、調べ学習や取材を通して記事の材料を集め。まず、出前授業で外部講師を招き、記事の書き方や取材の仕方を知る機会をつくる。次に、調べたい内容別に分かれたグループで記事のテーマを決め、クラスで共有する。情報収集の際には、インターネットを活用したり、地域の人へ取材したりする。取材では、事前に質問を考え外部講師や友達と内容を交流することで、インターネットやガイドブックでは知ることができないことや地域の方の校区に対する思いも聞くことができるようとする。そして、集まった記事の材料を分類整理し、伝える相手を常に意識して、一番伝えたいことから適した順序で組み立てるようとする。

第三次「深める」段階では、昔の滝川小学校や地域について分類整理した記事の材料をもとに、滝川の昔の様子が伝わるように「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「なぜ」「どのように」の6つの要素を押さえて新聞記事を書く。調べてわかったことや取材で聞き取った事実と、自分たちが考えたことをしっかりと区別し、考えを書くときには、一番大事なことから書き、事実に基づいて書くことで、説得力の高い文書になるようとする。その後、グループ間で意見を出し合って記事を何度もブラッシュアップすることにより、記事の意図にあった写真を選択したり、読み手の関心をひくような見出しを考えたりするなど、協働的な活動になるようとする。

第四次「生かす」段階では、完成した新聞を読み合うことで、自分達が通う滝川小学校や地域の魅力に改めて気付き、今後の自分の生き方や地域との関わり方について考えるようとする。3学期には、自分たちの保護者に対して、今の滝川小学校や地域の魅力についてのポスターセッションを行うことを伝え、地域の一員としての自覚を高め、地域のためにできることを考えていこうとする態度を育んでいきたいと考える。

8. 児童の意識調査

児童実態調査アンケート【%】 肯定的回答率（そう思う + だいたいそう思う）



1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまり思わない 4：思わない (%)

つけたい力	質問	1	2	3	4
自分から動く力	友達と協力して学習している。	70	22	6	2
	問題にあきらめずに最後まで取り組んでいる。	59	32	9	0
	次のことを見通して学習に取り組んでいる。	41	46	11	2
学習したことを上手く使う力	調べたいことを色々な方法で調べようとしている。	53	36	9	2
	学習したことで自分ができたこと、できなかつたことが分かっている。	58	38	4	0
	学習したことを自分の生活や次の学習にいかそうとしている。	41	46	7	6
最後まで考え続ける力	学習の中で、「ふしぎだな」「なぜ」を見つけようとしている。	54	37	7	2
	理由をはっきりさせて自分の考えをもっている。	53	36	9	2
	相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。	61	30	5	4

9. 学習計画（全 21 時間）

単元名	時	◇主な学習活動 ◆指導上の留意点・支援	評価規準	ICT 活用 <u>※情報活用スキル</u>
第一次 私の好きな滝川！（つかむ）	1	◇滝川小学校が創立 150 周年を迎えることを機に、昔の滝川小学校や滝川地域について調べたことを、滝川地域の人へ新聞で伝えるという学習課題をつかむ。 ◇滝川小学校創立 130 周年記念誌『わたしたちの滝川』やインターネットを活用しながら、今自分が一番好きな場所や行事などについて挙げていく。	【計画力】 昔の滝川小学校や地域のことを調べて新聞を作り、そこから今の滝川の魅力を再発見するという学習の見通しをもつことができる。 【問題発見力】 滝川小学校や地域の良いところに关心を持ち、次の課題を見つけようとしている。	• PowerPoint • IWB • Jamboard • Google フォーム • スクールライフノート
	2	◇クラスで交流し、みんなが好きなところを大きくグループ化する。 • 学校の施設 • 学校行事 • 授業、学校生活 • 地域の商店、会社 • 地域にある史跡 • 造幣局 • 公園 • 卒業した有名人 など ◆好きな場所や行事等の昔の様子について、調べ学習やインタビューを通して知り、新聞記事を書くことやその内容について保護者にポスターーションすることを伝える。		※情報整理・分析 (情報の分類・整理)

第二次 昔の滝川にタイムスリップ! (さぐる)	<p>新聞記事で校区の人に伝えた いテーマを決め、調べ学習 や、詳しい人にインタビュー をして記事の材料を集める。</p> <p>3 ◇外部講師出前授業① 産経新聞元記者H氏を招き、新聞の役割や新聞記事の書き方について知る。 ◆大切なことはメモをとりながら話を聞くようする。</p> <p>4 ◇調べたい内容からカテゴリーごとにグループになり、第一次で記入した Jamboard を見て、更に具体的なテーマを考える。</p> <p>5 ◇テーマを決めた根拠を全体で交流する。</p> <p>6 ◇調べ学習の内容の項目や、取材の質問内容を考える。 ◆校区の人に伝えるという相手意識をしっかりと持って内容を考えることができるようする。</p> <p>7 ◇外部講師出前授業② 産経新聞元記者H氏を招き、他のグループとインタビューの質問内容や調べ学習の内容について交流する。 ◆お互いのグループの内容をより良くするために意見を出し合うことができるようする。</p>	<p>【調査力】 新聞の役割を知り、記事を書くための情報収集の方法を知ろうとしている。</p> <p>【協働力・創造力】 同じ課題を持つ友達と情報を共有し、価値あるアイデアを生み出そうとしている。</p> <p>【発信力】 相手に伝わるように工夫して話している。</p> <p>【協働力】 課題を解決するために、友達や他者の意見を進んで取り入れようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint IWB Google フォーム スクールライフノート

	<p>◆外部講師の意見も取り入れるようとする。</p> <p>◆調べていく中で新しく出てきたことを更に調べるようにする。</p>		
9 10 11	<p>◇記事に書く内容ができるだけ詳しく具体的にするために取材に行ったり、調べ学習をしたりする。</p> <p>◆取材した内容を受けとめ、更に質問を展開できるようにする。</p>	<p>【調査力】 昔の様子について必要な情報をを集めている。</p>	※情報収集 (インタビュー) (メモをとる) (写真を撮る) (インターネットで調べる) ※情報編集 (ワープロ基本操作)
12 13 本時	<p>◇テーマ別グループで集めた材料をもとに、一番伝えたいことを決め、記事の構成を考える。</p> <p>◇PowerPoint やスクールライフノートを活用し、一番伝えたいことと、その根拠について話し合う。</p>	<p>【組み合わせる力】 自分たちで調べたことと詳しい人に聞いた情報を組み合わせて使っている。</p> <p>【協働力・創造力】 友達と情報を共有し、価値あるアイデアを生み出そうとしている。また、友達の意見を進んで取り入れようとしている。</p>	※情報整理・分析 (分類・整理する)

第三次 伝えよう！歴史ある滝川（深める）	昔の滝川小学校・滝川地域について調べたことをもとに、滝川の昔の様子が伝わる新聞記事を書く。 ◇インタビューや調べ学習で分かったことをグループで記事にする。 ◆一番伝えたい大事なことから書くようにする。 ◇見出しを考え、写真を選ぶ。 ◆読み手の興味をひくような見出しになるようにする。 ◆意図がより伝わるような並写真を選ぶようにする。 ◇グループ同士で読みあって意見を出し、魅力がもっと伝わるようにプラッシュアップする。	<p>【発信力】 一番伝えたいことが読み手に伝わるように、意図をもって書いたり、写真を選んだり、見出しを考えたりすることができる。</p> <p>【協働力】 友達の意見を進んで取り入れようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint IWB Microsoft word Google フォーム スクールライフノート <p>※情報編集 (ワープロ基本操作)</p> <p>※情報編集 (新聞形式)</p> <p>※情報表現・発信 (グループディスカッション)</p>
第四次 今の滝川の魅力を再発見！（生かす）	今までの活動を通して気付いたことを振り返り、これからの自分の生活に生かそうとする。 ◇完成した新聞を読みあい、感想を伝え合う。 ◇昔の滝川小学校や滝川地域について知ったことから、今の滝川小学校や滝川地域の魅力を再発見し、ポスターセッションを行う。	<p>【発信力】 今までの活動を振り返り、今の学校や地域に誇りをもち、魅力を伝えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint Google フォーム スクールライフノート <p>※情報表現・発信 (ポスターセッション)</p>

※本单元で活用する情報活用スキルチェック (Google フォーム)

情報スキルチェック「整理・分析」分類・整理する 「整理・分析」分類・整理する	情報活用スキルチェック「収集」インターネットで調べる 「収集」インターネットで調べる
<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 必要な情報を選択することができる。<input type="radio"/> 情報を内容ごとに仲間分けして分類することができる。<input type="radio"/> 順序を考えて情報を整理することができる。<input type="radio"/> 集めた情報の根拠を明確にし、順序立てて整理することができる。	<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力できる。<input type="radio"/> キーワードをいれて検索結果から必要な情報を選択することができる。<input type="radio"/> 引用するサイトの出所先を意識し、その信頼性を見極めることができる。<input type="radio"/> 引用するサイトの信頼性を見極めると共に、他のサイトの情報と比較して判断することができる。
情報活用スキルチェック「収集」インタビュー 「情報収集」インタビュー	情報活用スキルチェック「収集」メモをとる 「収集」メモをとる
<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 聞きたいことを相手に向かって言えることができる。<input type="radio"/> 相手の返答を聞いてメモができる。<input type="radio"/> 回答した内容を理解して、更に質問を展開できる。<input type="radio"/> 礼節をわざわざ、アポイントやお礼を述べる。	<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 日時・場所・相手等の基本的な情報を記述できる。<input type="radio"/> 相手の言葉をそのまま書き取ったり、掲示物等をそのまま写したりすることができる。<input type="radio"/> 相手の言葉や掲示物等から必要な情報を抜き出して記述できる。<input type="radio"/> 相手の言葉を選択選択し、要約して記述する。主要なキーワードを列挙できる。
情報活用スキルチェック「収集」写真を撮る 「収集」写真を撮る	情報スキルチェック「編集」ワープロソフト基本操作 「編集」ワープロソフト基本操作
<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 安全や故障（落水・水没等）に気を付けて、写真を撮ることができる。<input type="radio"/> 対象物との距離、アングル、明るさ等を意識して撮影できる。<input type="radio"/> 撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。<input type="radio"/> 撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認・管理できる。	<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 文章を入力していくことができる。<input type="radio"/> 文字の大きさ・文字種・色の変更・ルビ・改行・削除・挿入等ができる。<input type="radio"/> 中央揃え、右寄せ、タブなどを用いて文書を整頓して作成できる。<input type="radio"/> 必要に応じて、縦書き・横書き、テンプレートなどを選んで活用する。
情報活用スキルチェック「整理・分析」構成する 「整理・分析」構成する	情報活用スキルチェック「編集」新聞形式 「編集」新聞形式
<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 一番伝えたいことを選ぶことができる。（初級）<input type="radio"/> 一番伝えたいことを根拠をもとにして選ぶことができる。（中級）<input type="radio"/> 一番伝えたいことを、相手意識をもち、根拠をもとにして選ぶことができる。（上級）<input type="radio"/> 一番伝えたいことを、相手意識をもち、思考ツールで根拠を表し、選ぶことができる。（名人級）	<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 活動を振り返り、自らの考えを文章化することができる。<input type="radio"/> 活動を振り返り、主張点を明確にすることができる。<input type="radio"/> 定められた分量で割り付け、見出しを付けることができる。<input type="radio"/> 主張が読み手に伝わるよう、定められた分量で記事の優先順位や割り付け、見出しを付けることができる。
情報活用スキルチェック「表現・発信」グループディスカッション 「表現・発信」グループディスカッション	情報活用スキルチェック「表現・発信」ポスターセッション 「表現・発信」ポスターセッション
<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 課題（テーマ）に沿って自分の意見を言うことができる。<input type="radio"/> 他社の意見に対応して、自分の言うことができる。<input type="radio"/> 自分や他社の意見を取り入れながら、結論へつなげることができる。<input type="radio"/> グループの同意形成を図りながら、結論を見出すことができる。	<p>できたところ1つにチェックをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> ポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。<input type="radio"/> 身ぶり手ぶりを入れたりして、気持ちをこめて伝えることができる。<input type="radio"/> 視聴者の視線・表情・しぐさ等に反応しながら発表できる。<input type="radio"/> 視聴者と双方向にコミュニケーションをとりながら発表できる。

10. 本時の学習（13/21）

（1）本時の目標

滝川の魅力を地域の人にもっと伝えるために、一番伝えたいことは何かについて話し合い、記事の構成を考えることができる。

（2）本時の展開

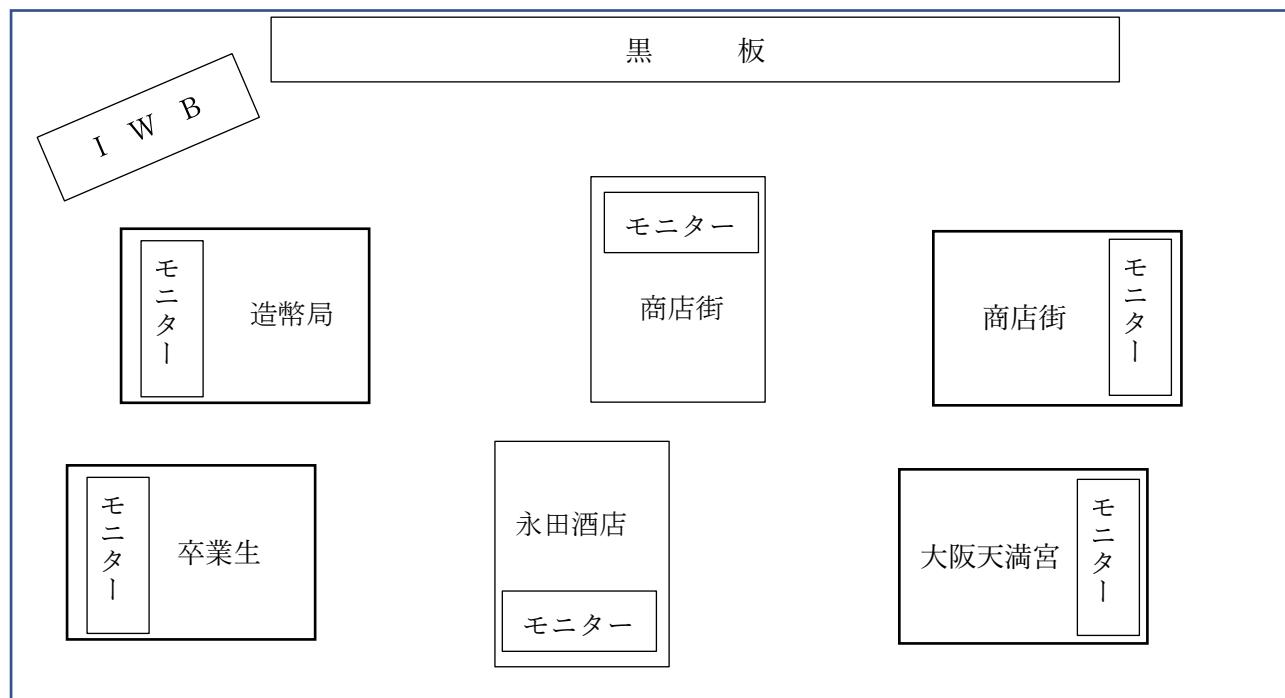
学習内容	指導上の留意点	評価基準等
1. 本時の学習課題を確認する。	・前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元の学習の中での位置付けを確認する。	・IWB ・PowerPoint（自作）
地域の人に一番伝えたいことを決めよう。		
2. テーマ別グループで、読み手に一番伝えたいことについて話し合う。 ① 各々がテーマについて調べ、まとめたことをグループで確認する。 ② 一番伝えたい内容を選び、根拠を明確にしてスクールライフノートに書き、交流する。 ③ 一番に伝えたい内容を決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の情報活用スキルチェックを確認する。 ・各々が PC 上の原稿を読み、内容について確かめるようにする。 ・各々が滝川小学校や地域の昔の様子について、地域の人に一番伝えたいことを選ぶようになる。 ・スライド一覧をモニターに映し、みんなで考えることができるようになる。 ・根拠を思考ツールに表し、内容について考えるようになる。 	<p>※情報整理・分析（構成する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Word ・スクールライフノート <p>【組み合わせる力】 自分達で調べたことと詳しい人に聞いた情報を組み合わせて選んでいる。</p> <p>【協働力・創造力】 友達の意見を進んで取り入れようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Power Point

3. 話し合いのまとめを全体で共有する。	・班で決めた一番伝えたいことを根拠を明確にして発表する。	
4. 本時の学習を振り返り、次時の活動の確認をする。	・他の班の考えを聞き、もう一度、一番伝えたいことが適しているか考えるようとする。	・Google フォーム ・スクールライフノート

(3) 板書計画

11／30 滝川の温故知新！～新たな魅力！再発見！～	
の地域の人に一番伝えたいことを決めよう。	
造幣局	卒業生
昔と今の貨幣の作り方 →インパクトを与える。	最大の思い出 →滝川小学校のいいところを伝えたい。
商店街	永田酒店
江戸時代からあるお店 →驚いてほしい。	滝川地域の好きなところ →地域への思いを伝えたい。
天神祭り	大阪天満宮
船渡御が向かう方向が変わった →違いを知ってほしい。	食事制限 →秘密を教えたい。

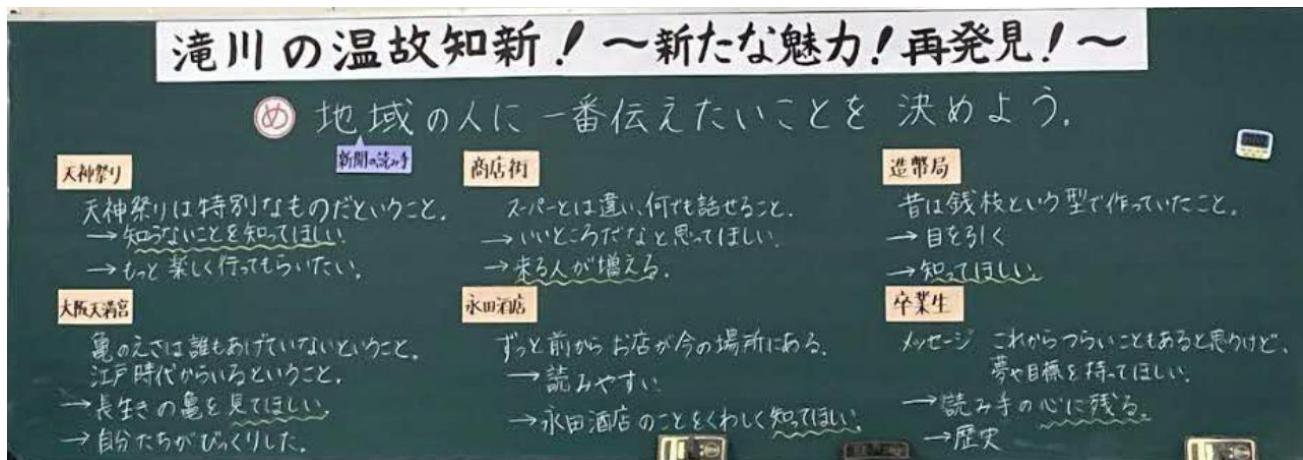
(4) 場の設定



(5) 情報活用スキルチェック

○構成する

- 一番伝えたいことを選ぶことができる。(初級)
- 一番伝えたいことを根拠をもとに選ぶことができる。(中級)
- 一番伝えたいことを相手意識をもち、根拠をもとに選ぶことができる。(上級)
- 一番伝えたいことを相手意識をもち、思考ツールで根拠を表し、選ぶことができる。(名人級)



情報活用スキルチェック「整理・分析」構成する

「整理・分析」構成する

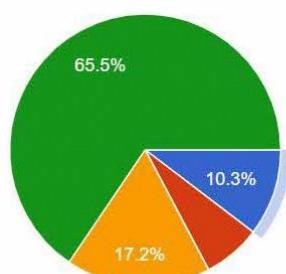
できたところ1つにチェックをしましょう。

- 一番伝えたいことを選ぶことができる。(初級)
- 一番伝えたいことを根拠をもとに選ぶことができる。(中級)
- 一番伝えたいことを、相手意識をもち、根拠をもとに選ぶことができる。(上級)
- 一番伝えたいことを、相手意識をもち、思考ツールで根拠を表し、選ぶことができる。(名人級)

できたところ1つにチェックをしましょう。

□ コピー

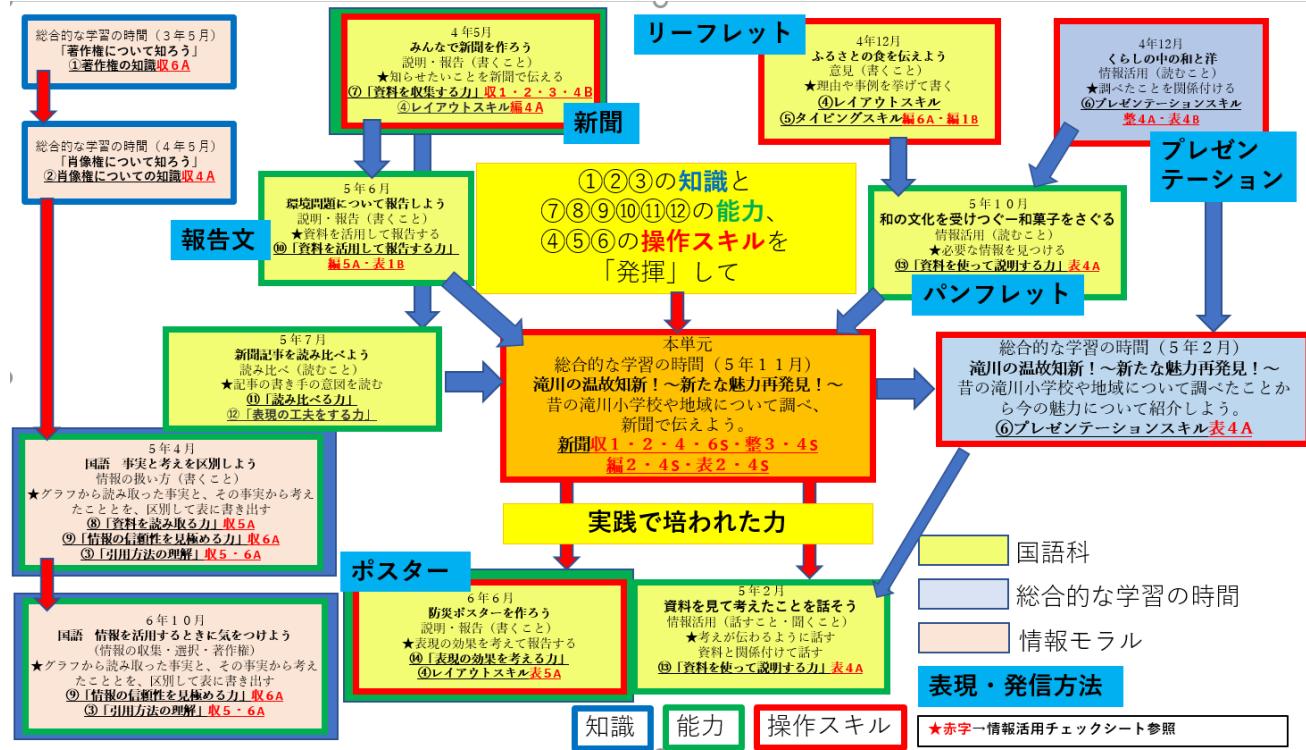
29件の回答



- 一番伝えたいことを選ぶことができる。(初級)
- 一番伝えたいことを根拠をもとに選ぶことができる。(中級)
- 一番伝えたいことを、相手意識をもち、根拠をもとに選ぶことができる。(上級)
- 一番伝えたいことを、相手意識をもち、思考ツールで根拠を表し、選ぶことができる。(名人級)

1.1. 情報活用能力の育成と発揮

これまでに育成されてきた本単元で必要な情報活用能力は、以下のものである。



第6学年 国語科学習指導案

指導者 坂口 朋子

1. 日 時 令和4年6月14日(火) 第5時間目(13:50~14:35)

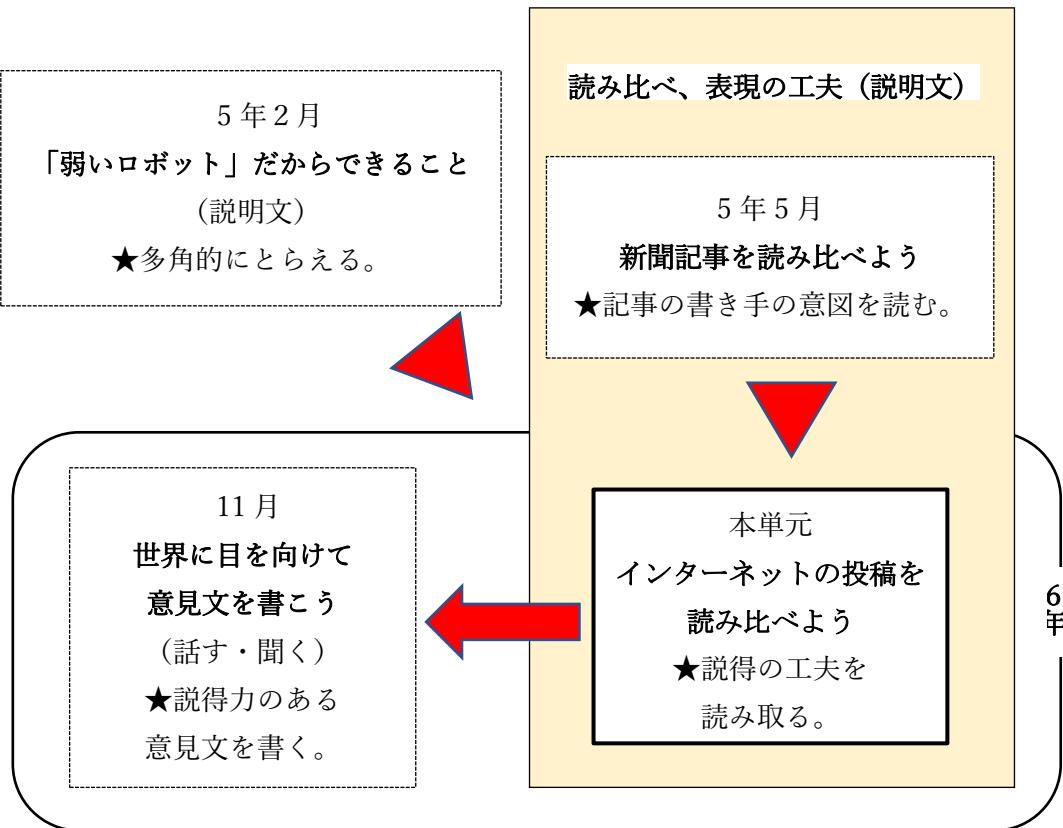
学年・組 第6学年A組(在籍 25名)

2. 単元名 インターネットの議論を考えよう(東京書籍 6年)

3. 単元目標

複数の文章を読み比べて、それぞれの説得の工夫を読み取ることができる。

4. 単元間の関連



本単元は、説明文の「読み比べ・表現の工夫」の系統に位置付けられる。五年の同系統の単元では、新聞記事を読み比べることで、記事の書き手の意図を読むことを学習している。また、五年二月説明文「『弱いロボット』だからできること」の単元では、「多角的にとらえる」ことを学習している。あるテーマについて書かれた文章を読む際には、書き手の挙げている理由や事例に注目して多角的にとらえ、自分の考えを深めるということを既習事項から想起させ、学習課題をつかませるようにしたい。

なお、本単元の学習は、十一月「世界に目を向けて意見文を書こう」(書くこと)を学習する際にも生かすことができると考える。各単元の関連や系統を押さえた上で指導を展開していきたい。

5. 評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none">・様々な表現の工夫に気付いている。(1) ク・情報と情報の関連付けの仕方を理解し、使っている。(2) イ	<ul style="list-style-type: none">◎「読むこと」において、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのような理由や事例を用いることで説得力を高めようとしているのかについて考えている。C(1) ウ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 C(1) オ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 B(1) ウ	<ul style="list-style-type: none">・これまでに学習したこと振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に説得の工夫について考えて、文章を読み比べようとしている。

6. 付けたい言葉の力と単元でそれにふさわしい言語活動

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における【思考力、判断力、表現力等】の「C 読むこと」(1) ウ「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。」である。

児童はこれまで、立場の異なる意見や、別の面から見た意見など、書かれていることを多角的に捉えながら読むことを学習している。しかし、筆者の意図を捉えながら、その述べ方の工夫や効果について読み取ることについては十分ではない。また、SNS などが急速に普及した現在、書籍や新聞などを介した交流よりも、圧倒的にインターネット上での交流が盛んに行われるようになってきているが、インターネットの交流を想定して読んだり書いたりする学習経験はほとんどないと思われる。

そこで本単元の「言葉の力」は、「説得の工夫を読み取ること」と設定している。インターネット上に投稿されたという想定の文章を読み比べることで説得の工夫などを学び、そこで身に付けた力を発揮して、議論の続きを参加するつもりで自分の意見を投稿するという言語活動である。そのために児童は、一連の投稿を読み比べ、書き手の立場や意見・主張を捉えるとともに、なる説得の工夫を見つける必要がある。そして、説得力がある投

稿を書くために、自分の立場や意見・主張を決めた上で理由付けをしたり根拠となる資料を集めたりしなければならない。さらに自分の考えを広げたり深めたりするためには、書いた投稿を互いに読み合い、意見や感想を伝え合う活動が不可欠であることから、単元全体を通して対話的な学習活動が展開できると思われる。

7. 単元で身に付けたい情報活用スキル

本単元では、以下の情報活用スキルチェック、学習の振り返りの場面に一人一台端末を積極的に活用する。

	情報活用スキル	S（名人級）	A（上級）	B（中級）	C（初級）
整理・分析	比較する	2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして納得する投稿を選ぶことができる。	2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして比較して説明することができる。	2つ以上の投稿の意見や主張について比較して説明することができる。	2つの投稿の意見や主張について比較して説明することができる。
編集	SNS 投稿形式	「インターネットの議論」であることを意識し、複雑にならないよう、最も伝えたい言葉で表現することができる。	定められた分量で根拠を明確にし、説得の工夫を取り入れて自分の思いを表現することができる。	どのような立場から述べているかを明確にし、主張や意見を表現することができる。	伝えたい文章を入力することができる。
表現・発信	SNS 等での発信	他者の議論を踏まえて議論を展開する楽しさを感じる事ができる。	個人情報の扱い等情報セキュリティに気をつけて書きこむことができる。	言葉遣いなど情報モラルに気をつけてSNSに書きこむことができる。	自分の考えをSNSに書きこむことができる。

8. 指導に当たって

本単元は、説明文の「読み比べ・表現の工夫」の系統に位置付けられる。五年の同系統の単元では、新聞記事を読み比べることで、記事の書き手の意図を読むことを学習している。また、五年の二月の単元『弱いロボット』だからできることでは、あるテーマ

について書かれた文章を読む際には、書き手の挙げている理由や事例に注目して多角的に捉え、自分の考えを深めるということを学習し、「テクノロジーが見せる未来」をテーマに序論・本論・結論の構成で意見文を書く活動を行なった。しかしながら、複数の資料を相互に関連付け、それらを的確に用いて説得力のある文章を書く力を十分に身につけていけるとはいえない。本単元で獲得した情報活用能力は、十二月「世界に目を向けて意見文を書こう」(書くこと)、総合的な学習の時間(※参照)「未来へ翔け！TAKIGAWA プロジェクト」における防災ポスター作りやプレゼンテーションの際に発揮できると考える。

本教材はインターネット上でやりとりされる文章を想定したもので、「スポーツをすることの目的(意味)について書かれた一つの投稿を紹介したものである。年齢や性別、スポーツへの関わり方などさまざまな立場の人たちが参加して議論が展開され、文章構成、意見の述べ方、議論への参加態度なども多様であることから、それぞれの投稿を比較しながら、書く文章の投稿の工夫を読み取ることができると思われる。

実生活において、「SNS・新聞・雑誌など投稿に関するアンケート」(5月)によると、約80%の児童がSNS等に自分の考えを投稿した経験がない。「投稿するときに気をつけること」しては、個人情報や情報の選択、情報の送り手としての責任に関するこを挙げている。(以下参照)今後、実際にインターネット上の掲示板やブログ、SNSなどの情報に触れる際には、相手の立場を考えただけでなく、読み手の気持ちや反応を想像しながら自分の意見を述べることができるように、この学習で学んだことを生かせるようにしたい。インターネット上のモラルについての考えを深め、ネットリテラシーだけでなく「言葉の力」も大切であることを実感させたい。

「SNS・新聞・雑誌など投稿に関するアンケート」(5月)

あなたは、SNS・新聞・投稿するときに気をつけることは何だと思いますか。	
いいえ	投稿したものを見た人がどんな思いをするのか、考えて送ること。
いいえ	本当にそれが正しいのか
いいえ	反対の意見の人も嫌な気持ちにならないように投稿する
いいえ	自分の個人情報がばれないようにする
いいえ	暴言を書き込まない
いいえ	個人情報が漏れないようにする
はい	個人情報を隠して、自分だけでなく友達の顔や名前を隠す。
いいえ	個人情報に気を付ける
いいえ	個人情報に関係する情報を載せない。相手が嫌がるようなことを投稿しない。
はい	相手(見ている人)のことを考えて投稿している。
いいえ	
いいえ	本当に投稿してもいいのかかんがえる。
はい	個人情報がばれないように気を付ける
いいえ	身バレしないようにする
いいえ	
はい	受け手の気持ちを考えて、受け手がうれしくなるようなことを気を付けることだと思う
いいえ	
いいえ	その情報が正しいかを確認する
いいえ	正確な情報を送ること、また、個人情報がばれてしまうことを投稿しないこと
いいえ	自分の個人情報などをあまり出さない事
いいえ	読み手が、不快になるようなことを投稿しない。
いいえ	帆くあの人気が嫌な気持ちにならないように発言にきお付ける
いいえ	そのことが本当かを調べてから投稿したらよいと思う。
はい	人の悪口などをネット上に流さないこと
いいえ	個人情報をばれないようにする
いいえ	身が危険にならないようにすること
はい	個人情報保護

9. 学習計画（全8時間）

	時	主な学習活動	評価基準	ICT 活用 情報活用 スキル※
つかむ	1	<p>④ インターネットの投稿について知り、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を読んで学習課題を確かめ、単元全体の見通しを立てる。 		<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 スクールライフノート IWB
取り組む	2 本時 ・ 3 ・ 4	<p>⑤ 投稿を読み比べ、書き手の意見や主張と、その理由や根拠を読み取ったり、説得の工夫を捉えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 p78~81 の投稿を読み、大まかな議論の流れをつかむ。 説得の工夫を知り、それぞれの投稿がどの工夫を用いているか整理して捉える。（1立場 2意見・主張 3理由や事例 4説得の工夫 5その他） 見つけた工夫や表現の効果を出し合い、「共感を生む投稿のポイント」としてまとめる。 自分が最も共感できる投稿を選び、納得した理由を説明する。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な表現の工夫に気づいている。 (1) ク <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのような理由や事例を用いることで説得力を高めようとしているのかについて考えている。 C(1) ウ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 C(1) オ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したこと振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に説得の工夫について考えて、文章を読み比べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint IWB Skymenu スクールライフノート Google フォーム <p>※情報の整理・分析</p> <p>(比較する)</p> <ul style="list-style-type: none"> IWB スクールライフノート Google フォーム <p>※情報編集 (SNS 投稿形式)</p> <p>※表現・発信 (SNS 等への発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google Classroom

	5 ・ 6 ・ 7	<p>③ 整理した説得の工夫を生かし、グループで投稿の続きを考えて作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの立場のどちらに立つかを話し合い、グループごとに「投稿 12」を作成する。 グループの投稿を読み合った感想を交流し、議論の続きを参加するつもりで改めて自分の意見を考え、「投稿 13」を作成する。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意団に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 <p>B(1)ウ</p>	
振り返る	8	<p>④ インターネットの投稿について、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の学習を振り返り、身に付いた「言葉の力」を確かめる。 		<ul style="list-style-type: none"> Google フォーム スクール ライフノート

※ 本単元で活用する情報活用スキルチェック (Google フォーム)

6A情報活用スキルチェック
「比較する」（整理・分析）

あてはまるところに、1つチェックしましょう。

6A情報活用「比較する」

ラジオボタン

2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして納得する投稿を選ぶことができる。
 2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして比較して説明することができる。
 2つ以上の投稿の意見や主張について比較して説明することができる。
 2つの投稿の意見や主張について比較して説明することができる。
 その他...
 選択肢を追加

6A情報活用スキルチェック
「SNS投稿形式」（編集）

あてはまるところに、1つチェックしましょう。

6A情報活用「SNS投稿形式」（編集）

ラジオボタン

「インターネットの議論」であることを意識し、複雑にならないよう、最も伝えたい言葉で...
 定められた分量で根拠を明確にし、説得の工夫を取り入れて自分の思いを表現することができる。
 どのような立場から述べているかを明確にし、主張や意見を表現することができる。
 伝えたい文章を入力することができる。

6A情報活用スキルチェック
「SNS等での発信」（発信・表現）

あてはまるところに、1つチェックしましょう。

6A情報活用・SNS等での発信（表現・発信）

ラジオボタン

他の者の議論を踏まえて議論を展開する楽しさを感じる事ができる。
 個人情報の扱い等情報セキュリティに気をつけて書きこむことができる。
 言葉遣いなど情報をモラルに気をつけてSNSに書きこむことができる。
 自分の考えをSNSに書きこむことができる。

10. 本時の学習（2/8）

(8) 本時の目標

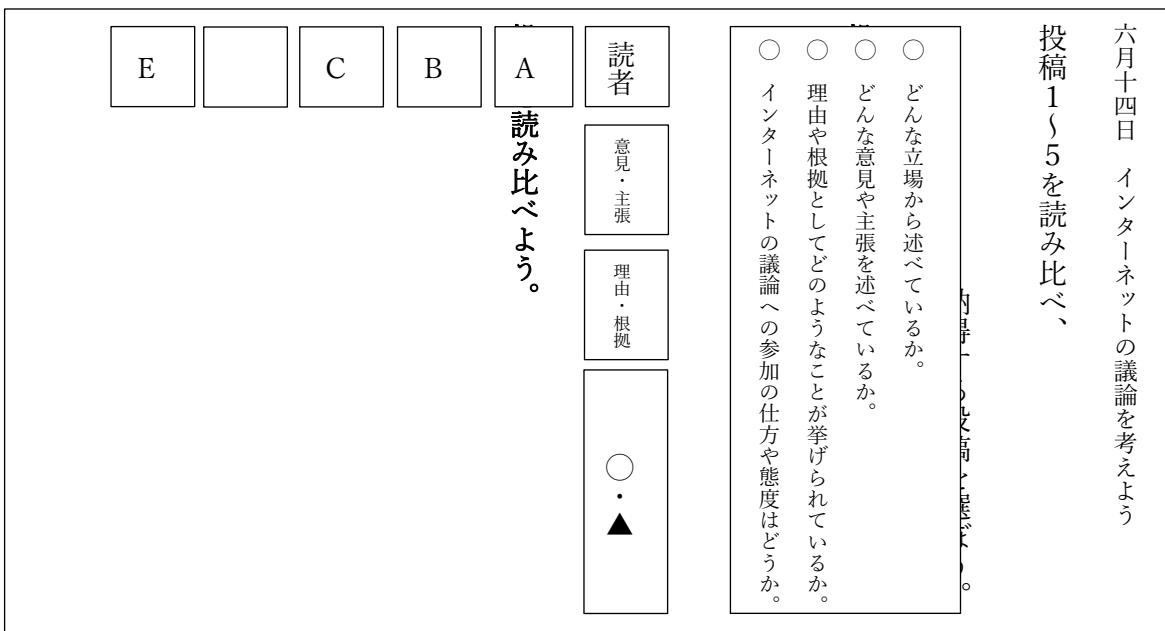
それぞれの投稿の書き手の意見や主張と、その理由や根拠を捉えることができる。

(9) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準等
4. 本時のめあてを確かめ、投稿1～5を音読し、大まかな議論の流れをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 本時の情報活用スキルチェックを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> IWB PowerPoint (自作)
	投稿1～5を読み比べ、納得する投稿を選ぼう。	
5. 投稿1～5を中心読み、それぞれの書き手の意見や主張とその理由や根拠をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> 「投稿を読み比べる際の観点」を想起することができるようとする。 それぞれの投稿の内容を整理できるようとする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <input type="radio"/>どんな立場から述べているか。 <input type="radio"/>どんな意見や主張を述べているか。 <input type="radio"/>理由や根拠としてどのようなことが挙げられているか。 <input type="radio"/>インターネットの議論への参加の仕方や態度はどうか。 </div>	
6. 投稿1～5を読んで、よいと思ったところやよくないと思ったところとその理由をもとに、納得できる投稿を選ぶ。 ※	<ul style="list-style-type: none"> PCを活用し、考えを投稿ごとにまとめ、「よいところ」は青、「よくないところ」は黄の付箋にコメントを書くようとする。(Jam board) PC上のグループの考え方をもとに、納得できる投稿とその理由について考え方話し合うようする。 (グループ→全体) 選んだ投稿を発表ノートに表し、画面比較して提示する。 投稿5の役割やインターネットの議論への参加の仕方についても、考えるようとする。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な表現の工夫に気づいている。(1) ク <p>※情報の整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> (比較する) Google Classroom (Jam board) Skymenu

<p>4. 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用スキルチェックを行うようにする。 ・インターネットの投稿に対する自分の考えをスクールライフノートに投稿する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom (Google フォーム) ・スクールライフノート
------------------------------------	--	--

(3) 板書計画



**6A情報活用スキルチェック
「比較する」(整理・分析)**

あてはまるところに、1つチェックしましょう。

<input type="checkbox"/> 2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして納得する投稿を選ぶことができる。	×
<input type="checkbox"/> 2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして比較して説明することができる。	×
<input type="checkbox"/> 2つ以上の投稿の意見や主張について比較して説明することができる。	×
<input type="checkbox"/> 2つの投稿の意見や主張について比較して説明することができる。	×
<input type="checkbox"/> その他...	×
<input type="checkbox"/> 選択肢を追加	×

6A情報活用「比較する」

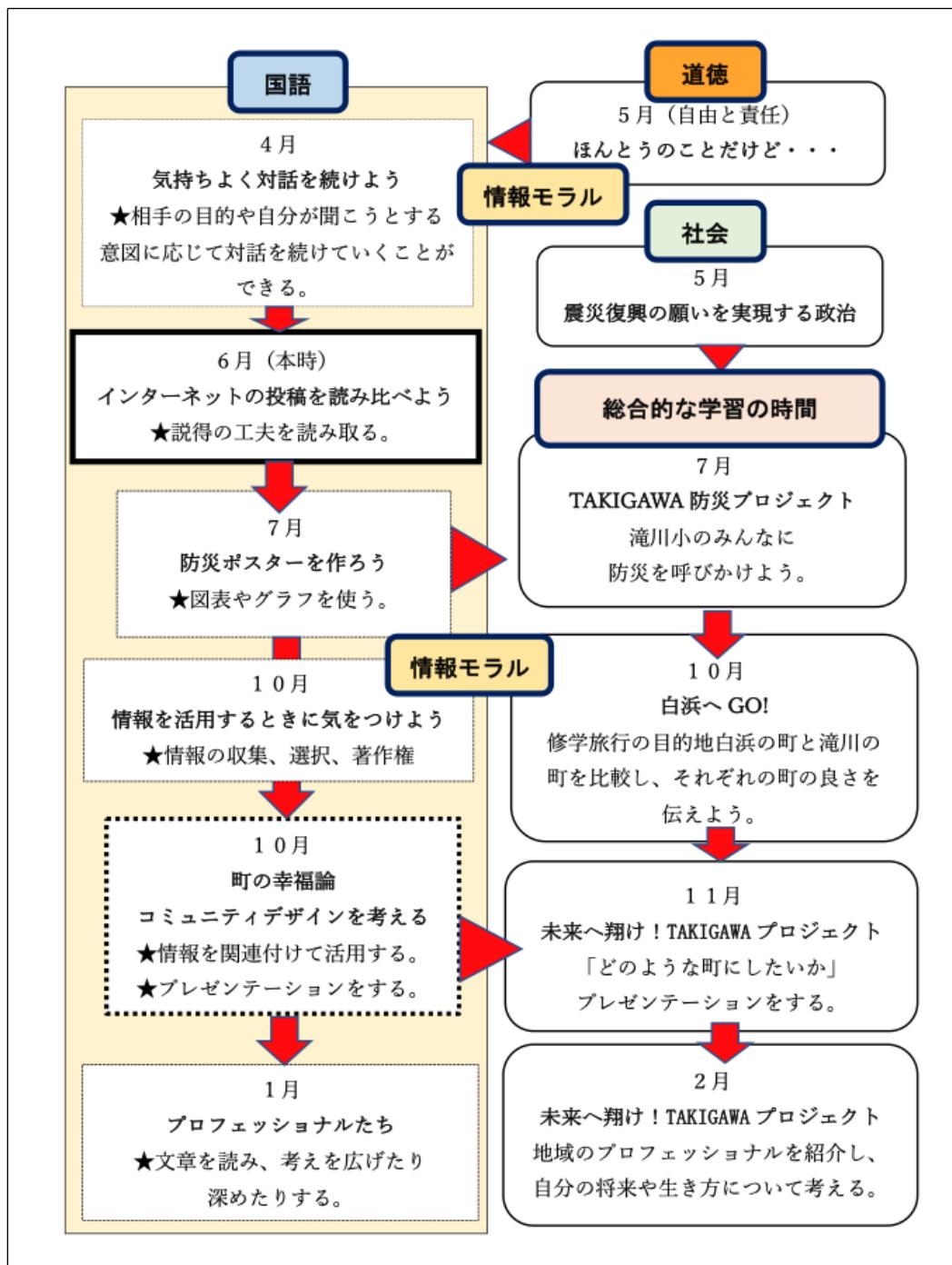
28件の回答

[□ コピー](#)

2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして納得する投稿を選ぶことができる。	32.1%
2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして比較して説明することができる。	32.1%
2つ以上の投稿の意見や主張について比較して説明することができる。	21.4%
2つの投稿の意見や主張について比較して説明することができる。	10.7%
その他...	0%

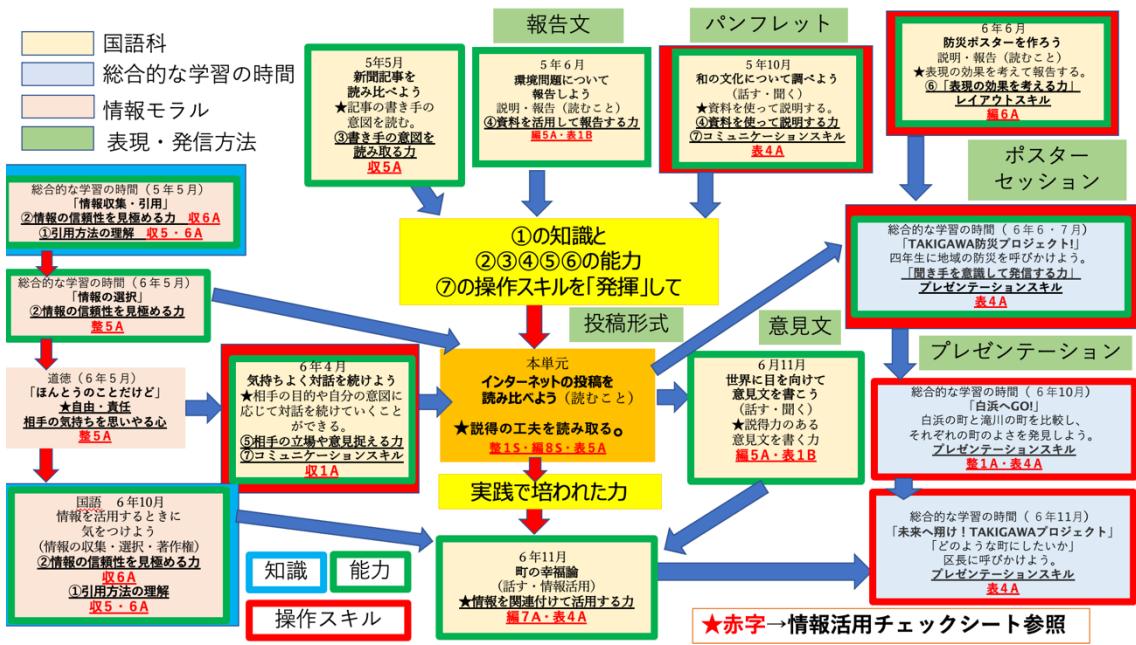
● 2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして納得する投稿を選ぶことができる。
● 2つ以上の投稿において、理由や根拠を明確にして比較して説明することができる...
● 2つ以上の投稿の意見や主張について比較して説明することができる。
● 2つの投稿の意見や主張について比較して説明することができる。
● なし

※ 6年 総合的な学習の時間「未来へ翔け！TAKIGAWA プロジェクト」との関連



11. 情報活用能力の育成と発揮

これまでに育成されてきた本単元で必要な情報活用能力は、以下のものである。



第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 北野 光彦

1. 日 時 令和4年10月18日（火）第6時間目（14：45～15：30）

学年・組 第6学年B組（在籍 23名）

3. 単元名 白浜へGO！

4. 単元目標

- ・南紀・白浜と居住地域である大阪市を観光の視点から調べたり体験したりすることを通して、それぞれの特色に関心をもち、伝えようとしている。【発信力】
 - ・観光地としての南紀・白浜と大阪市の特産品、地形、交通網等の特色について、情報を集めている。【調査力】
 - ・観光地としての南紀・白浜と大阪市を比較することを通して、地域のよさや問題点を考え、その根拠となる情報をを集め選んでいる。【組み合わせる力】
- ◎観光地としての南紀・白浜と大阪市のよさや課題について、友達の考えを聞き、自分の考えと比べ、他者に質問したり感想を伝えたりして、自分の考えを見直そうとしている。【協働力】

5. 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・観光地としての南紀・白浜と大阪市を比較して、地域のよさと課題を考え、相手が納得できるように情報を的確に使って伝えている。【発信力】	・観光地としての南紀・白浜と大阪市について、課題にあった情報を集めている。【調査力】 ・自分の課題を知らせるための情報を精査し、必要な情報を組み合わせて使っている。【組み合わせる力】	・同じ課題の友だちと情報を共有し、価値あるアイデアを生み出そうとしている。【創造力】 ・課題を解決するために、友達の意見を進んで取り入れようとしている。【協働力】

7. 単元で身に付けたい情報活用スキル

	情報活用スキル	S（名人級）	A（上級）	B（中級）	C（初級）
収集	インターネットで調べる	引用するサイトの信頼性を見極めるとともに、ほかのサイトの情報と比較して判断することができる。	引用するサイトの出所元を意識し、その信頼性を見極めることができ。る。	キーワードを入れて検索した結果から必要な情報を選択することができます。	ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力することができる。
整理・分析	比較する	2つ以上の出所の異なる情報を相違点や共通点について根拠を示して説明することができる。	2つ以上の出所の異なる情報を相違点や共通点について説明できる。	2つ以上の出所の異なる情報を相違点や共通点を見つけることができる。	2つの情報を並べることができます。
	分類・整理する	根拠を明確にし、順序立てて整理することができる。	順序を考えて情報を整理することができます。	情報を内容ごとに分類することができます。	必要な情報を選択することができます。
構成する	構成する	伝える相手に応じて、伝えたいことを組み立てることができる。	「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを適した順序で組み立てることができる。	「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを組み立てることができる。	伝えたいことを構成することができます。
編集	ポスター形式	相手意識を大切にし、複雑にならないよう、最も伝えたい言葉や画像を精選し、表現することができる。	主張点を明確にするために調査した内容や自分の思いを表現することができる。	見出しやタイトル、説明の文章、グラフ・表、文字の大きさ、色使いなどレイアウトを考えることができます。	伝えたい内容を選び、紙面のレイアウトを考えることができます。

表現・発信	グループディスカッション	グループの同意形成を図りながら、結論を見出すことができる。	自己や他者の意見を取り入れながら、結論へつなげることができる。	他者の意見に対応して、自分の意見を言うことができる。	課題（テーマ）に沿って自分の意見を言うことができる。
	ポスターーション	視聴者と双方向にコミュニケーションをとりながら発表できる。	視聴者の視線・表情・しぐさ等に反応しながら発表できる。	身ぶり手ぶりを入れたりして、気持ちをこめて伝えることができる。	スライドやポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。

7. 指導にあたって

本单元は、修学旅行先である南紀・白浜を観光の視点から調べ大阪市と比較することを通して、それぞれの特色を知ることで、地域のよさや課題について考え、地域の一員としての自覚を育むことをねらいとしている。

本学級の児童は、2年生の生活科や3年生の社会科で、地域の商店の様子を見学したり、地域の人へインタビューしたりする活動を行った。地域とのかかわりを通して、地域のよさを発見し愛着を持つことができた。しかし、3年生の年度末からのコロナ禍により他者や地域と触れ合う機会が制限され、他地域への校外学習の機会も激減した。昨年度、5年生の林間学習では天川村の景観に触れ、様々な体験学習を行い、自然豊かな地域のよさや特色を理解することができた。この林間学習の事前学習として、総合的な学習の時間の中で天川村についてインターネットで調べ、その内容をスライドにまとめて4年生に発表するという活動を行った。6年生になってからも、外国語科や社会科、特別活動などの中で、折に触れて調べたことをスライドにまとめて発表する活動を重ねてきたことで、手に入れた情報をもとに自分の考えについて発信する力をもっている児童が多い。さらに、相手が納得できるように情報を的確に使って伝える力をつけていきたい【発信力】。

国語科の「他人の意見と自分の意見を比較して自分の考えをまとめること」や、「互いの意見を分類したり整理したりして計画的に話し合い考え方を広げる学習」を通して、友達の意見を取り入れようとする態度が身についてきている。課題を解決するために、より友達の意見を進んで取り入れができるようにしたい【協働力】。さらに、自分の考え方と友達の考え方を比較し、共通点や相違点を見出することで、よりよい発表を生み出す力をつけたい【創造力】。

一方で、図書資料や端末を活用して調べる活動には慣れているが、インタビューや取材活動による情報収集力はまだ身についているとは言えない【調査力】。また、社会科や理科、国語科で獲得した知識と、調べたい課題について集めた情報とが関連していることに気付かず、情報を十分に生かすことができない児童もいる【組み合わせる力】。

指導にあたって、以下のような手立てで学習を進める。

①導入

大きなテーマは「観光」であることをはじめに伝える。南紀・白浜について知っていることを交流させると、大阪から近いこともある「アドベンチャーワールド」「海水浴」「梅」「みかん」などのキーワードはすぐに出ると思われる。修学旅行の主な行程を伝え、南紀・白浜が大阪市と同様に観光都市として全国的に知られていることに気付くようとする。

「観光地」としての南紀・白浜と大阪市の特色を調べて比較し、そのよさをポスターにまとめて「次年度修学旅行に行く5年生に発表する」という大きな見通しを持つことで、目的感をもって意欲的に学習を取り組むことができると考える。

②体験学習

修学旅行先である南紀・白浜について、図書資料やインターネットで調べた内容だけではなく、現地での体験でしか得られない実感を伴った情報や感想を得られるようにする。

そのために、事前学習の際に「グルメ」「特産品」「交通」「宿泊施設」「自然」「レジャー」「歴史」などのテーマごとのグループに分かれて調べを進め、修学旅行で集める情報を明確にさせる。そうして集めたそれぞれの課題に合った情報や感想が、相手が納得できるように情報を的確に使って伝えるにつながると考える。

③一人一台端末の活用

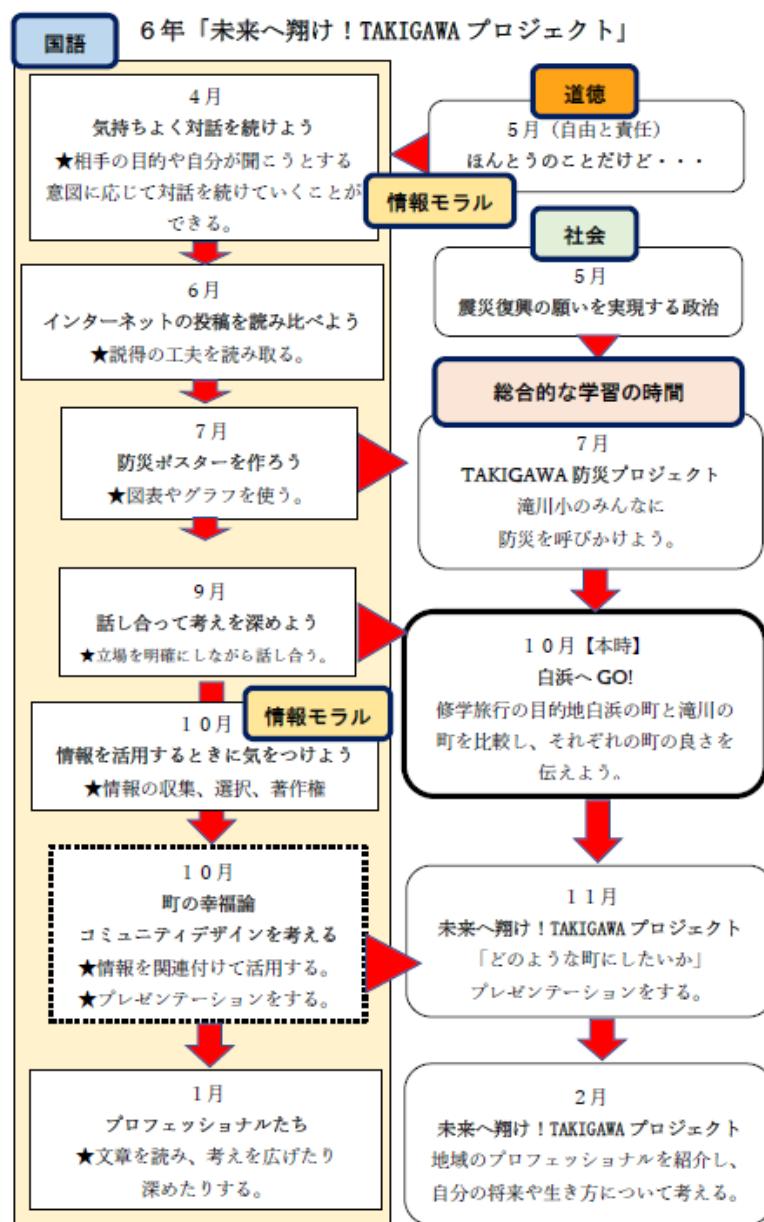
一人一台端末を使って、インターネットを活用して調べたい情報を収集する。根拠となる資料の扱い方や意見の整理をする学習をたびたび取り入れる。また、テーマ別グループによるグループディスカッションでは、グラフや図など、相手に伝わりやすくするために必要な情報を選び、友達と交流することで、何がよい資料となるのか判断する経験を着実に積むことができるようにならう。また、思考ツールを活用して考えを整理する学習を取り入れることで、課題に対する考え方を深化できるようにしたい。さらに、情報活用スキルチェックを活用し、自分が目指すICT活用スキルを明確にし、情報活用能力を高めていきたい。

④国語科と連携したカリキュラム

南紀・白浜と大阪市の特色を比較する活動においては、「話し合って考えを深めよう」で身に付けた「立場を明確にしながら話し合う力」を発揮できると考える。さらに、ポスターの作成に当たっては、「防災ポスターを作ろう」で身につけた「表現の効果を考えて報告する力」「図表やグラフを使う力」を発揮し、5年生へのポスターセッションでは、相手が納得できるように伝えることができるようになる。

また、10月単元の「町の幸福論」で取り組む「資料を基に自分たちの町の未来について考え、プレゼンテーションをする」活動につなげ、継続的に教科横断的に学習を展開したい。

※他教科との関連



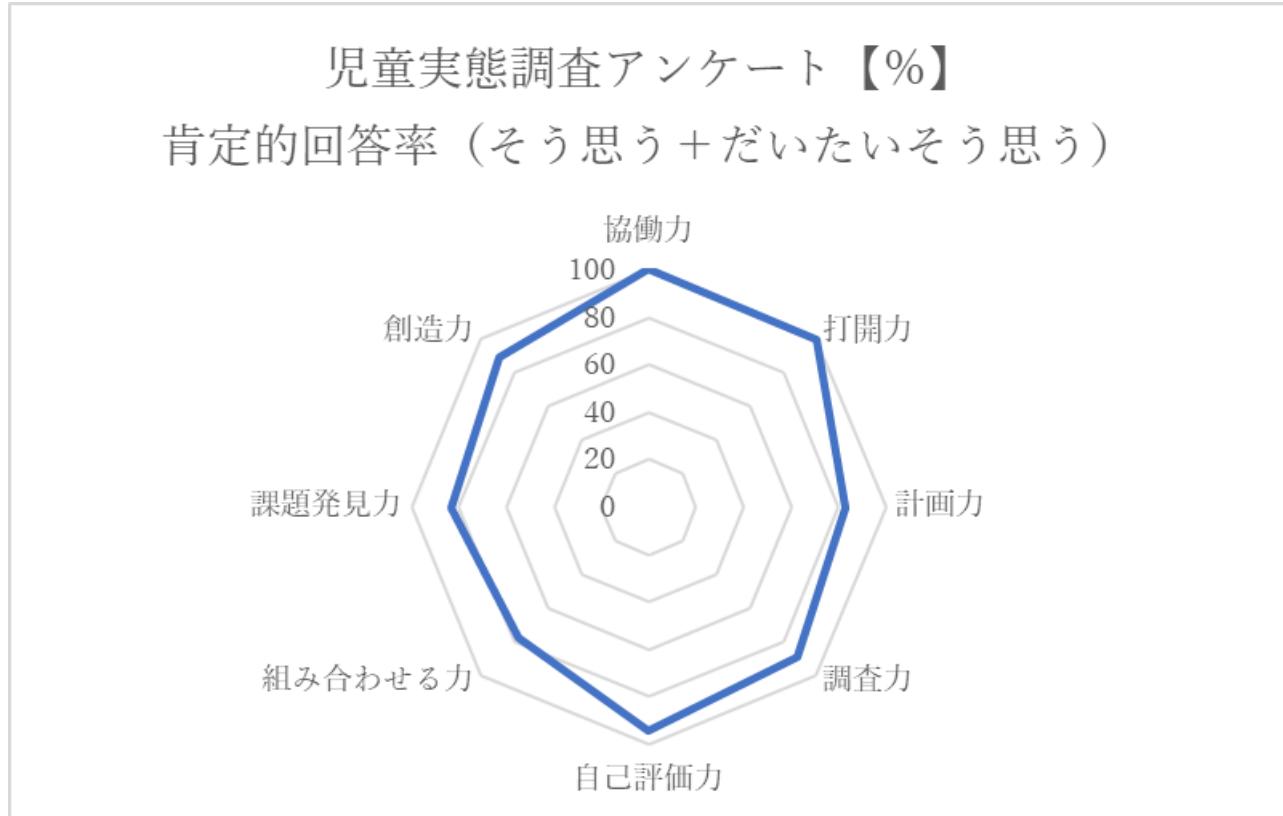
第一次「つかむ」段階では、修学旅行先である南紀・白浜に対するこれまでのイメージを想起したり、パンフレットやガイドブック、インターネットの資料から簡単に調べたりする活動を通して、「観光地」としての南紀・白浜に着目し、もっと知りたい、調べてみたい課題を設定できるようにする。そして、自分たちが住む大阪市も「観光地」として的一面があることを押さえ、それぞれの地域の特色を比較することで、それぞれのよさを理解することができるということを確認する。また、調べ・体験した内容をポスターにまとめて5年生に発表することを伝え、目的意識や見通しをもって一連の活動に取り組むことができるようにならえ、主体的な学習となるように進めていきたい。

第二次「さぐる」段階では、児童の興味・関心をもとにグループ編成を行い、役割分担して情報収集にあたる。図書資料、インターネットなどの方法を活用する中で、自分に合った課題解決の方法を選択する力を身につけさせたい。南紀・白浜だけでなく、大阪市の同じ課題について調べる活動も並行して進める。次に、集めた情報を整理・分析して「南紀・白浜と大阪市のどちらが観光地として魅力があるか」について、自分の立場を決める。そして、ワークシートを活用し、選んだ理由や事例をメモに書き出すなどの準備を行う。グループで「南紀・白浜」「大阪市」の立場に分かれて話し合い、居住地である大阪市と比較することで、南紀・白浜のよさに気付くことができるようにならえ。また、実体験から得た情報や感想を集めることで、修学旅行に行くことができるようになる。

第三次「深める」段階では、第二次で見出した南紀・白浜のよさを伝えるために、ポスターを作るという課題を設定する。グループで役割を分担して、内容、キャッチコピー、割付、資料の選定などを工夫しながら活動を進める中で友達との関わりが増し、つながりが深まっていくと考えられる。また、発表の方法をポスターセッションにすることで、相手がより納得できるように双方のコミュニケーションをとりながら発表する力を身に付けられるようにならえ。発表後には、協働的な活動で分かったことを振り返らせて、次時への見通しと追及課題をもつことができるようにならえ。

第四次「生かす」段階では、学習への有用感をもたせ、これまで学んだことをもとに、自分たちが住む地域のよさや課題、今後の自分の生き方や地域との関わり方について考えるようになる。これまでのプロセスを振り返る中で、達成感や一体感、高揚感を交流し、できるようになったことやわかつたこと、もっとやってみたいことを伝え合う。また、今後の国語科の学習で地域の未来について考え、プレゼンテーションを行うことを伝え、地域の一員としての自覚を高め、地域のためにできることを考えていこうとする態度を育んでいきたいと考える。

8. 児童の意識調査



1 : そう思う 2 : だいたいそう思う 3 : あまり思わない 4 : 思わない

(%)

つけたい力	質問	1	2	3	4
自分から動く力	友だちと協力して学習している。	89	11	0	0
	問題にあきらめずに最後まで取り組んでいる。	61	39	0	0
	次のことを見通して学習に取り組んでいる。	61	22	11	6
学習したことを上手く使う力	調べたいことを色々な方法で調べようとしている。	67	22	11	0
	学習したことで自分ができたこと、できなかつことが分かっている。	55	39	6	0
	学習したことを自分の生活や次の学習にいかそうとしている。	50	28	17	5
最後まで考え続ける力	学習の中で、「ふしぎたな」「なぜ」を見つけようとしている。	39	44	11	6
	相手に伝わるように工夫して話したり、書いたりしている。	44	44	12	0

8. 学習計画（全16時間）

単元名	時	◇主な学習活動 ◆指導上の留意点・支援	評価規準	ICT 活用 <u>※情報活用スキル</u>
第一次 「南紀・白浜」 つてどんなところ？（つかむ）	1 2 3	<p>修学旅行先である、南紀・白浜について知っていることや簡単に調べたことを交流したりして、学習課題をつかむ。</p> <p>◇これまでの自分の南紀・白浜のイメージを交流する。</p> <p>◇パンフレットやガイドブック、インターネットから知っていることを確かめたり、関心をもったことをメモしたりする。</p> <p>◇確かめたり、関心をもつたりしたことを交流し、次の活動へつなげる。</p> <p>◆「観光地」としての南紀・白浜に着目し、大阪市との共通点に気付かせる。</p> <p>◆最終的に、調べたことをポスターにまとめ、5年生に伝えることを知らせる。</p>	<p>【計画力】 他地域と居住地域について詳しく調べ比較し、よさを伝えるための学習をする見通しをもつことができる。</p> <p>【調査力】 他地域をさまざまな側面から想起し、関心をもつことができる。</p> <p>【協働力・発信力】 得た情報を整理・分類して友達と伝え合うことができる。</p> <p>【課題発見力】 他地域に関心をもち、次への課題を見つけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint IWB Jamboard Google フォーム スクールライフノート

第二次 「南紀・白浜」の魅力に迫る！（さぐる）	本時 間	<p>観光地としての南紀・白浜と大阪市の特色について、資料や端末を用いて調べる。</p> <p>◇調べたい内容からカテゴリごとにグループになり、調べ学習を行い、わかったことや疑問に思ったことなどを交流する。</p> <p>◆交流したことを生かして、調べていく中で新しく出てきた調べたいことを、さらに調べることができるようになる。</p> <p>集めた情報を整理・分析して「南紀・白浜と大阪市どちらが観光地として魅力があるか」について、自分の立場を明らかにして話し合う。</p> <p>◇立場の根拠となる事柄を整理しメモに書き、グループ内で必要な役割を分担し、話し合いの計画を立てて話し合う。</p> <p>◇話し合いを振り返り、新たに気付いたことや考えたことを交流する。</p> <p>◆相手の発言を踏まえて応答したり、異なる意見を取り入れたうえで自分の意見を考え直したりして、考えを深めることができないようにする。</p> <p>修学旅行に行き、南紀・白浜について体験的に調べる。</p> <p>◆調べ学習では得られなかつた情報や、自分の意見や感想</p>	<p>【調査力・協働力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分担して、自分に合った調べ方で他地域と居住地域についての情報を的確に収集することができている。 <p>【組み合わせる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から、自分の考えをより説得力のあるものにするための情報を選んでいる。 <p>【発信力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域と居住地域について調べたことや、比較して考えて気付いたことを、自分なりに表現し話し合うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint ・IWB ・Google フォーム ・スクールライフノート <p>※情報収集</p> <p>(インターネットで調べる)</p> <p>※情報整理・分析</p> <p>(情報の分類・整理)</p> <p>※表現・発信</p> <p>(グループディスカッション)</p>

		を集められるようにする。		
第三次 伝えよう、「南紀・白浜」(深める)	10 11 12 13 14 15	<p>南紀・白浜について、グループでポスターを作り、ポスターセッションを行う。</p> <p>◇南紀・白浜について調べて分かったことをグループでポスターにまとめること。</p> <p>◇ポスターセッションの練習をしたり、ポスターを推敲したりする。</p> <p>◇練習で気付いたことを表現し、交流する</p> <p>◇5年生に、南紀・白浜についてのポスターセッションを行う。</p> <p>◆内容、キャッチコピー、割付、資料の選定などを工夫しながら分担してまとめられるようにする。</p> <p>◆修学旅行に行って体験したことの感想や考えも踏まえてまとめられるようにする。</p>	<p>【組み合わせる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個に応じたスキルを発揮し、グループで協働してポスターをまとめることができている。 <p>【協働力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働して取り組むことのよさに気付いている。 <p>【発信力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を駆使し、相手を納得させるように伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint IWB Google フォーム スクールライフノート <p>※情報整理・分析 (構成する)</p> <p>※情報編集 (ポスター形式)</p> <p>※情報発信・表現 (ポスターセッション)</p>

第四次 学んだことを伝え合おう (生かす)	16	<p>今までの活動を通して気付いたことを振り返り、これから自分の生活に生かそうとする。</p>	<p>【組み合わせる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して分かったことをこれからの自分の生活に生かしていこうとすることができる。 <p>【発信力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動を振り返り、単元を通して気付いたことを自分自身と関連付けて考えて、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google フォーム ・スクールライフノート

※ 本单元で活用する情報活用スキルチェック（Google フォーム）

図書室・資料室などで調べる*

- 求めている情報に加えて、図書室・資料室にどのような書籍・辞典・資料をそろえるべきかを提案することができる。
- 必要な情報を転記・ファイリングすることができる。
- 図書分類に従って、効率的に資料を探すことができる。
- ほしい資料がありそうな場所を探すことができる。

分類・整理する

- 根拠を明確にして順序立てて整理することができる。
- 順序を考えて情報を整理することができる。
- 情報を内容ごとに分類することができる。
- 必要な情報を選択することができる。

分類・整理する

- 根拠を明確にして順序立てて整理することができる。
- 順序を考えて情報を整理することができる。
- 情報を内容ごとに分類することができる。
- 必要な情報を選択することができる。

構成する

- 伝える相手に応じて、伝えたいことを組み立てることができる。
- 「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを適した順序で組み立てることができます。
- 「はじめ」「中」「おわり」の構成で、伝えたいことを組み立てることができる。
- 伝えたいことを構成することができる。

メモを取る

- 言葉を選んで、要約して記述することができる。主要なキーワードを並べることができる。
- 相手の言葉や文章などから、必要な情報を抜き出して記述することができる。
- 相手の言葉や文章をそのまま書き留めたり書き写したりすることができる。
- 日時・場所・人物などの基本的な情報を記述することができる。

9. 本時の学習（8/16）

(1) 本時の目標

南紀・白浜と大阪市を比較して話し合うことによって、異なる意見を取り入れて自分の考えを深め、修学旅行先である南紀・白浜の魅力を再発見することができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準等
1. 本時の学習課題を確認する。	・前時までの学習を振り返り、本時のめあてと単元の学習の中での位置付けを確認する。	・IWB ・PowerPoint (自作)
南紀・白浜と大阪市を比較して話し合い、考えを深めよう		
2. 3～4人グループで話題に沿って話し合う。 ①話題を確かめる。 ②それぞれの立場の考えを聞き合う。 ③それぞれの立場から質問し合う。 ④それぞれの立場について整理する。 ⑤話し合いをまとめると。	・「話し合いの進め方」に沿って話し合えるようにする。 ・自分の意見を話すときには根拠となる資料を示しながら話すようにする。 ・司会者は、自分が選択したコンテンツを活用して整理して、話し合いをまとめるようにする。	・Jamboard、PowerPoint等 ※情報発信・表現 (グループディスカッション)
3. 話し合いのまとめを全体で共有する。	・司会がまとめた資料をIWBに投影して全体で共有し、さらに考えを深めることができるようする。	
4. 本時の学習を振り返り、次時の活動の確認をする。	・自分の立場を明確にして話し合い、異なる意見を受け入れることで、考えを深めることができたかを確かめるようする。 ・情報活用スキルチェックをもとに、身についた力を振り返ることができるようする。	【主】 ・課題を解決するためには、友達の意見を進んで取り入れようとしている。 ・Google フォーム

(3) 板書計画

10/18 白浜へGO！ ⑥南紀・白浜と大阪市を比較して話し合い、考えを深めよう。

学習の流れ

- ①めあてを確かめる。
- ②グループで話し合う。
- ③話し合いのまとめを発表する。

「南紀・白浜と大阪市のどちらが観光地として魅力があるか」

話し合いの進め方

- ①話題を確かめる。
- ②考え方を聞き合う。
- ③質問し合う。
- ④整理する。
- ⑤話し合いをまとめる。

10/18 白浜へGO！⑥南紀・白浜と大阪市を比較して話し合い、考えを深めよう

「南紀・白浜と大阪市のどちらが観光地として魅力があるか」

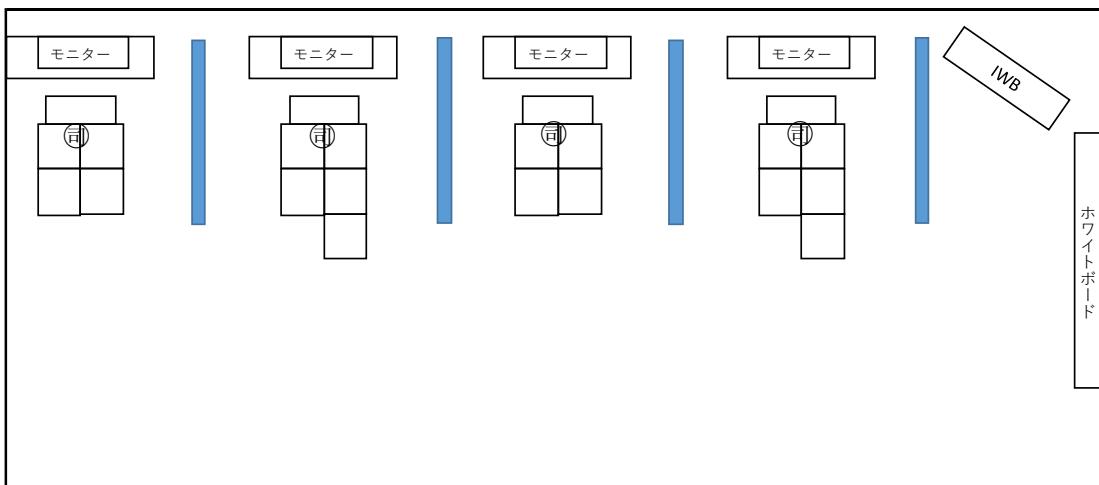
学習の流れ

- ①めあてを確かめる
- ②グループで話し合う。
- ③話し合いのまとめを発表する。
- ④学習をふり返る。

話し合いの進め方

- | | |
|--------------|------|
| ① 話題を確かめる。 | (1分) |
| ② 考えを聞き合う。 | (5分) |
| ③ 質問し合う。 | (7分) |
| ④ 整理する。 | (5分) |
| ⑤ 話し合いをまとめる。 | (2分) |

(4) 場の設定



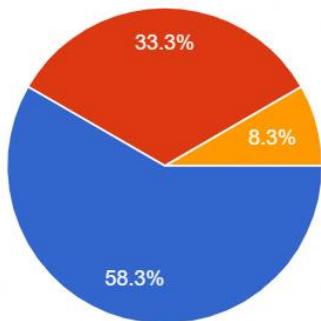
(5) 情報活用スキルチェック

グループディスカッション

- グループの同意を得ながら、結論を導き出すことができる。
- 自分や他者の意見を取り入れながら、結論へつなげることができる。
- 他者の意見に対応して、自分の意見を言うことができる。
- 課題（テーマ）に沿って自分の意見を言うことができる。

グループディスカッション

24件の回答



- グループの同意を得ながら、結論を導き出すことができる。
- 自分や他者の意見を取り入れながら、結論へつなげることができる。
- 他者の意見に対応して、自分の意見を言うことができる。
- 課題（テーマ）に沿って自分の意見を言うことができる。

